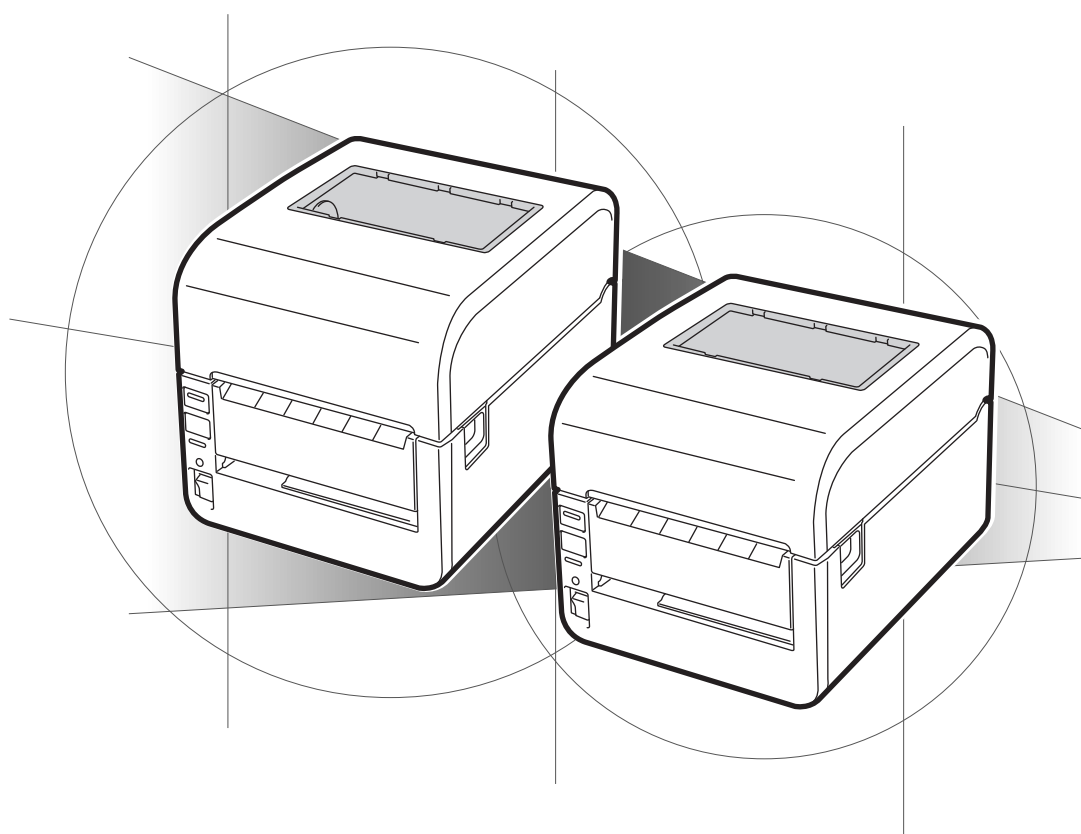


MultiCoder 503L シリーズ

ラベルプリンター ユーザーズマニュアル

MultiCoder 503L3Dシリーズ
MultiCoder 503L3Tシリーズ



安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアルにはプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、 <u>人が死亡する</u> 、または <u>重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、 <u>火傷やけが</u> のおそれ、および <u>物的損害の発生</u> のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。		<u>けが</u> をするおそれがあることを示します。
	<u>感電</u> のおそれがあることを示します。		<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。
	<u>火傷</u> を負うおそれがあることを示します。		<u>体内に入れると有害な物質</u> であることを示します。
	<u>巻きこまれてけが</u> をするおそれがあることを示します。		<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 感電 や 火災 のおそれがあります。		お子様を近づけないでください。 けが をするおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 感電 や 火傷 などの 傷害 が起こるおそれがあります。		電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 火災 のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 感電 のおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。 けが をするおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。 感電 のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。 感電 や 火災 のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 感電 や 発火 のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による 感電 や 火災 のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。 火災 の原因となるおそれがあります。		手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて けが をするおそれがあります。
	直射日光を避けてください。 発火 のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。
	破損した電源コードは使わないでください。 感電 や 火災 のおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電 や 火災 のおそれがあります。		電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。 火災 や 漏電 のおそれがあります。
	電源コードは電源プラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して 感電 や 火災 のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の強制を示します。
	電源コードは添付のものを使ってください。専用品を使わないと 感電 や 火災 のおそれがあります。		

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内 容	記号	内 容
	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。		この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoderはNECエンベデッドプロダクツ株式会社の登録商標です。

BarStarはアイニックス株式会社の登録商標です。

DynaFontはDynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

SVF: Super Visual Formade、RDE: Report Director Enterpriseはウィングアークテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お問い合わせの販売店にご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2016-2017
日本電気株式会社、NECエンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびはNECのラベルプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NECラベルプリンター「MultiCoder 503Lシリーズ」を正しくお使いいただくための手引きです（以降、「本プリンター」と呼びます）。本マニュアルにはプリンターの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

また、本プリンターにはユーザーズマニュアルのほかに同梱のCD-ROMに収録された「ソフトウェアマニュアル」があります。併せてご利用ください。

本書で説明する製品について

このユーザーズマニュアルは次の製品について説明しています。

印刷モードは、連続印刷、糊（のり）部カット印刷があり、ハードウェアインターフェースはUSB、LANがあります。

印刷モードとハードウェアインターフェースの組み合わせで、お客様の用途に合ったプリンターとなります。

モデル例1： 感熱タイプカット印刷でUSBインターフェースを利用したい
→MultiCoder 503DX

モデル例2： 熱転写+感熱タイプ連続印刷でLANインターフェースを利用したい
→MultiCoder 503TL

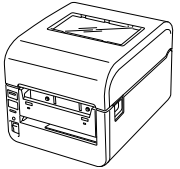
詳しくはカタログをご覧ください。

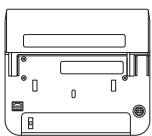
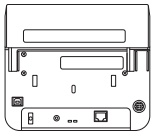
ここでは、基準となる印刷モードのモデルとハードウェアインターフェースを表記します。また、全モデルとも305dpi（12ドット/mm）の印刷解像度で、USBインターフェースを標準装備しています。

〈感熱タイプ：MultiCoder 503L3Dシリーズ〉

感熱紙に印刷するタイプです（リボンは装着できません）。

医療現場や物流などで印刷結果をそれほど長期間保存しなくてもよい場合の使用に適しています。

モデル名（型番）	構 成	印刷モード	特 長	前 面
MultiCoder 503L3D (PR-T503L3D) MultiCoder 503L3DL (PR-T503L3DL)	カッターなし	連続印刷	連続印刷ができます。	
MultiCoder 503L3DX (PR-T503L3DX) MultiCoder 503L3DXL (PR-T503L3DXL)	糊カッター対応	糊部カット印刷	- ラベル糊部をカットするための専用カッターユニットを標準装備。 - 連続印刷もできます。	

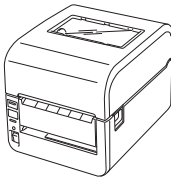
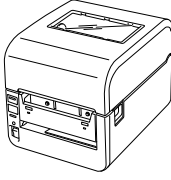
ハードウェアインターフェース	モデル名 (型番)	特 長	背 面
標準モデル (USB対応)	MultiCoder 503L3D (PR-T503L3D) MultiCoder 503L3DX (PR-T503L3DX)	USB1.1/2.0 Full-Speed準拠USBインターフェース (通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ)。全モデルに標準装備。	
LAN対応モデル	MultiCoder 503L3DL (PR-T503L3DL) MultiCoder 503L3DXL (PR-T503L3DXL)	IEEE802.3準拠Ethernetインターフェース (10Base-T/100Base-TX) 標準装備。	

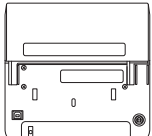
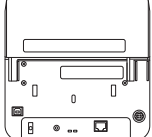
〈熱転写+感熱タイプ：MultiCoder 503L3Tシリーズ〉

リボンを使用して熱転写印刷するタイプです。

工場の生産ラインや物流など印刷結果を長期間保ちたい場合の使用に適しています。

また病院などでの用途としては、リストバンドに印刷して患者さんの腕に着けるなどの利用方法もあります。

モデル名 (型番)	構 成	印刷モード	特 長	前 面
MultiCoder 503L3T (PR-T503L3T) MultiCoder 503L3TL (PR-T503L3TL)	カッターなし	連続印刷	連続印刷ができます。	
MultiCoder 503L3TX (PR-T503L3TX) MultiCoder 503L3TXL (PR-T503L3TXL)	糊カッター対応	糊部カット印刷	- ラベル糊部をカットするための専用カッターユニットを標準装備。 - 連続印刷もできます。	

ハードウェアインターフェース	モデル名 (型番)	特 長	背 面
標準モデル (USB対応)	MultiCoder 503L3T (PR-T503L3T) MultiCoder 503L3TX (PR-T503L3TX)	USB1.1/2.0 Full-Speed準拠USBインターフェース (通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ)。全モデルに標準装備。	
LAN対応モデル	MultiCoder 503L3TL (PR-T503L3TL) MultiCoder 503L3TXL (PR-T503L3TXL)	IEEE802.3準拠Ethernetインターフェース (10Base-T/100Base-TX) 標準装備。	

マニュアルの構成

このユーザーズマニュアルは、初めて本プリンターをお使いになる方が始めから順序よくお読みになれば、本プリンターを正しく使用できるように書かれています。また日常お使いになる上でわからないことが起こったり、故障かなと思ったらときは随時このマニュアルを活用してください。

また、本書で記載されていない内容についてはソフトウェアCD-ROMに収められている「ソフトウェアマニュアル」をご覧ください。

本書では熱転写+感熱タイプの標準モデルである「MultiCoder 503L3T」を中心に説明しています。モデルによって異なる場合は、それぞれのモデルごとの説明をしています（モデルに関する説明はVページをご覧ください）。

第1章 初めてお使いになるとき

本プリンターの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、本体を箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また本プリンターに添付の「ソフトウェアCD-ROM」に収録されているソフトウェアや別売品の紹介もあります。

第2章 操作部とプリンターの設定

操作部のスイッチやランプの機能、ディスプレイの表示内容や本プリンターが持っているさまざまな機能を説明しています。

第3章 オプション

本プリンター用のオプションの取り付け手順について説明しています。

第4章 用紙規格と印刷範囲

本プリンターで使用できる用紙と印刷範囲の説明、および用紙の取り扱いに関する注意事項について説明しています。

第5章 日常の保守

リボンなどの消耗品の交換や本体の清掃手順を説明しています。

第6章 故障かな？と思ったときは

プリンターが思うように動作しなかったり、印刷の状態が悪くなったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、本体を運搬するときの準備についても記載しています。

付録 技術情報

本プリンターの仕様など技術的な情報が記載されています。

関連文書について

本プリンターの説明書として、ユーザズマニュアルの他に以下のマニュアルがあります。

ソフトウェアマニュアル

ソフトウェアCD-ROMに収められている「ソフトウェアマニュアル」では以下について説明しています。必要に応じてご覧ください。

第1章 プリンタードライバー

本プリンターのプリンタードライバーのインストール方法、およびプリンタードライバーを使った印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第2章 リモートパネル

リモートパネルのインストール方法、および使い方や設定の変更方法について説明しています。

第3章 プリントドライバー一括設定ツール

1台のコンピューターに登録されている用紙設定やプリンタードライバーの設定を他のコンピューターへ展開するツールの使用方法について説明しています。本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに収録されています。

NLPLコマンドマニュアル

本プリンターがサポートする「NEC Label Printer Language (NLPL) : NECラベルプリンター言語」のコマンド解説書です。

リボン／用紙 取り付け・取り外しマニュアル

本プリンターに添付の冊子です。プリンターのそばに置き、リボンや用紙の交換をする際に参照してください。

その他

上記の他にプリンターの梱包箱には本プリンターの操作や設定、または補足的な注意事項などが記載された説明書が添付されることがあります。



チェック

LANインターフェースが搭載されているプリントサーバーのマニュアルは、プリントサーバー専用の箱またはプリンターに同梱されているソフトウェアCD-ROM内のマニュアルをご覧ください。

本プリンターの特長

小型・省スペース設計

装置幅（188mm）の小型化を実現しました。
使いやすい前面と右側面操作で本プリンターの状態の確認や設定が行えます。また、左側面に機器などを設置可能な省スペースなデザインを採用し、カバーを開けたときでも奥行をとらない形状となっています。
本体にはリボン*¹、用紙、カッターモジュール*²がすべて収まり、人通りや荷動きの多い現場でのホコリ、チリの侵入を防止します。

自動用紙先頭位置合わせ機能

用紙交換後、トップカバーを閉じると、印刷時に自動で用紙先端を印刷位置に合わせます。*³

高速印刷

152.4mm/秒（6インチ/秒）の高速印刷が可能です。

手軽な操作

扱いやすいフロントオープン構造により、リボン交換*¹はカバーを開けるだけで、用紙交換はカバーを開け、用紙ガイドから外すだけで簡単にできます。
また、用紙の残量が分かる便利な窓付きです。

2方式の印刷をサポート

印刷方式は熱転写（リボン転写）*¹と感熱（直接発色）の2つ方式を採用しています。

各種用紙に印刷可能

一般感熱紙やコート紙、PETなどのさまざまな用紙に印刷することができます（用紙については1章の「消耗品」（15ページ）を参照してください）。

短ラベル・医療用リストバンド対応

長さが3mm、ラベルギャップ（ラベルとラベルの間の長さ）が2mmのラベルに印刷が可能です（連続印刷時）。
また、患者さんに優しい柔らかな素材のリストバンドへの印刷も可能*¹です。

高品位印刷

サーマルヘッドの温度を参照する熱履歴制御を行う機能を持ち、高品位印刷を実現します。

アウトラインフォント・バーコード・2次元コード内蔵*⁴

プリンターコマンドで内蔵のフォント・内蔵バーコード*⁵を指定して印刷することができます。また、内蔵アウトラインフォントで拡大文字も精細で滑らかに印刷できます。

センサーしきい値調整機能

各種用紙に応じた印刷位置の調整を行うことができる機能です。

自動用紙カット機能

「糊カッターモジュール*²」によって印刷済みの用紙を自動でカットします。

ネットワーク環境に対応

TCP/IPプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバー（有線）*²をサポートしています。SSL（Secure Socket Layer）によるセキュアな通信も可能です。

ブザー音

リボン未装着やリボン切れ、用紙なし、またはエラーが発生するとブザー音が鳴ります（ON/OFFの切り替えあり）。

プリンタードライバー

Windows専用ドライバーにより、Windows環境で簡単に印刷することができます。

リモートパネル

プリンターの各種設定をコンピューターの画面上で行うことができます。リモートパネルの詳細についてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。

抗菌仕様

カバーオープンレバーには抗菌モールド材を適用しています。

省電力機能

プリンターが待機状態の間、消費電力を抑える機能を持っています。

*¹ 熱転写+感熱タイプのみ。

*² モデルによって構成が異なります。「本書で説明する製品について」（vページ）を参照してください。また、オプションとしても用意されています。

*³ 自動用紙位置先頭合わせを有効にしている場合。

*⁴ 内蔵フォントとしてDynafontを使用しています。バーコード／2次元コードの生成にはBarStarProの生成機能を使用しています。

*⁵ バーコード／2次元コードの読み取りについてはあらかじめ使用されるバーコードスキャナーでの評価が必要です。

目次

安全にかかわる表示	ii
はじめに	v
本書で説明する製品について	v
〈感熱タイプ：MultiCoder 503L3D シリーズ〉	v
〈熱転写 + 感熱タイプ：MultiCoder 503L3T シリーズ〉	vi
マニュアルの構成	vii
関連文書について	viii
本プリンターの特長	ix

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2

1章 初めてお使いになるとき 9

設置場所を用意する	10
本体の設置について	10
正しく使用するために	11
箱の中身を確認する	12
別売品	13
オプション	13
消耗部品	14
消耗品	15
各部の名前と機能を覚える	17
外 観	17
前 面	17
背 面	18
印刷機構部	19
保護用部品を取り除く	23
電源コード・ACアダプターを接続する	24
電源をONにする（OFFにする）	26
電源を ON にする	26
電源を OFF にする	26
リボンを取り付ける	27
リボン種類	29
用紙をセットする	30
ロール紙のセット	31
ファンフォールド紙のセット	33
感熱タイプ	33
熱転写 + 感熱タイプ	35
プリンターの設定をする	37

テスト印刷をする	38
センサーしきい値を調整する	40
コンピューターに接続する	42
ディップスイッチの設定を変更する	42
USB ケーブルで接続する	43
LAN ケーブルで接続する	44
ソフトウェアをインストールする	45
ネットワークの設定をする	45

2章 操作部とプリンターの設定... 47

スイッチ	48
ランプ	49
7セグメントLED	49
ディップスイッチ（DIP SW）	50
リモートパネル	53

3章 オプション 55

糊カッターモジュール	56
付属品	56
取り付け／取り外し手順	57
用紙のセット	59
ペーパーテーブル（L）	60
付属品	60
取り付け／取り外し手順	60
スタッカー（可変長）	62
付属品	62
取り付け／取り外し手順	62

4章 用紙規格と印刷範囲 63

自動用紙先頭位置合わせ機能	64
使用できる用紙	64
リボン一覧	65
リボン幅と用紙幅の適合表	65
連続印刷（自動カット位置送り対応）ラベル紙	66
連続印刷（自動カット位置送り非対応）ラベル紙	67
連続印刷（自動カット位置送り対応）タグ紙	68
連続印刷（自動カット位置送り非対応）タグ紙	69
カット印刷（フルカット）ラベル紙	70
カット印刷（フルカット）タグ紙	71

タグ・ラベルの印刷保証範囲	72
プレ印刷用紙に関する注意	73
印刷濃度推奨設定	74
用紙・リボンの保管上の注意	75

5章 日常の保守..... 77

清 掃	78
カバーを清掃する	78
サーマルヘッド／リボンローラー／プラテンを 清掃する	79
用紙収納部を清掃する	80
消耗品の交換	81
消耗部品の交換	81
サーマルヘッドブロックを交換する	81
プラテンブロックを交換する	84

6章 故障かな？と思ったときは ... 87

エラー表示が出ているときは	88
エラー表示が出ていないのにおかしいときは	90
用紙がつまったとき	91
リボンが途中で切れたとき	92
リボンの巻きが乱れたとき	93
保証および修理の依頼について	94
保証について	94
修理に出される前に	95
プリンターの寿命について	95
補修用部品について	95
情報サービスについて	95
プリンターを運搬するときは	96
プリンターの廃棄とリボンの処理について	96
プリンターの廃棄について	96
リボンの廃棄について	96

付録 技術情報 97

仕 様	97
DIP SW設定早見表	106
初期状態	107
インターフェース（コネクタピン配置）	108
USB インターフェース	108
LAN インターフェース	108

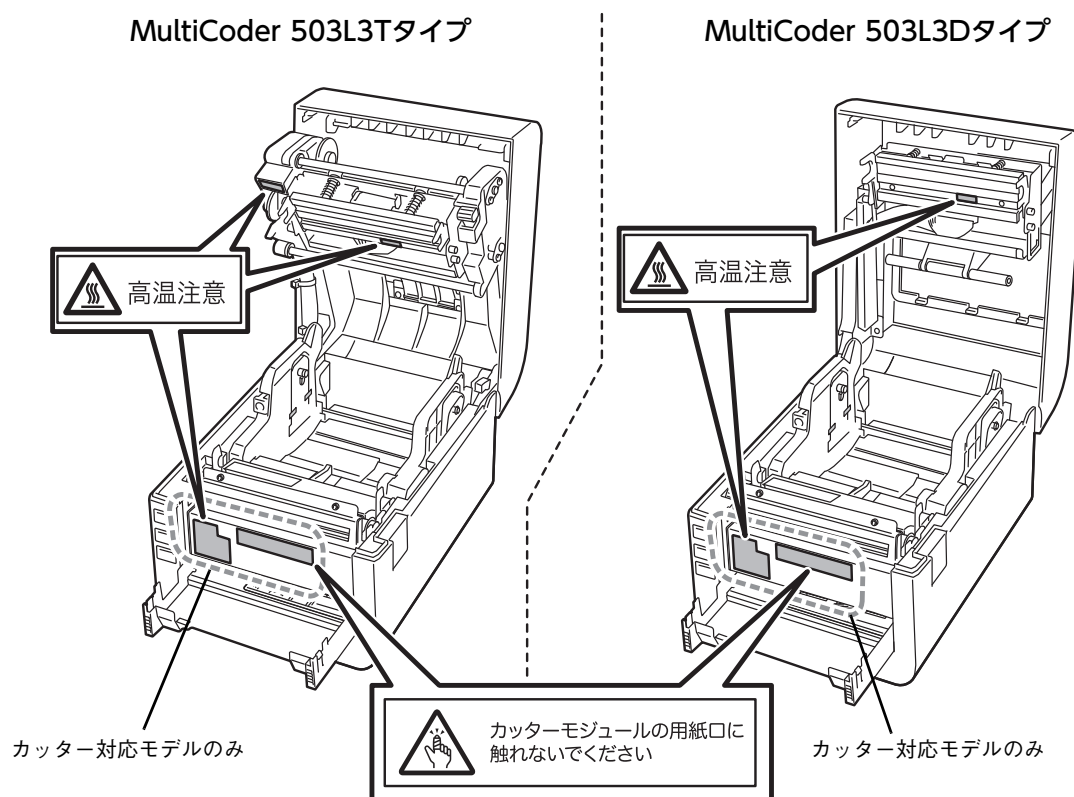
索 引	109
-----------	-----

安全にお使い いただくために

警告ラベルについて

プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。

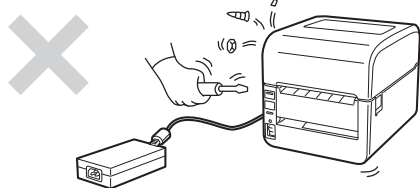


安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。プリントサーバーについても記載していますが、装着されていないモデルもあります（[Vページ](#)参照）。

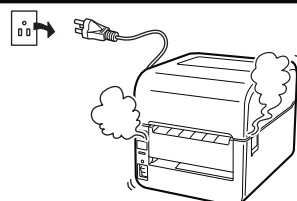
警告

分解・修理・
改造はしない



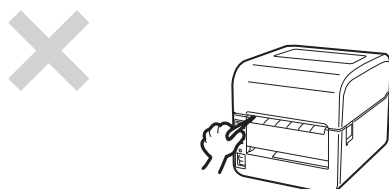
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。ACアダプターやプリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら
電源をOFFにする



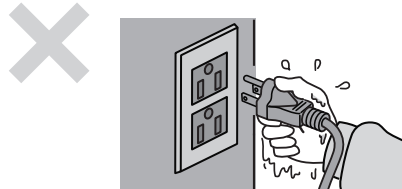
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を
差し込まない



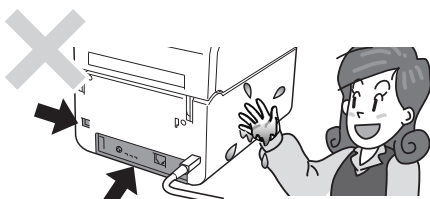
プリンターのすきまから金属片や針金などの異物を落として、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグ
を触らない



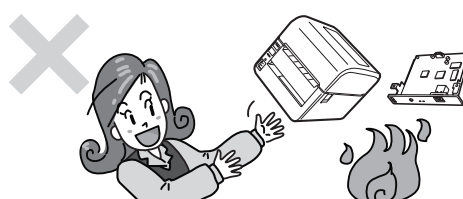
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で触らない



通電中にぬれた手でプリンター背面のインターフェース部やプリンター内部に触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

火の中に投げ入れない



プリンターやプリントサーバーを火の中に投げ入れしないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

 注意

100V以外のコンセントに
差し込まない



100V
専用

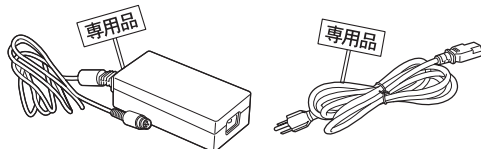
電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になるおそれがあります。



電源コード・ACアダプター
は本体付属品を使用する



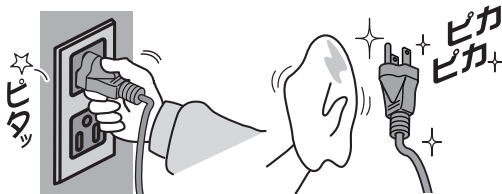
付属品以外を使用すると、火災のおそれがあります。



電源プラグを中途半端
に差し込まない



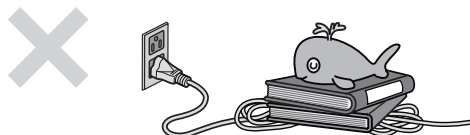
電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまと接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、電源プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災となるおそれがあります。



電源コードは
曲げたりねじっ
たりしない



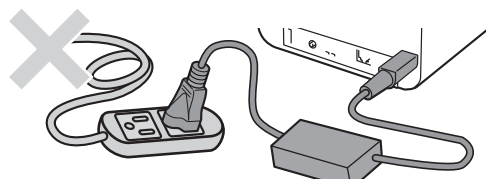
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステابلなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



延長コードは使用しない



添付の専用ACアダプターや電源コードだけでコンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。



損傷した電源コード は使わない



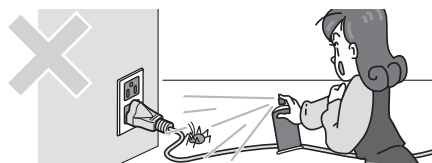
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



電源コードに 薬品類をかけない



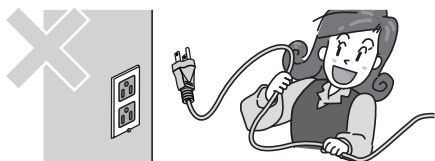
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜く ときはコードを 引っ張らない



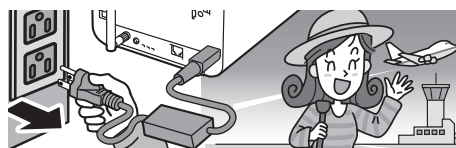
電源コードを抜くときは電源プラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



長期間使用しないときは 電源プラグを抜く



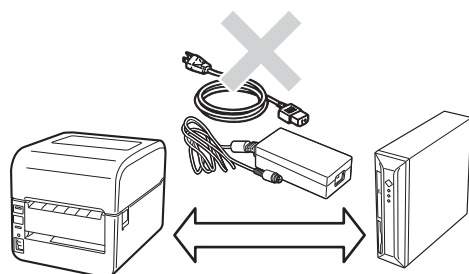
連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンター本体および専用ACアダプターの電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります（電源プラグをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります）。



添付の電源コード・ ACアダプターを転用 しない



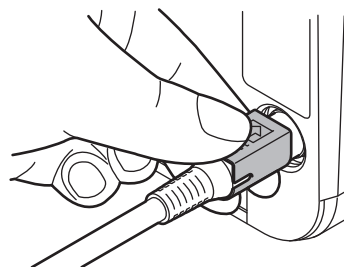
添付の電源コードとACアダプターは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。



ACアダプターは電源 コネクター部を持って 抜き差しする



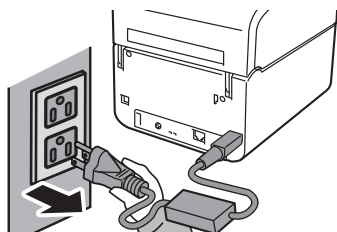
ACアダプターの抜き差しは、電源コネクター部を持って行ってください。ケーブルを引っ張ると、電源コネクター一部が破損し、火災や感電のおそれがあります。



電源プラグに手が届きやすい場所に置く



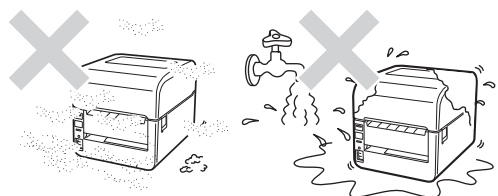
プリンターの電源スイッチをOFFにしても、電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります。万一の事故に備えてコンセントに接続した電源プラグにすぐ手が届くようにしてください。



ほこり・湿気の多い場所で使用しない



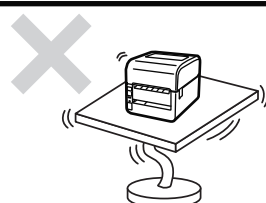
プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



不安定な場所に置かない



プリンターを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。



直射日光が当たるところ、温度変化の激しいところには置かない



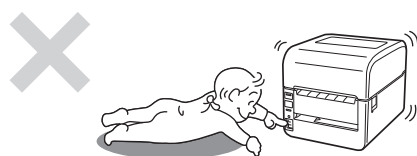
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。



本プリンターを子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置いたりしない



感電・けがの原因となるおそれがあります。



調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かない



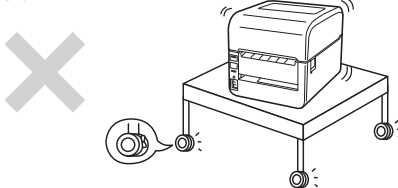
絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



キャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをする



動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。



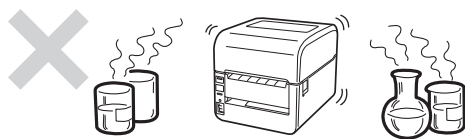
腐食性ガスの存在する
環境、ほこりや空气中



に腐食を促進する成分、導電性の金属など
が含まれている環境で使用、保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど)の存在する環境、腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)が含まれている環境に設置し使用しないでください。
装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

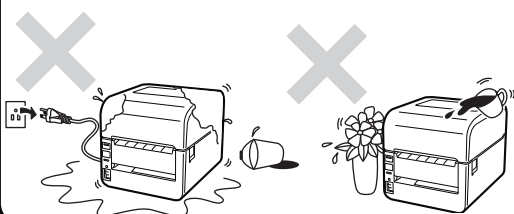


プリンターおよび
プリントサーバー内
に異物を入れない



プリンターおよびプリントサーバー内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。

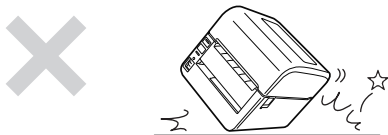
もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。



プリンターを落としたり、
強い衝撃を与えたりしない



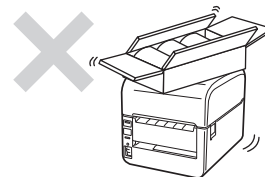
カバーおよびプリントサーバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。



プリンターの上に
重い物を置かない



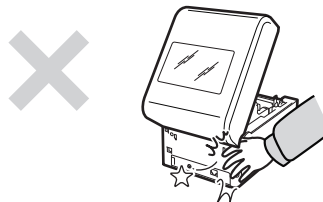
置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。



指を挟まない



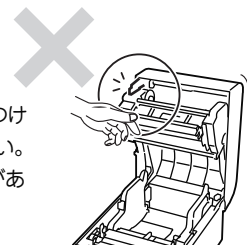
トップカバーの開閉時に指を挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。



突起物に手などをぶつけない



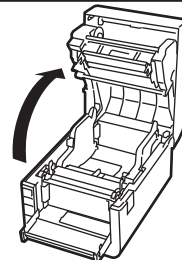
本体内部のロックプレートやトップカバー左側には突起物があります。突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。



トップカバーやリボンフレーム
ユニットは後側へ90度に
全開にする



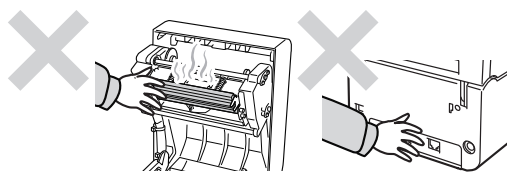
中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。



高温注意



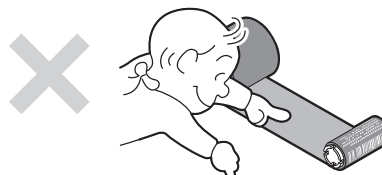
プリンターの内部には、使用中に高温になるサーマルヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。
また長時間プリントサーバーを使用した後、取り外したりする場合は、十分に冷めてから行ってください。使用中および動作直後に触ると火傷するおそれがあります。



リボンをなめたりしない



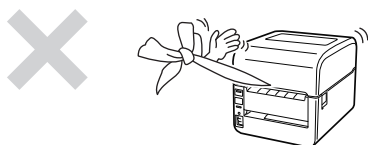
リボンはお子様の手の届かない所に保管してください。インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。
万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。



巻き込み注意



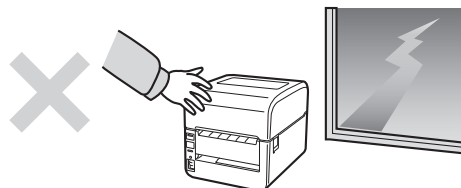
プリンターの動作中、用紙やリボンなどの消耗品を交換するときはプリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



雷が鳴りだしたらプリンターに触らない



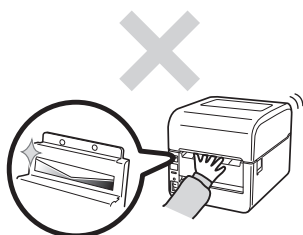
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターおよびプリンター背面のインターフェース部には触らないでください。



カッターモジュール用紙口には手を触れない



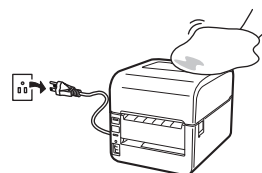
カッターモジュールの用紙口に触れないでください。用紙を切断するカッターが内蔵されており、けがの原因となるおそれがあります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となるおそれがあります。



シンナーやベンジン
などの薬品類で
本プリンターを拭かない



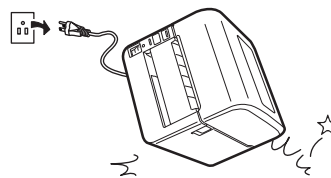
火災の原因となるおそれがあります。



万一、本体を落としたり、
カバーなどを破損した
場合は、電源プラグを
コンセントから抜き、お買い上げの販売店
に連絡する



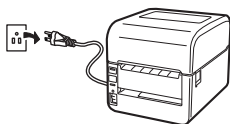
そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。



移動するときは、
電源コードや他の
接続コードを抜く



接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の
原因となるおそれがあります。



1章

初めてお使いになるとき

この章では、プリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピューターに接続するまでを以下の手順で説明します。

- 設置場所を用意する [10ページ](#)
- 箱の中身を確認する [12ページ](#)
- 各部の名前と機能を覚える [17ページ](#)
- 保護用部品を取り除く [23ページ](#)
- 電源コード・ACアダプターを接続する [24ページ](#)
- 電源をONにする（OFFにする）..... [26ページ](#)
- リボンを取り付ける [27ページ](#)
- 用紙をセットする [30ページ](#)
- プリンターの設定をする [37ページ](#)
- テスト印刷をする [38ページ](#)
- センサーしきい値を調整する [40ページ](#)
- コンピューターに接続する [42ページ](#)
- ソフトウェアをインストールする [45ページ](#)
- ネットワークの設定をする [45ページ](#)

チェック

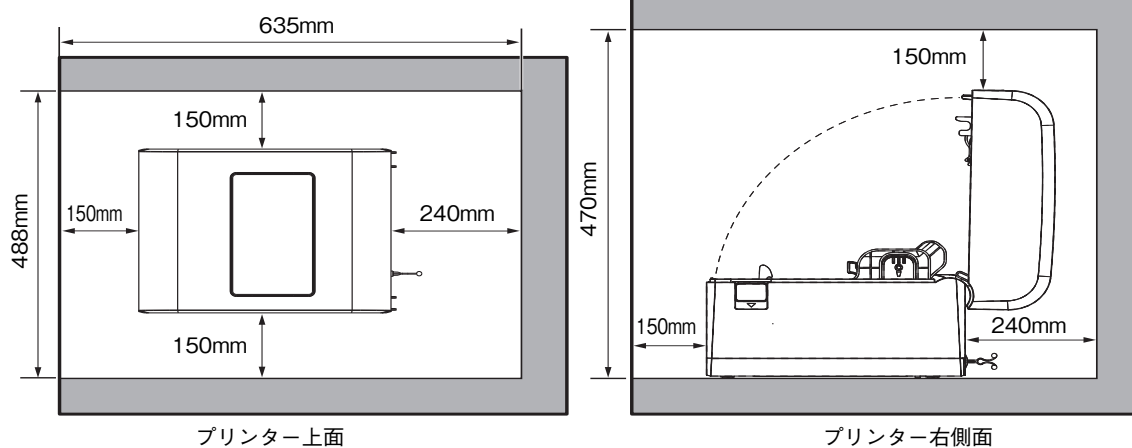
オプションの「プリントサーバー」「糊カッターモジュール」を併せて購入した場合も、いったんここに示す手順に従って標準装備の状態でセットアップを完了してからオプションの取り付けを行ってください。

設置場所を用意する

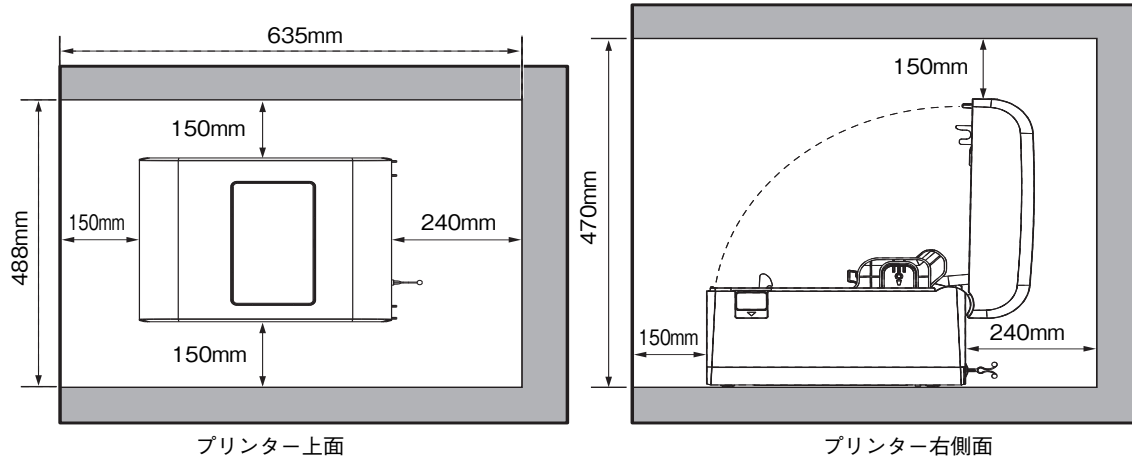
設置にふさわしい場所を用意してください。また、ここでは設置準備および日常の運用の際に本プリンターを正しく安全に動作させるための注意事項も記載しています。

本体の設置について

本プリンターを操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平らで水平な場所に本プリンターを設置してください。また、本プリンターの周辺には、下図のような空間を確保してください。



MultiCoder 503L3Tタイプ (熱転写+感熱タイプ)



MultiCoder 503L3Dタイプ (感熱タイプ)

**注意**

次のような場所には設置しないでください。火災や感電、けがの原因となるおそれがあります。

- 直射日光が当たる場所
- 高温、多湿な場所
- 急激な温度変化がある場所
- 振動のある場所
- ほこりが多い場所
- 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- 火気や水気に近い場所
- 不安定な台の上

**重要**

油や溶剤が付着するような場所に本プリンターを設置しないでください。カバーなどのプラスチック部品が割れたり、劣化したりする原因となります。

正しく使用するために

本プリンターを正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

- プリンターを動作させる際は必ず用紙をセットしてください。
- 印刷した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。印刷内容の判読不能の原因となります。印刷面の定着性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。
- 本プリンターは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- リボンや用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色したリボンや用紙を使用すると、印刷品質への悪影響や故障の原因となります。
- オプション類はNECの純正品（指定品）を使用してください。NECの純正品（指定品）以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。
- 使用済みリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。使用済みリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。法律上は「廃プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として分別処分してください。
- プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが落下してけがをしたり、破損による故障・誤動作の原因となります。

箱の中身を確認する

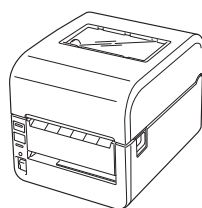
箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



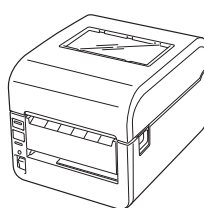
梱包材（箱や緩衝材など）はプリンターを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。

どちらかのタイプ（vページ参照）

☐ プリンター本体
MultiCoder 503L3Tタイプ



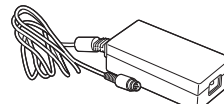
☐ プリンター本体
MultiCoder 503L3Dタイプ



☐ 電源コード*1



☐ ACアダプター*1



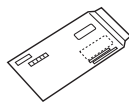
☐ ケーブルロック



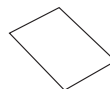
☐ ソフトウェア
CD-ROM



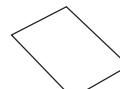
☐ 保証書



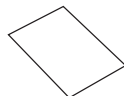
☐ ソフトウェアの
ご使用条件



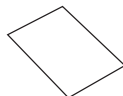
☐ リボン／用紙取り付け・
取り外しマニュアル



☐ クイック
スターガイド

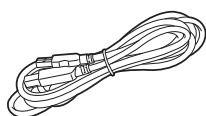


☐ 安全にお使い
いただくために



標準モデルのみ添付*2

☐ USBケーブル



LANケーブルは添付されていません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めください。

*1 本プリンター以外の用途には絶対にご使用にならないでください。

*2 標準モデルの詳細はviページのハードウェアインターフェースを参照してください。

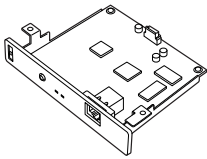
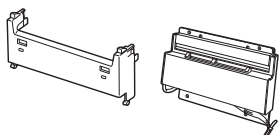
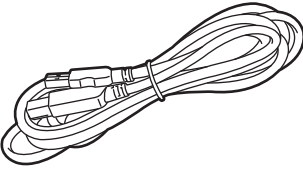
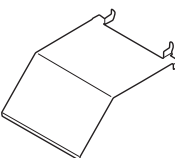
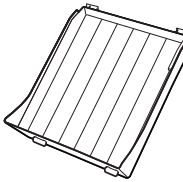
別売品

ご購入にあたりましては、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

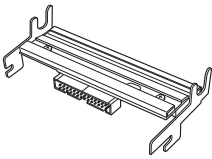
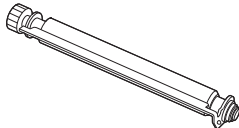
オプションの取り付け手順などの詳細については、オプションに添付の説明書または第3章 オプションを参照してください。

オプションのプリントサーバー、糊カッターモジュールの取り付け／取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までご連絡ください。有償で対応します。

形 状	品 名	説 明
	PR-NP-18 プリントサーバー	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース。 TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型の LANボードです。
	PR-T503L-11 糊カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットし、連続用紙か ら切り離します。 ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユ ニットです。 （リストバンドは糊カッターモジュールではカットでき ません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）： ラベル糊（のり）部13万カット*1
	PR-T300S-U01 USBケーブル	USB2.0 規格認証のインターフェースケーブルです。
	PR-T500L-04 ペーパーテーブル（L）	ファンフォールド紙を送るときや接続しているケーブル を保護するための部品です。
	PR-T503L-05 スタッカー（可変長）	カットした用紙をスタックする（積み重ねる）ための部 品です。

* 1 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

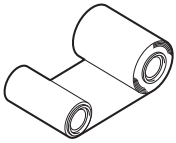
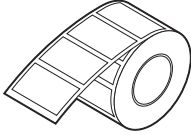
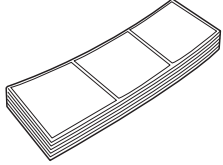
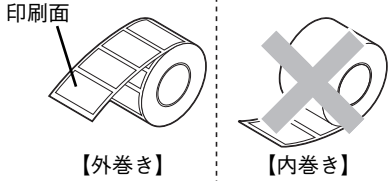
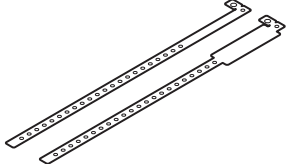
消耗部品

形 状	品 名	説 明
	PR-T500L3-TH01 サーマルヘッドブロック	印刷するための機構部品です。 寿命（目安）：ラベル長約25km分の印刷
	PR-T500L-PB01 プラテンブロック	用紙の押さえと用紙送りをする機構部品です。 寿命（目安）：ラベル長約25km分の印刷

✓ チェック

本プリンターは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。

消耗品

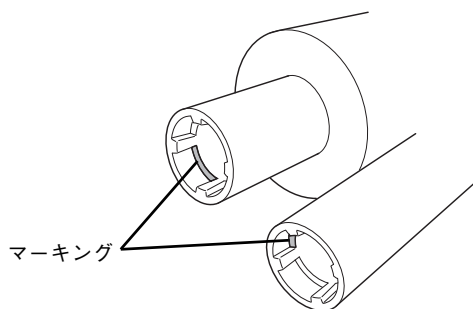
形 状	品 名	説 明
	リボン	熱転写印刷をする際に使用する黒色のリボンです。 詳しくは4章の「リボン一覧」(65ページ)を参照してください。
	用紙 (ロール紙)	本プリンターで利用できる用紙です。 用途に応じたさまざまな用紙を用意しています。詳しくは「 <u>用紙一覧</u> 」(16ページ)をご覧ください。なお、ロール紙には下図のように「外巻き」と「内巻き」があります。 本プリンターは「外巻き」のみ対応します。
	用紙 (ファンフォールド紙)	 【外巻き】 【内巻き】
	リストバンド	本プリンターで利用できるリストバンドです。 用途に応じたサイズを用意しています。

✓ チェック

- 本プリンターは、NEC 純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 印刷品位を保つためにリボンおよび用紙は使用期限内にお使いください。

リボン種類マーキング色一覧表

リボンは種類によって色分けがされています。マーキングされている場所と色分けは次のとおりです。



リボン種類	色
ワックスリボン	赤
ワックスレジンリボン	青
レジンリボン	黒
リストバンドリボン	なし (マーキングはされていません。)

用紙一覧

各種材質、サイズ、加工仕様、印刷仕様に対応しています。詳細はMultiCoderのホームページ (<http://ipn.nec.com/printer/label>) を参照するか、お買い上げの販売店にご相談ください。

印刷方式	品 名	説 明
感熱	一般感熱紙	安価な感熱紙で、ラベルとタグを用意しています。
	耐保存感熱紙	保存性に優れたラベルです。
	合成紙	合成樹脂を主原料としたパルプを使用しないラベルです。
熱転写 (リボンが必要)	コート紙	安価な熱転写用のラベルです。
	タグ紙	安価な熱転写用のタグです。
	合成紙	合成樹脂を主原料としたパルプを使用しないラベルです。
	白PET	PETフィルムのラベルです。
	銀PET	

用紙とリボンの適合表

下表は一般的な目安であり、ラベルの表面加工や使用条件によって異なるため、あらかじめ印刷品質を評価する必要があります。

◎ 非常に適している ○ 適している × 適していない

リボン	用 紙			
	コート・タグ	合成紙	白PET・銀PET	リストバンド
ワックスリボン	◎	×	×	×
ワックスレジンリボン	◎	◎	○	×
レジンリボン* ¹	×	○	◎	×
リストバンドリボン* ²	×	×	×	◎

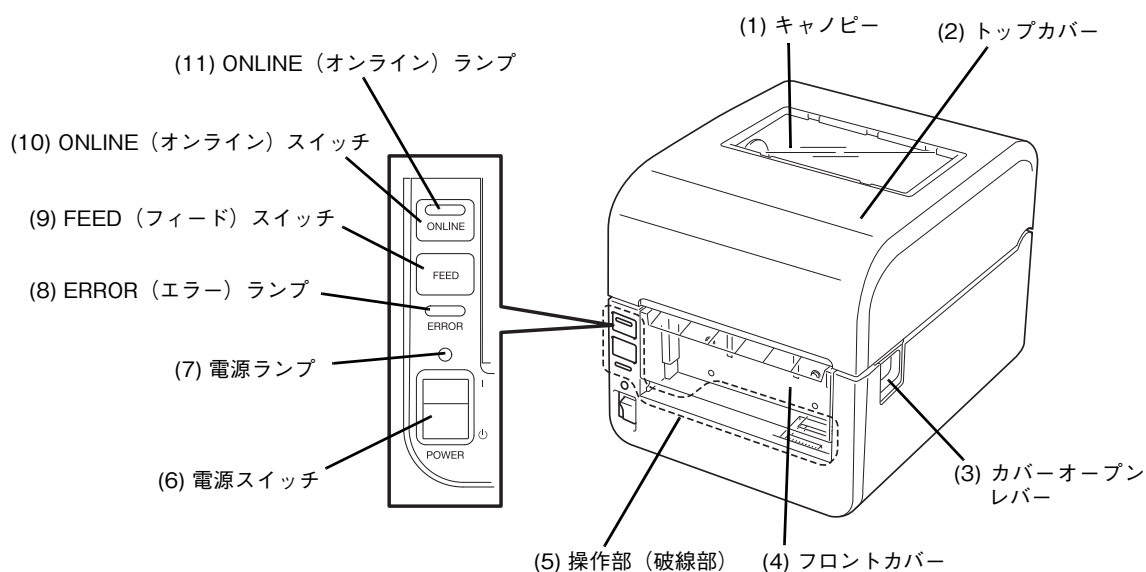
* 1 レジンリボンでの細線 (0.1 ~ 0.2mm 幅) は、かすれる場合がありますので注意してください。

* 2 リストバンドには、リストバンド専用のリボンを使用してください。

各部の名前と機能を覚える

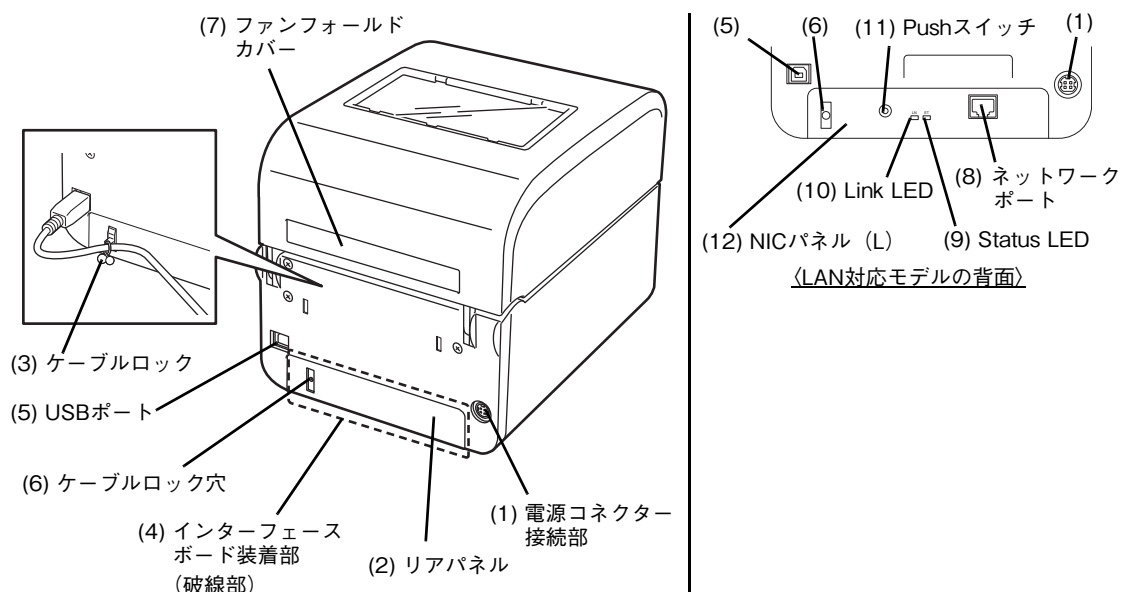
外 観

前 面



番 号	部品名	機 能
(1)	キャノピー	用紙の残量を確認する窓です。
(2)	トップカバー	用紙およびリボンを取り外すときや交換、紙づまりの処理をするときに開閉します。
(3)	カバーオープンレバー	トップカバーを開けるときに押します。
(4)	フロントカバー	前面のカバーです。プリンターのスイッチを操作する際に開きます。
(5)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは2章の「 <u>操作部とプリンターの設定</u> 」(47ページ)を参照してください。
(6)	電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 : ON ⏻ : OFF
(7)	電源ランプ	プリンターの電源の状態を表示するランプです。 点灯：電源がONの状態です。 消灯：電源がOFFの状態です。
(8)	ERROR (エラー) ランプ	エラーが発生したときに点灯・点滅するランプです。
(9)	FEED (フィード) スイッチ	用紙を送るスイッチです。スイッチは放したときに有効になります。
(10)	ONLINE (オンライン) スイッチ	押すたびにデータを印刷できる状態（オンライン状態）と印刷できない状態（オフライン状態）を交互に切り替えるスイッチです。スイッチは放したときに有効になります。
(11)	ONLINE (オンライン) ランプ	印刷可能な状態や印刷の一時停止中に点滅・点灯するランプです。

背面



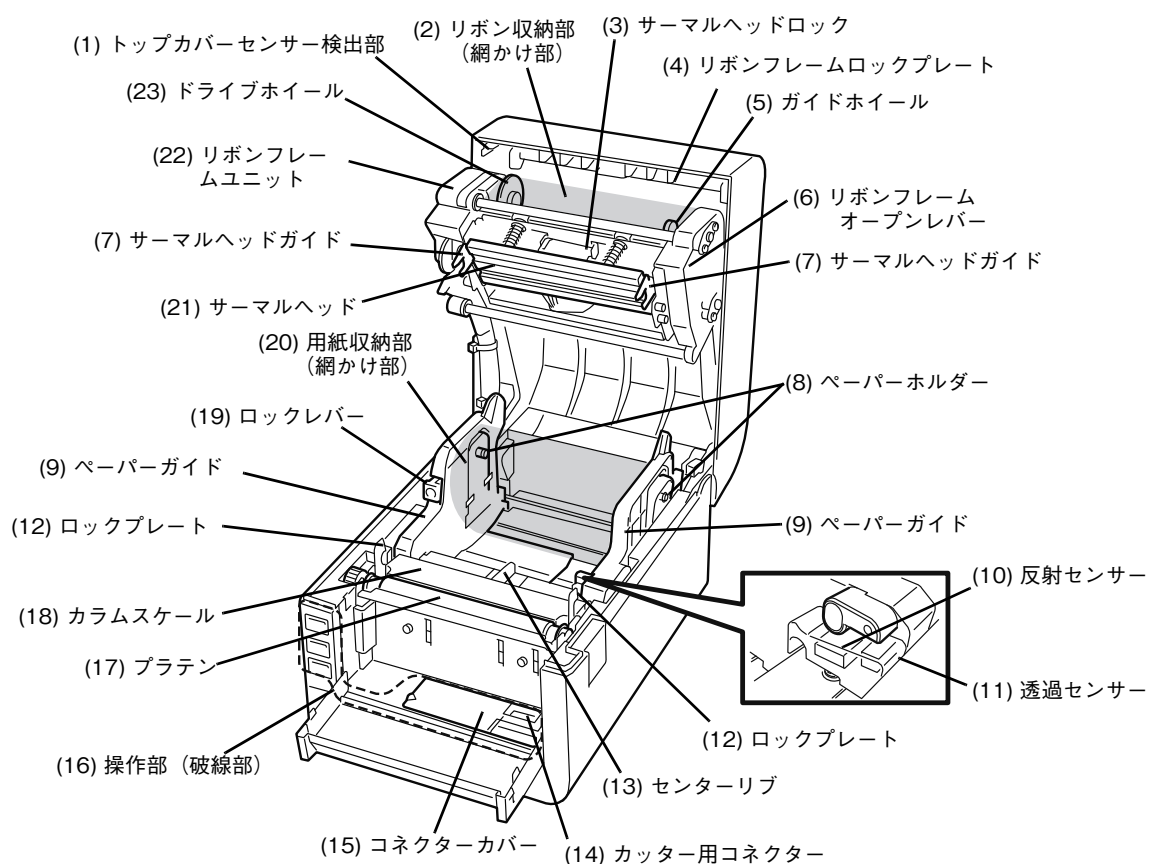
番 号	部品名	機 能
(1)	電源コネクタ接続部	添付のACアダプターの電源コネクタを接続するところです。
(2)	リアパネル	プリントサーバーを取り付ける際に取り外すパネルです。
(3)	ケーブルロック	USBケーブルをUSBポートから抜けにくくするために通す部品です。
(4)	インターフェースボード装着部	プリントサーバーを装着する場所です。
(5)	USBポート	USBケーブルを接続するポートです。
(6)	ケーブルロック穴	装置に添付のケーブルロックを差し込む穴です。
(7)	ファンフォールドカバー	ファンフォールド紙を使用するときに開けるカバーです。

〈LAN対応モデルのみ〉

番 号	部品名	機 能
(8)	ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します (10BASE-T/100BASE-TX)。
(9)	Status LED	通信中に点滅します。
(10)	Link LED	10BASE-T/100BASE-TXで接続が確立されると点灯します。
(11)	Pushスイッチ	自己診断印刷や出荷時の状態へのリセットを行うことができます。
(12)	NICパネル (L)	LAN対応モデル専用のパネルです。

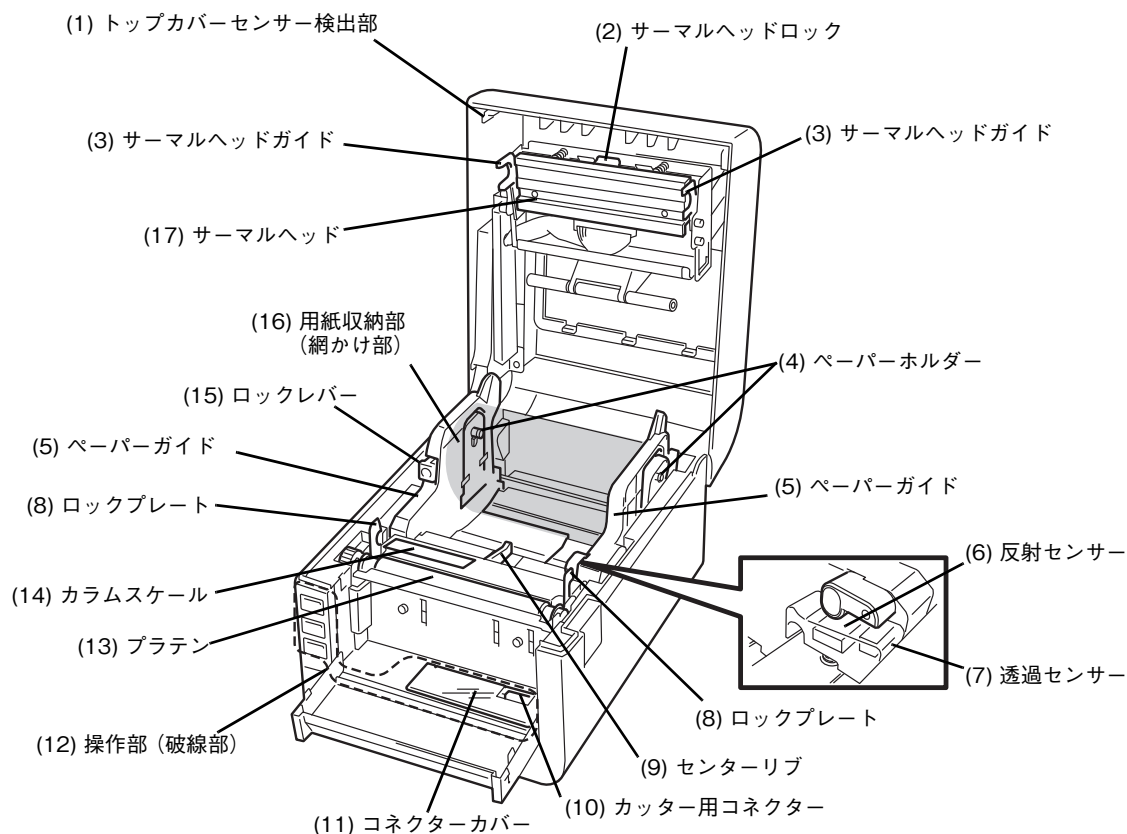
印刷機構部

〈MultiCoder 503L3T (熱転写+感熱タイプ)〉



番 号	部品名	機 能
(1)	トップカバーセンサー検出部	トップカバー開閉時、センサーを検出するための部分です。
(2)	リボン収納部	リボンを収納する場所です（手前：巻き取り側／奥：供給側）。
(3)	サーマルヘッドロック	サーマルヘッドを本体から取り外すためのレバーです。
(4)	リボンフレームロックプレート	リボンを入れるときにリボンフレームユニットを解除する部品です。
(5)	ガイドホイール	リボンを保持します。
(6)	リボンフレームオープンレバー	リボンフレームを下げるときに押すレバーです。
(7)	サーマルヘッドガイド	ブラテンとサーマルヘッドを固定させる部品です。
(8)	ペーパーホルダー	用紙を保持する可動式のガイドと軸です。
(9)	ペーパーガイド	用紙を保持するガイドです。
(10)	反射センサー	用紙の位置を感知するセンサーです（用紙裏の黒マーク感知用）
(11)	透過センサー	用紙の位置を感知するセンサーです（ラベル間のギャップ（すき間）感知用）
(12)	ロックプレート	トップカバーを留める部品です。
(13)	センターリブ	用紙を保持するガイドです。
(14)	カッター用コネクタ	カッターユニットのケーブルを接続するコネクタです。
(15)	コネクタカバー	コネクタを保護するカバーです。
(16)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは2章の「 <u>操作部とプリンターの設定</u> 」（47ページ）を参照してください。
(17)	ブラテン	用紙を送ります。
(18)	カラムスケール	用紙をセットする際にペーパーホルダーの位置合わせの目安となるメモリです。
(19)	ロックレバー	用紙幅を調整するときに押すレバーです。
(20)	用紙収納部	用紙を収納する場所です。
(21)	サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。
(22)	リボンフレームユニット	リボンを収めるユニットです。
(23)	ドライブホイール	リボンを巻き取り側へ送ります。

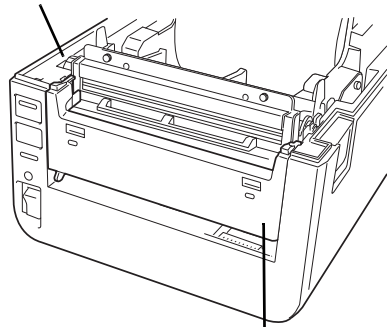
〈MultiCoder 503L3D (感熱タイプ)〉



番 号	部品名	機 能
(1)	トップカバーセンサー検出部	トップカバー開閉時、センサーを検出するための部分です。
(2)	サーマルヘッドロック	サーマルヘッドを本体から取り外すためのレバーです。
(3)	サーマルヘッドガイド	プラテンとサーマルヘッドを固定させる部品です。
(4)	ペーパーホルダー	用紙を保持する可動式のガイドと軸です。
(5)	ペーパーガイド	用紙を保持するガイドです。
(6)	反射センサー	用紙の位置を検知するセンサーです（用紙裏の黒マーク感知用）
(7)	透過センサー	用紙の位置を検知するセンサーです（ラベル間のギャップ（すき間）感知用）
(8)	ロックプレート	トップカバーを留める部品です。
(9)	センターリブ	用紙を保持するガイドです。
(10)	カッター用コネクター	カッターユニットのケーブルを接続するコネクターです。
(11)	コネクターカバー	コネクターを保護するカバーです。
(12)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは2章の「 <u>操作部とプリンターの設定</u> 」(47ページ)を参照してください。
(13)	プラテン	用紙を送ります。
(14)	カラムスケール	用紙をセットする際にペーパーホルダーの位置合わせの目安となるメモリです。
(15)	ロックレバー	用紙幅を調整するときに押すレバーです。
(16)	用紙収納部	用紙を収納する場所です。
(17)	サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。

〈糊（のり）カッター対応モデル／オプション：PR-T503L-11〉

(1) カッターユニット

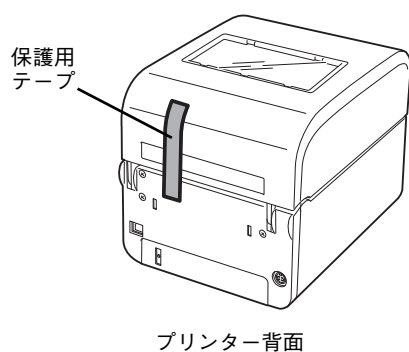
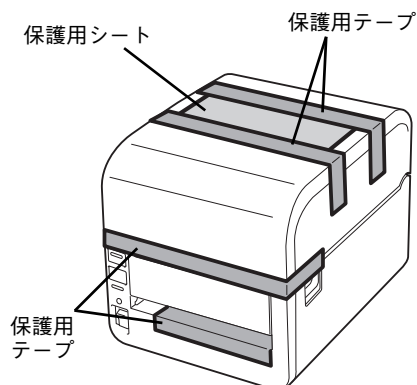
(2) フロントカバー
(カッター)

番号	部品名	機 能
(1)	カッター ユニット	- ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。印刷済みの用紙を切り離します（フルカット方式）。パーシャルカットはできません。 - カット動作なしの連続印刷への切替も可能です。
(2)	フロントカバー (カッター)	専用のフロントカバーです。

保護用部品を取り除く

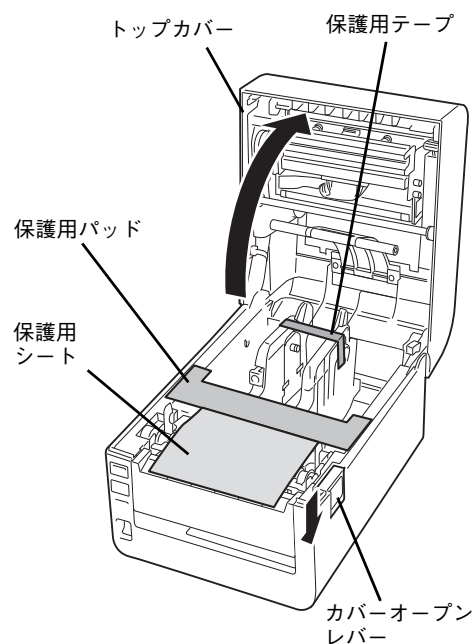
プリンター本体には運搬時の衝撃からプリンターを守るためにテープが貼り付けられています。また印刷機構部には保護用シートと保護用パッドが入っています。これらはプリンターを使用するときには必要ありません。

- 1** プリンターを箱から取り出した後、保護用テープと保護用シートを取り除きます。

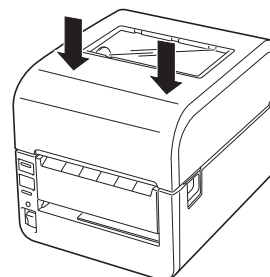


- 2** カバーオープンレバーを押して、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にします。

- 3** プリンター内部の保護用テープ、保護用シートおよび保護用パッドを取り除きます。



- 4** トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

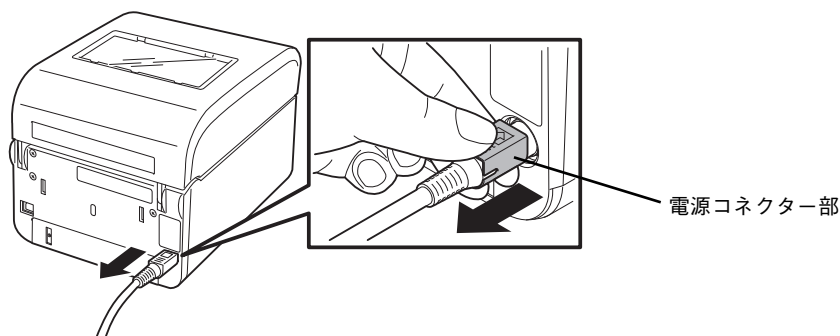


電源コード・ACアダプターを接続する

⚠ 注意

電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- 本プリンターに添付の電源コードを使用してください。
- コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。
- 延長コードを使った配線はしないでください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にて修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。電源の供給を完全に停止するためには電源プラグを抜く必要があります。電源スイッチをOFF「」にしても電源の供給は停止しません。
- プリンターから電源コネクターを取り外すときは、電源コネクター部を持って抜いてください。電源コネクター部を持って抜かないと接続のロックが解除できません。ケーブルを持って引っ張るとコネクター部が破損し、火災や感電のおそれがあります。



🔑 重要

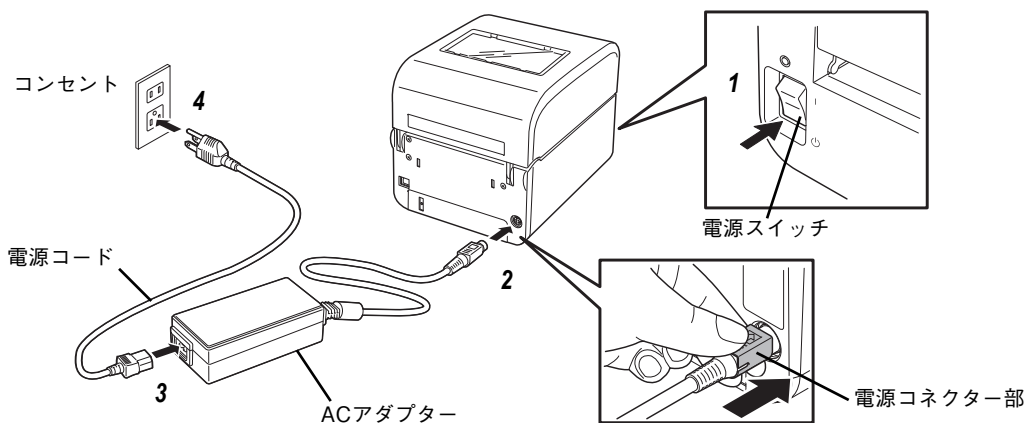
- 電源プラグを差し込む前にプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大容量の電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- 添付の電源コード、およびACアダプターを他の装置で使用しないでください。

- 1 プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
「」側がOFFです。
- 2 ACアダプターの電源コネクタをプリンターの電源コード接続部に接続します。

✓チェック

電源コネクタ部を持って「カチッ」と音がするまでプリンターの接続部に押し込んでください。コネクタの接続がロックされ、容易に抜けなくなります。

- 3 電源コードをACアダプターに接続します。
- 4 電源コードをコンセントに接続します。



電源をONにする（OFFにする）

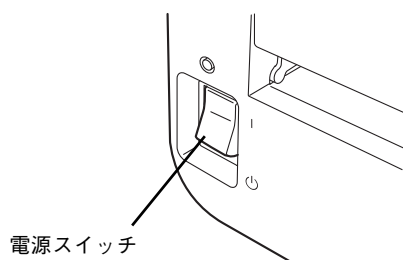
本プリンターは電源ON時にサーマルヘッドやメモリーのチェックを行います。

重要

電源のON/OFFは電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜き差ししてON/OFFすると、故障の原因となります。

電源をONにする

- 1 プリンターの電源スイッチをONにします。
「|」側がONです。

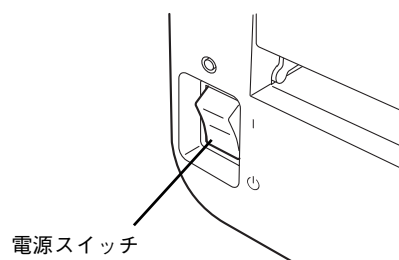


操作部のONLINEランプ（緑）、ERRORランプ（赤）、および電源ランプ（緑）が点灯し、コネクターカバー下の7セグメントLED（以降、「7セグLED」と呼びます）には「8」が表示されます。（7セグLEDについては2章の「操作部とプリンターの設定」（47ページ）を参照してください。）

電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、6章の「エラー表示が出ているときは」（88ページ）を参照してください。

電源をOFFにする

- 1 プリンターの電源スイッチをOFFにします。
「⌏」側がOFFです。



重要

用紙の印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。紙づまりや故障の原因となります。ただし、プリンターから異臭がしたり発煙しているときは、ただちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

リボンを取り付ける

MultiCoder 503L3Dタイプは印刷方式が感熱方式のため、この項目を飛ばして次へ進んでください。

本プリンターは「熱転写」と「感熱」という2種類の印刷方式に対応しています。熱転写方式とは、サーマルヘッドの熱でリボンのインクを溶かし、用紙に定着させる印刷方式です。感熱方式とは、発色剤を含んだ用紙にサーマルヘッドで熱を加え、発色させる印刷方式です。

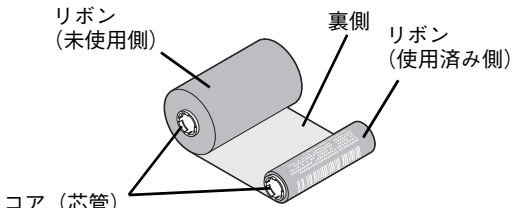
本プリンターに取り付けることのできるリボンについては4章 用紙規格と印刷範囲の「[リボン一覧](#)」(65ページ)を参照してください。また使用する用紙とリボンの適合については「[用紙とリボンの適合表](#)」(16ページ)を参照してください。ここでは、初めて本プリンターにリボンを取り付ける手順について説明します。

注意

- ・ トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意にトップカバーがしまり、けがの原因となるおそれがあります。
- ・ トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- ・ 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- ・ 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- ・ インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

重要

- ・ 本プリンターは、NEC 純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- ・ 感熱方式で印刷するときは、リボンを取り付け不要です。リボンを取り付けて印刷した場合、印刷に汚れが出たり、サーマルヘッドが破損したり、サーマルヘッドに溶けたリボンが付着したりして、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になります。
- ・ リボンには裏と表（インク面）がありますので、注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になります。
- ・ 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、下図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- ・ リボン幅と用紙幅の差が大きい場合、シワが発生して正しく印刷できないおそれがあります。下表を参考に用紙幅に合ったリボンを使用してください。



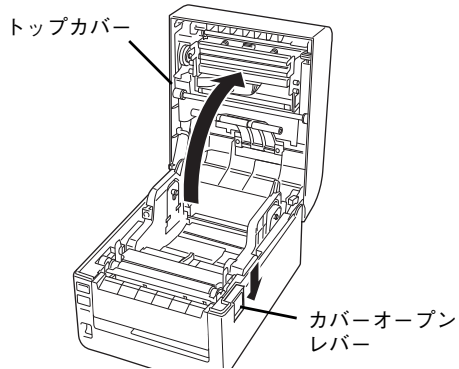
リボン幅	対応可能な用紙幅 (台紙含む)
40mm	25～35mm
60mm	35～55mm
90mm	55～85mm
112mm	85～118mm

- ・ 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。
- ・ リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

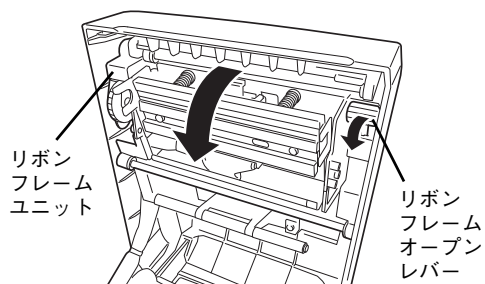
チェック

- ・ NEC指定以外のリボンを取り付けて印刷した場合、その結果に対しては責任を負いかねます。
- ・ リボンから用紙に転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバの「[ネガイメージ](#)」を選択して印刷する際はご注意ください。

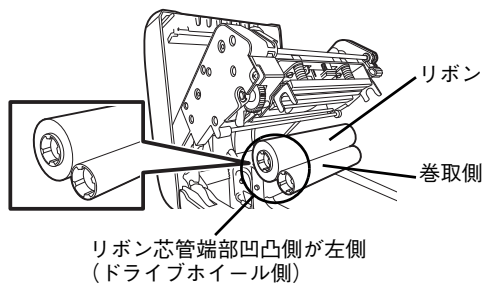
- 1 カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



- 2 リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



- 3 リボンの巻取側（新品の場合、径の細いほう）を手前側にし、かつ芯管端部凹凸側を左側にします。

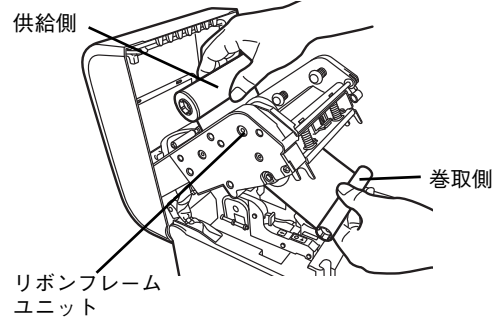


✓ チェック

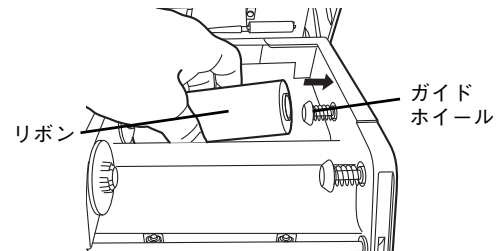
リボン取り付けには向きがあります。リボン芯管端部の凹凸がある方がプリンタの左側（ドライブホイール側）に取り付きますので、ご注意ください。ドライブホイールのそばにリボンの向きを説明するラベルがあります。途中からご使用するリボンにおいても、リボン芯管端部凹凸側がプリンタのドライブホイール側になります。



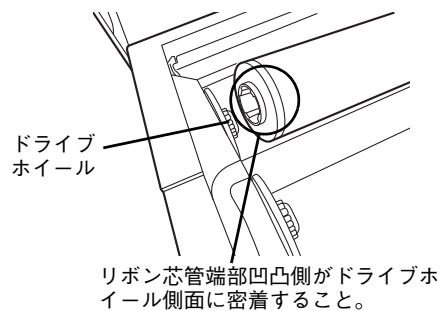
- 4 リボンの供給側（新品の場合、径の太いほう）をリボンフレームユニットの下をくぐらせます。



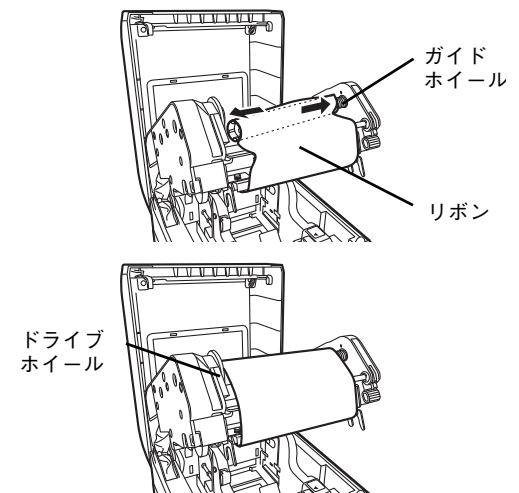
- 5 右側のガイドホイールに供給側リボン芯管端部平滑側を取り付け、右側に押込みます。



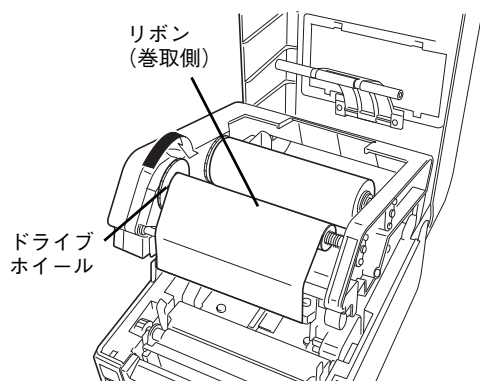
- 6 左側のドライブホイールに供給側リボン芯管端部凹凸側を取り付けます。このとき、ドライブホイールの側面にリボン芯管端部の凹凸が密着していることをご確認ください。



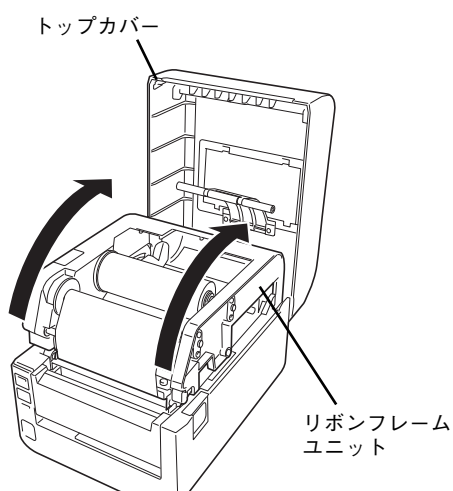
- 7 同様にリボン巻取側を右側のガイドホイールに取り付けた後、左側のドライブホイールに取り付けます。



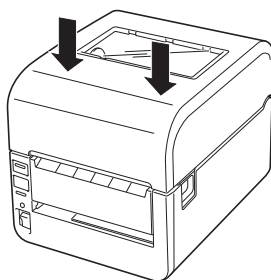
- 8 左側のドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。



- 9 リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。



- 10 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



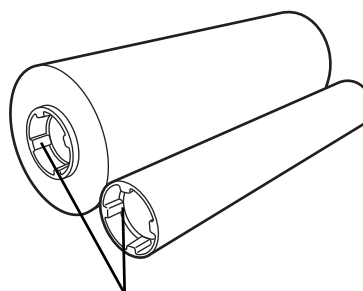
以上でリボンのセットは完了です。

リボン種類

リボンには種類によってリボン芯管凹凸側に色分け（マーキング）されています。

ご使用の際はマーキングをよくご確認に上、ご使用ください。

リボン種類	色（マーキング）
ワックスリボン	赤
ワックスレジンリボン	青
レジンリボン	黒
リストバンドリボン	なし



リボン芯管端部凹凸側にマーキングしています。

✓チェック

リボン種類はご使用の用紙によって異なります。
ご使用のラベル紙に合ったリボンをお使いください。

用紙をセットする

ここでは、初めて本プリンターに用紙を取り付ける手順について説明します。

- プリンターの中に入れて使用するロール紙の場合 [31ページ](#)
- プリンターの外で使用するファンフォールド紙の場合 [33ページ](#)

本プリンターではラベルとタグを使用することができます。用紙はNEC指定の純正品を推奨します（「[用紙一覧](#)」[（16ページ）](#)を参照）。

用紙の購入および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意

- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意にトップカバーがしまり、けがの原因となるおそれがあります。
- トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。

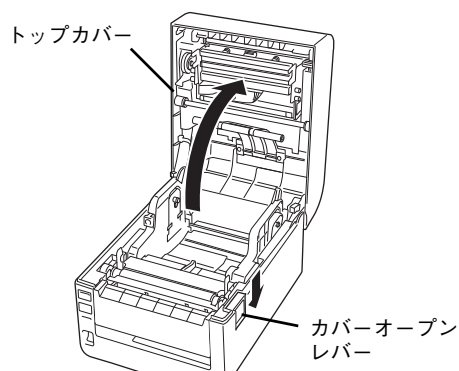
重要

- 本プリンターは、NEC 純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- ご使用になる用紙の種類に合わせてセンサーの感度調整を行ってください。「[センサーしきい値を調整する](#)」[（40ページ）](#)を参照して補正設定を行ってください。

ロール紙のセット

- 1 プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。

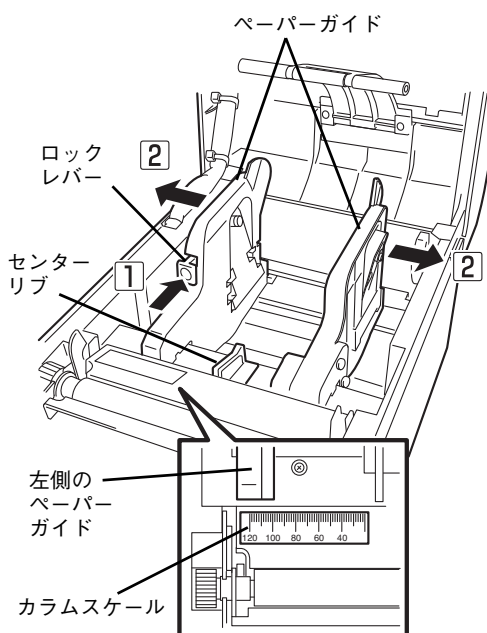
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



- 3 ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

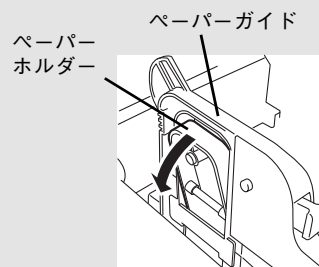
カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットする用紙の幅と同じ値の目盛りに合わせてます。

左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。



✓チェック

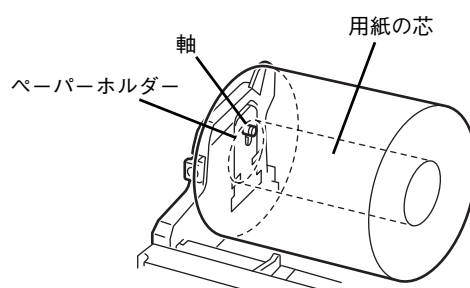
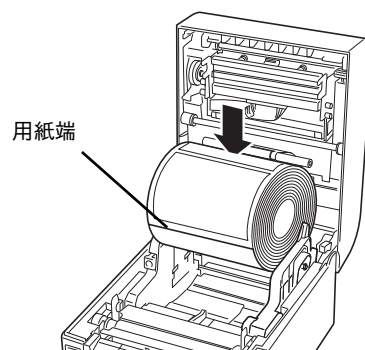
左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



- 4 用紙端が手前側にくるようにして用紙を持ちます。

- 5 用紙をそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸が用紙の芯に入るようにセットします。

ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。

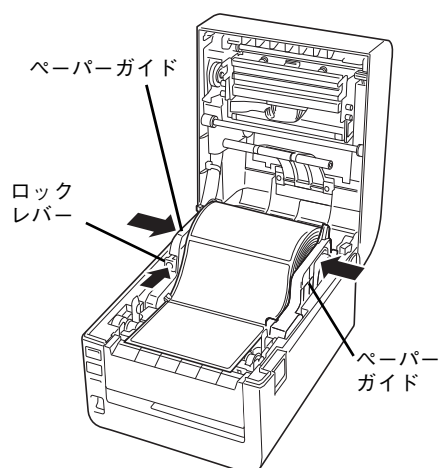


✓チェック

〈ロール紙外径が小さい場合〉

ロール紙の芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押してセットしてください。

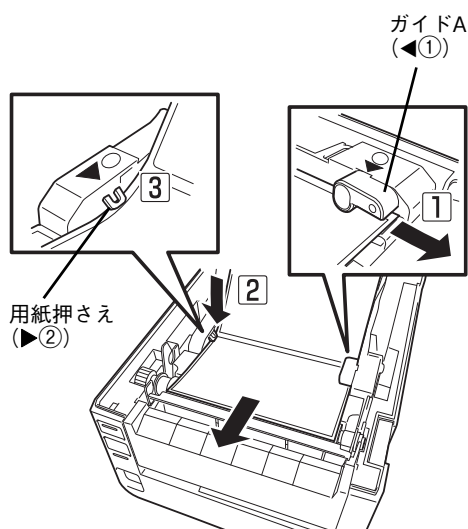
- 6 ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側と用紙がぴったりと付くように用紙幅を合わせます。



✓ **チェック**

用紙が左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- 7 用紙をガイドA (◀①) の下にぐらせた後 (①)、用紙押さえ (▶②) の上から用紙を押して (②)、用紙押さえの下に用紙が通るようにセットします (③)。



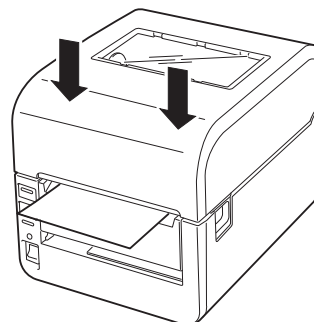
- 8 用紙を引き出します。

用紙はフロントカバーより手前側になるように引き出します。

✓ **チェック**

用紙が左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- 9 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上でロール紙のセットは完了です。

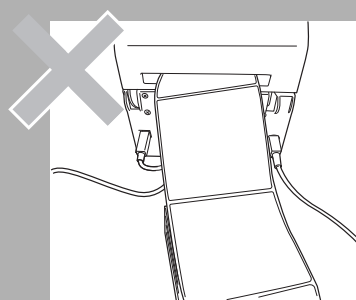
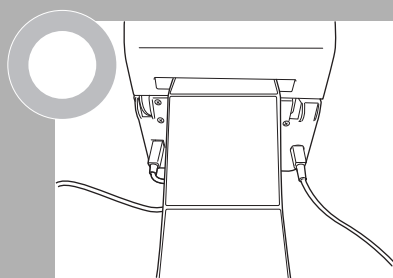
ファンフォールド紙のセット

感熱タイプと熱転写+感熱タイプではセット方法が異なります。

重要

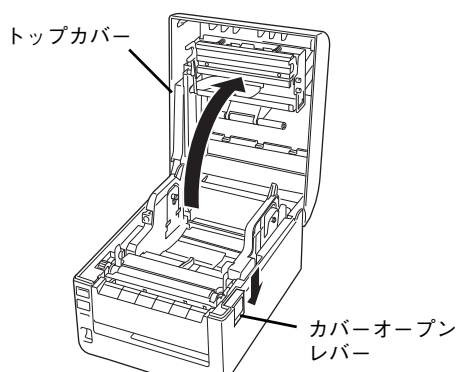
＜ファンフォールド紙を置くときの注意＞

- ・ 装置内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置いてください。
- ・ プリンターに対して斜めに置かないでください。

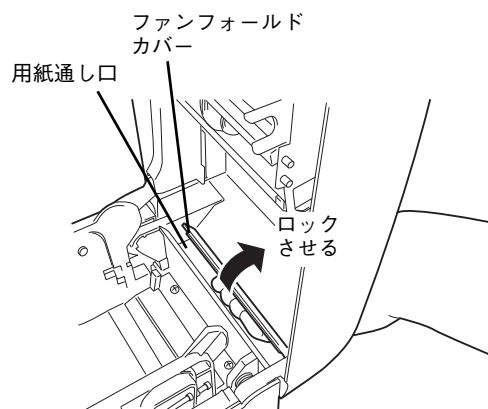


感熱タイプ

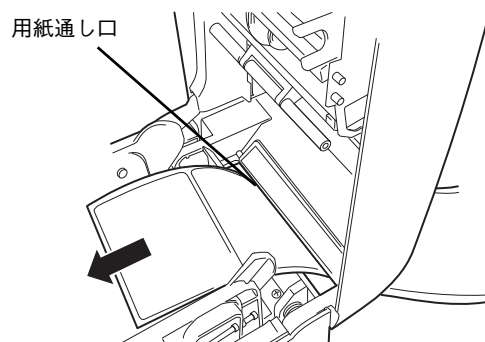
- 1 プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



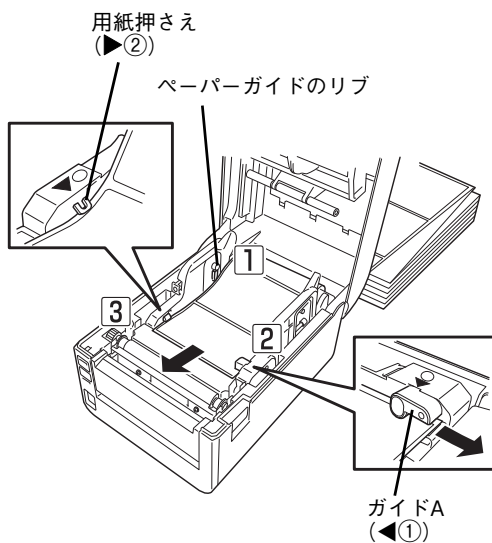
- 3 プリンター背面から手を回してファンフォールドカバーを上回転させ、ロックします。



- 4 印刷面を上にして、用紙をプリンター背面の用紙通し口から内部へ通します。



- 5** 左右のペーパーガイドの下にあるリブの下をくぐらせて (1)、ガイドA (◀①) の下を通した後 (2)、用紙押さえ (▶②) の上から用紙を押して用紙押さえの下に用紙が通るようセットします (3)。

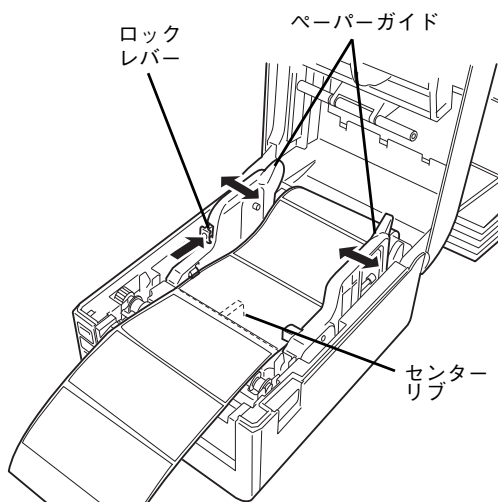


- 6** 用紙を引き出します。

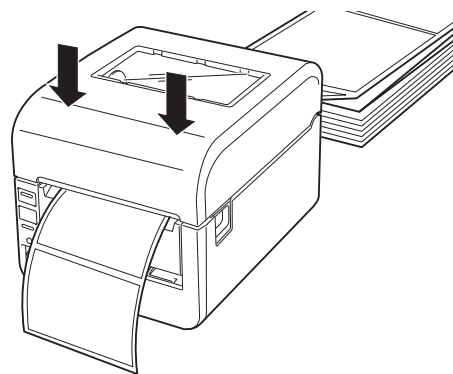
用紙はフロントカバーより手前側になるように引き出します。

- 7** ロックレバーを押しながらペーパーガイドを伸縮させ、用紙幅を調整します。

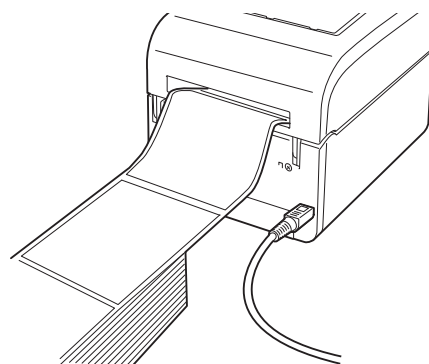
センターリブを基準に伸縮します。



- 8** トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



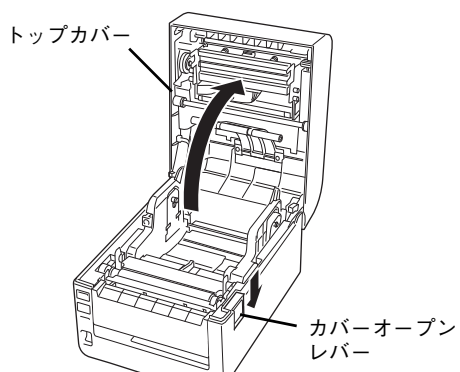
- 9** プリンター内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置きます。



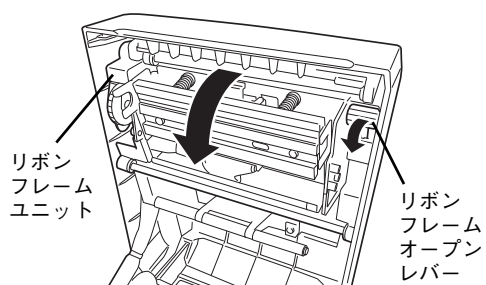
以上でファンフォールド紙のセットは完了です。

熱転写+感熱タイプ

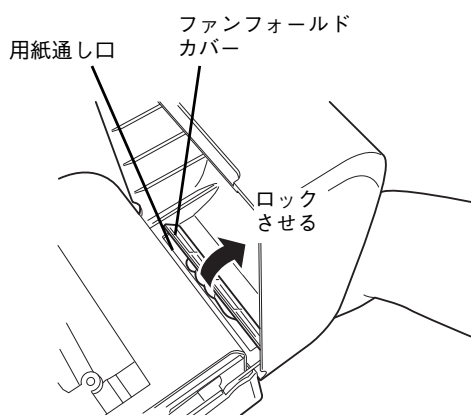
- 1 プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



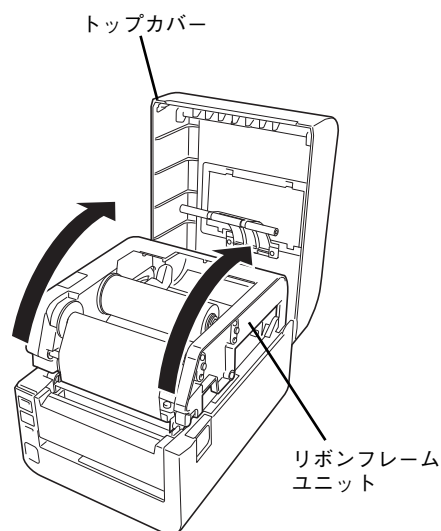
- 3 リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



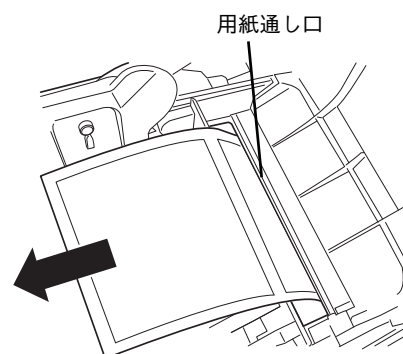
- 4 プリンター背面から手を回してファンフォールドカバーを上に戻り、ロックします。



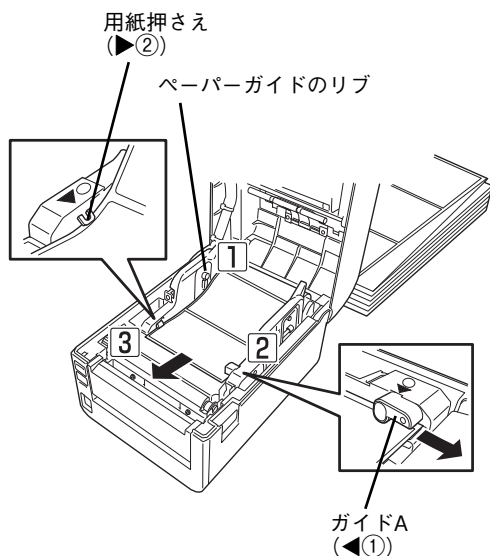
- 5 リボンフレームユニットをトップカバー側に入れ、固定させます。



- 6 印刷面を上にして、用紙をプリンター背面の用紙通し口から内部へ通します。



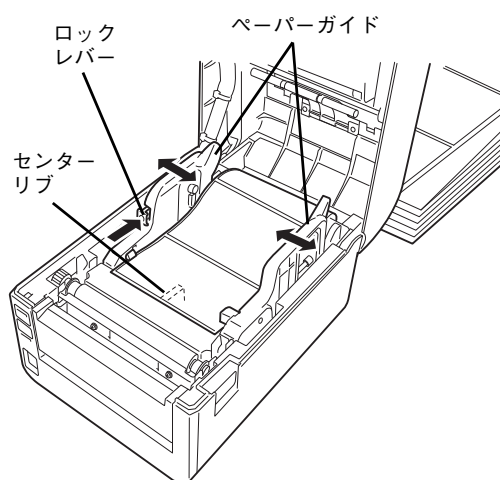
- 7 左右のペーパーガイドの下にあるリブの下をくぐらせて (1)、ガイドA (1) の下を通した後 (2)、用紙押さえ (2) の上から用紙を押して用紙押さえの下に用紙が通るようセットします (3)。



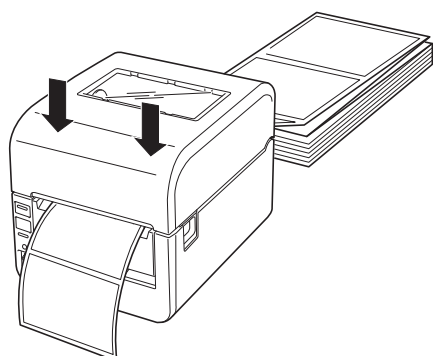
- 8 用紙を引き出します。

- 9 ロックレバーを押しながらペーパーガイドを伸縮させ、用紙幅を調整します。

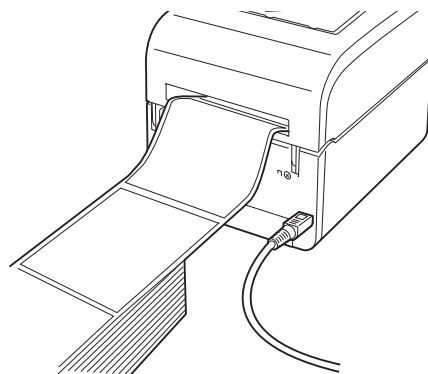
センターリブを基準に伸縮します。



- 10 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



- 11 プリンター内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置きます。



以上でファンフォールド紙のセットは完了です。

プリンターの設定をする

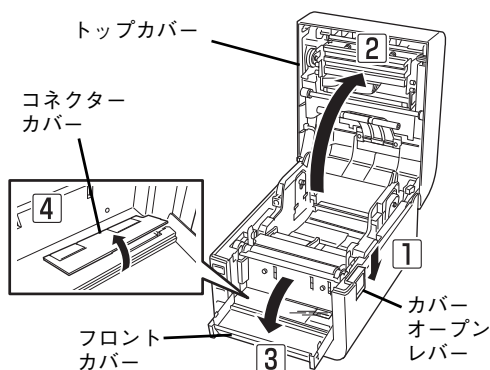
本プリンターにはプリンターの機能を設定するディップスイッチ（DIP SW）があります。DIP SWの設定はお使いになる状態に正しく設定してください。DIP SWの詳しい説明については2章の「ディップスイッチ（DIP SW）」（50ページ）を参照してください。またそれぞれの設定をするときにプリンタードライバーを使用する方法と使用しない方法がありますが、プリンタードライバーを使用する方法を推奨します。

✓チェック

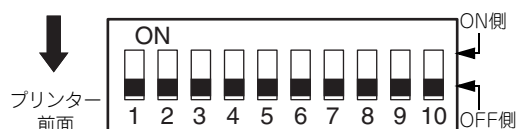
- DIP SWの設定を変更するときはプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- DIP SWで設定を変更した場合は、設定を有効にするために電源をONにしてください。

1 プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します（26ページ参照）。

2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



コネクターカバー下には、プリンターの設定を変更するディップスイッチ（DIP SW）があります。



DIP SWにない機能はプリンタードライバーまたは「リモートパネル」から設定します。

DIP SW	機 能	設 定
SW1・SW2	動作モードの切り替え	OFF・OFF：モード1（NLPL）*1 OFF・ON：モード2（305dpi）*1 ON・OFF：未使用 ON・ON：モード3（203dpiエミュレーション）*1
SW3・SW4*2	印刷モードの選択	OFF・OFF：連続印刷 OFF・ON：連続印刷 ON・OFF：連続印刷 ON・ON：カット印刷
SW5*2,*3	印刷方式の選択	ON：熱転写方式 OFF：感熱方式

DIP SW	機 能	設 定
SW6・SW7*2	用紙頭出しセンサーの選択	OFF・OFF：センサー無視 ON・OFF：反射センサー OFF・ON：透過センサー ON・ON：センサー無視
SW8	プリンタードライバー設定の有効/無効	ON：無効 OFF：有効
SW9	黒マーク検出制御	ON：従来制御 OFF：通常制御
SW10*4	インターフェースの選択	ON：USBインターフェース OFF：インターフェースボード

* 1 モードの説明については、「DIP SW1・SW2 動作モード切り替え」（51ページ）を参照してください。プリンタードライバーまたは NLPL コマンドを利用する場合は「モード1（NLPL）」に設定してください。

* 2 DIP SW8 が「ON」の場合に機能します。DIP SW8 は DIP SW3 ～ 7 に割り当てられた 3 つの機能の有効/無効を切り替えるスイッチです。これら 3 つの機能はプリンタードライバーからも設定できるため、DIP SW8 でどちらの設定を有効にするか指定します。

* 3 感熱タイプはこの設定を無視して常に感熱式で動作します。

* 4 プリンターにプリントサーバーを装着している場合に機能します。装着していない場合は、この設定を無視して、常に USB インターフェースで動作します。

テスト印刷をする

プリンターが正常に動作することを確認するために、テスト印刷を行います。
このテスト印刷は6章の「故障かな？と思ったときは」(87ページ)の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。
テスト印刷に使用する用紙は用紙幅が105mm以上の用紙をプリンターにセットしてください。また、用紙のラベル先頭位置がプラテンの中央(真上)になるように用紙をセットしてください。
ここでは感熱ラベル紙を使用した場合の手順について説明します。

✓チェック

テスト印刷をする際は「用紙をセットする」(30ページ)を参照して必ず用紙をセットしてください。

- 1 プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

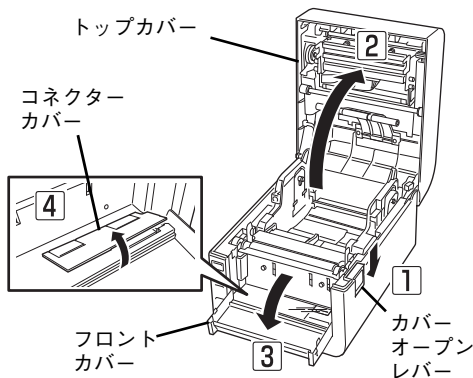
「」側がOFFです。

- 2 プリンターに用紙がセットされていることを確認します。

✓チェック

熱転写方式で印刷する場合は、リボンが正しくセットされていることを確認してください(「リボンを取り付ける」(27ページ)参照)。

- 3 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



- 4 DIP SWを次のように設定します。

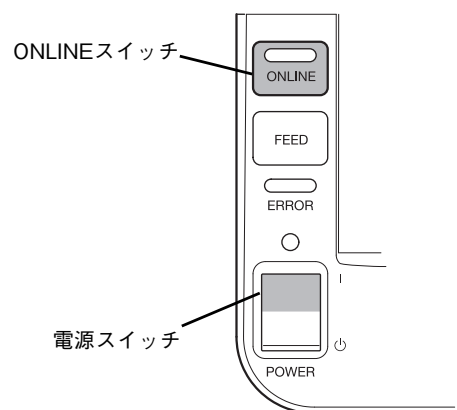
DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。
DIP SW6をOFF、DIP SW7をOFFにしてセンサー無視にします。
DIP SW8をONにしてプリンタードライバー設定を無効にします。



- 5 コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- 6 ONLINEスイッチを押しながら電源スイッチをONにします。

「」側がONです。



7セグLEDには、「」が点滅表示します。

その他のコードを表示している場合は、6章の「エラー表示が出ているときは」(88ページ)を参照して問題を取り除いてください。

- 7 FEEDスイッチを押してテスト印刷の種類を選択します。



3種類のテスト印刷を選択することができます。FEEDスイッチを押すたびに7セグLEDの点滅表示が切り替わります。

: プリンターの設定情報

: プリンターが内蔵しているテスト印刷パターン1

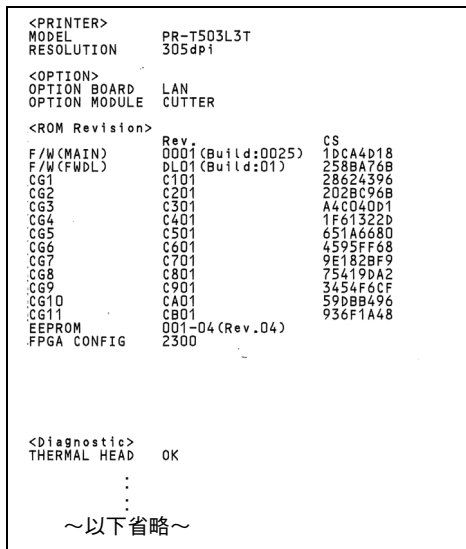
: プリンターが内蔵しているテスト印刷パターン2

8 ONLINEスイッチを押します。

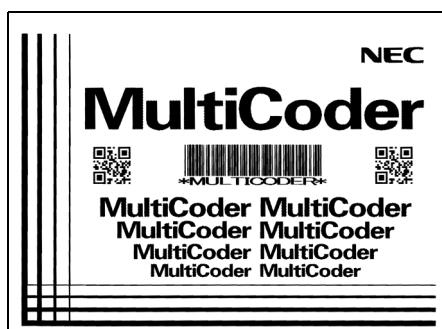


7セグLEDの表示が点滅から点灯に変わります。

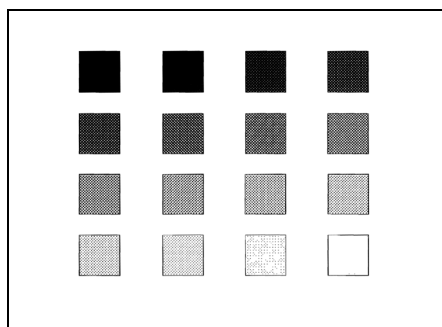
はじめに、サーマルヘッドの断線チェックやプリンター内部のチェックした後、印刷を開始します。



② の場合のテスト印刷結果例



① の場合のテスト印刷結果例



② の場合のテスト印刷結果例

テスト印刷を終了すると、エラーがなければ7セグLEDの表示が点灯から点滅に変わります。

エラーを検出した場合は、テスト印刷後にエラー表示をします。[6章の「エラー表示が出ているときは」\(88ページ\)](#)を参照して問題を取り除いてください。

✓チェック

サーマルヘッド断線チェックエラーを検出した場合は、“”を表示します。ONLINEスイッチを1回押すと、テストを続けることができます。ただし、印刷結果の一部が欠けることがあります。

■□ テスト印刷の結果 □■

ラベル紙をセットしている場合は、ギャップ間（例えば台紙）に印刷され、印刷結果が正しく読みとれない場合もあります。

9 テスト印刷を終了させるために、電源を OFF にします。

「」側がOFFです。

■□ ネットワーク設定の印刷 □■

ここで説明しているテスト印刷はインターフェースを除いたプリンター単体テストを行います。プリントサーバー内蔵の場合は、プリントサーバーのパネルにあるスイッチを使ってIPアドレスやMACアドレスなどの設定を印刷させることができます。詳しくはプリントサーバーのマニュアルで説明しています。

10 テスト印刷を終了したら、DIP SWの設定をテスト印刷する前の設定に戻します。

[「プリンターの設定をする」\(37ページ\)](#)を参照して正しく設定してください。

センサーしきい値を調整する

印刷の際、印刷位置を一定に保つために本プリンターはセンサーを使用しています。使用する用紙に合わせたしきい値調整を行ってください。

- ・ 透過センサー.....ラベル間のすき間（ギャップ）で用紙の頭出し位置を検出します。
- ・ 反射センサー.....用紙の裏面の黒マークで用紙の頭出し位置を検出します。

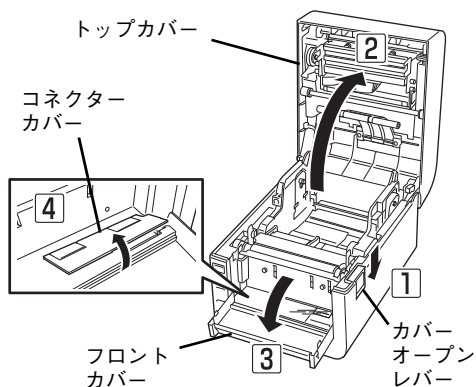
チェック

ラベル紙の種類によって台紙の色や台紙の厚さが異なる場合があります。使用する用紙を変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

ここでは、使用する用紙に合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

1 プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

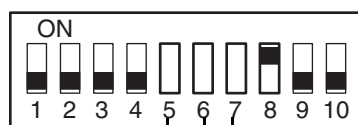
2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



3 DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。

DIP SW5（印刷方式）はお使いの環境に合わせた設定をしてください。

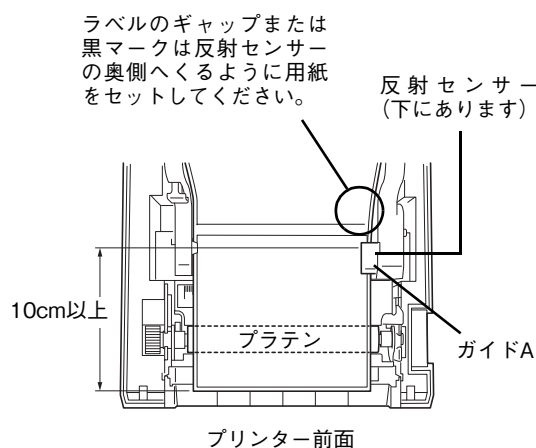
DIP SW6とSW7（用紙頭出しセンサーの選択）は、使用する用紙に合わせた設定をしてください。



SW5 : OFF → 感熱方式
ON → 熱転写方式
SW6 : ON ・ SW7 : OFF → 反射センサー
SW6 : OFF ・ SW7 : ON → 透過センサー

4 用紙をセットします。

用紙がブラテンから落ちないようにブラテン付近と反射センサー付近の間は10cm以上にして用紙をセットしてください。

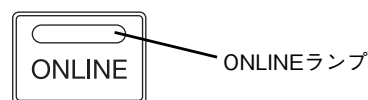


5 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

6 プリンターの電源スイッチをONにします。

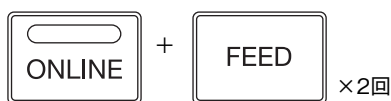
7 ONLINE スイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINEランプが消灯した状態です。



8 ONLINEスイッチを押しながらFEEDスイッチを2回押して調整します。

用紙がフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



9 フィードが止まったら、ONLINE スwitchを押してONLINE状態にします。

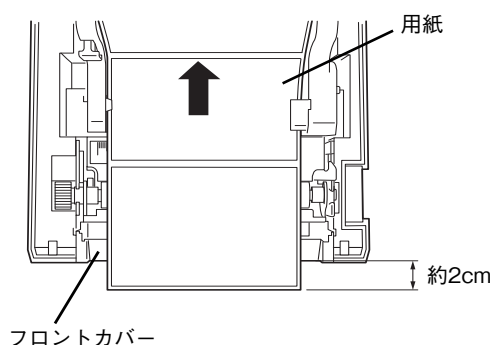
ONLINEランプが点灯した状態です。



10 フィードした用紙を取り除きます。

- 手で巻き取る場合は、電源を ON にしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、用紙を巻き取ります。
- 用紙を切り取る場合は、はさみなどを使って、ていねいに切り取ってください。

用紙を取り除く際、フロントカバーより約2cmほどプリンター前面側にはみ出る程度にしてください。



11 DIP SWの設定を使用する際の設定に戻します。

DIP SWの設定を変更する前にプリンターの電源をOFFにしてください。

詳しくは、「プリンターの設定をする」(37ページ)を参照して設定してください。

12 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、用紙先頭から印刷を行うことができます。

チェック

- しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに “E” を表示し、ERRORランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。
- ラベルのギャップ（透過センサーの場合）または黒マーク（反射センサーの場合）がはっきり認識できるように用紙のプレ印刷の内容を薄い色にすることをお勧めします。

コンピューターに接続する

ここではコンピューターとUSB、LANの各インターフェースへの接続手順を説明します。

✓チェック

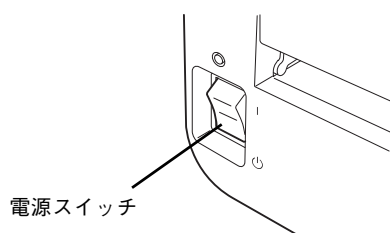
- コンピューター本体とプリンターの接続は、本プリンターに付属、または対応したケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用すると、プリンターの機能が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピューターについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。

ディップスイッチの設定を変更する

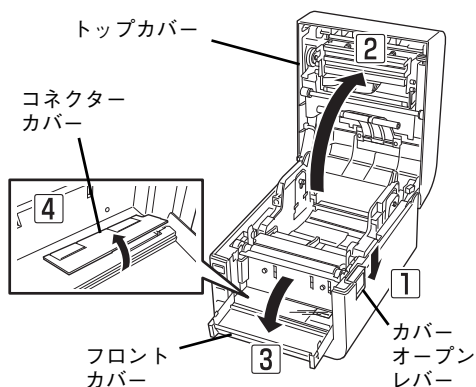
本プリンターのディップスイッチ（DIP SW10）でコンピューターとの通信に使用するインターフェースを指定します。工場出荷時のDIP SW10の設定は「OFF」（インターフェースボードのインターフェース（LAN）を使用する）に設定されています。

1 プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

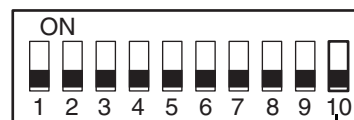
「」側がOFFです。



2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



3 DIP SW10の設定を使用する環境に合わせて変更します。



SW10 :
OFF→ インターフェースボードを使用する
ON→ USBインターフェースを使用する

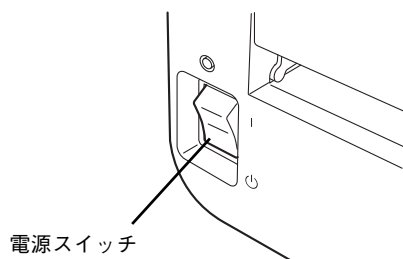
4 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

USBケーブルで接続する

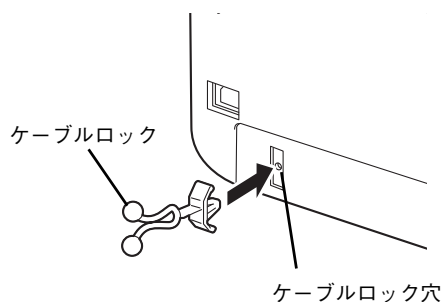
本プリンターのUSBインターフェースは、USB1.1/USB2.0 (Full Speed) に準拠しています。プリンターに添付のUSBケーブル*¹ で接続してください。また、ケーブルの抜けを防止するケーブルロックも取り付けてください。

- 1** プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

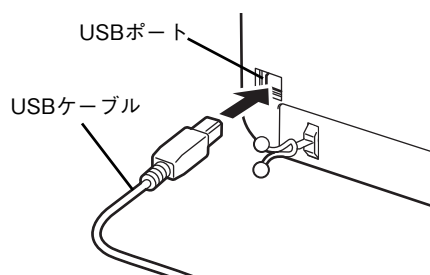
「」側がOFFです。



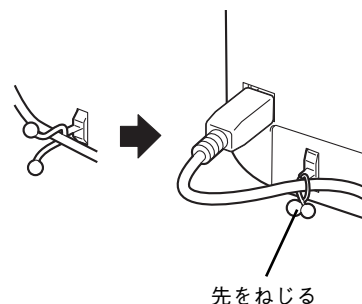
- 2** プリンター背面のケーブルロック穴へ装置に添付のケーブルロックをしっかりと差し込みます。



- 3** 背面のUSBポートにUSBケーブルのコンネクターを接続します。

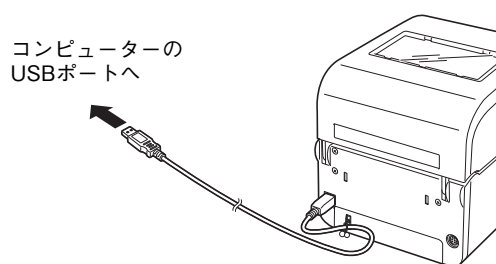


- 4** USBケーブルをケーブルロックの間に通し、先をねじります。



- 5** USB ケーブルのもう一方のコンネクターをコンピューターのUSBポートに接続します。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。



重要

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、コンピューターの「ハードウェアの安全な取り外し」などに従って取り外してください。

* 1 LAN 対応モデルには添付していません。

LANケーブルで接続する

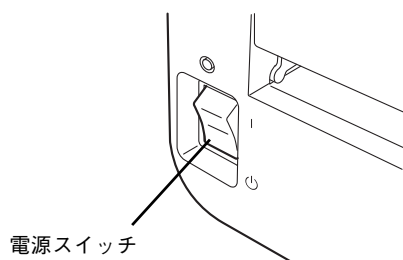
プリンターに内蔵のプリントサーバーに接続する方法は次のとおりです。

✓ チェック

100BASE-TX環境でお使いの場合は、100BASE-TX対応のイーサネットハブ（HUB）とカテゴリー 5以上のネットワークケーブル、10BASE-T環境でお使いの場合は、カテゴリー 3以上のネットワークケーブルをご用意ください。

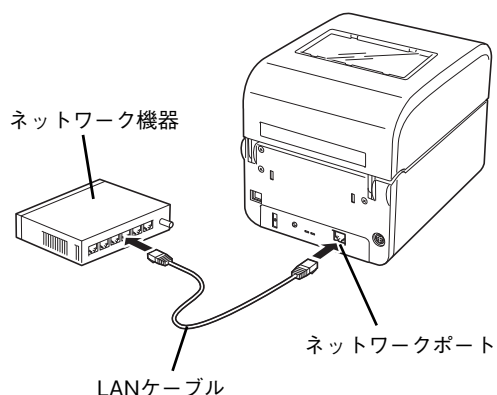
1 プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

「」側がOFFです。



2 本体背面のネットワークポートに LAN ケーブルのコンネクターを接続します。

3 LAN ケーブルのもう一方のコンネクターをハブなどのネットワーク機器に接続します。



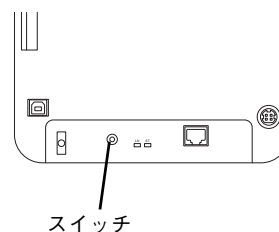
詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。プリントサーバーに関する詳しい説明はソフトウェアCD-ROMに収められているプリントサーバーオンラインマニュアルを参照してください。TCP/IPの設定などが詳しく記載されています。

✓ チェック

LAN インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムやCATV など）へ直接接続することは許可されていません。

■□ ネットワーク設定の印刷 □■

プリントサーバーにあるスイッチ（下図参照）を使ってIPアドレスやMACアドレスなどの設定を印刷させることができます。プリントサーバーオンラインマニュアルで説明しています。



ソフトウェアをインストールする

コンピューターから印刷するには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてください。プリンタードライバーは添付のソフトウェアCD-ROMに収録されています。

プリンタードライバーのインストール方法には、次の方法があります。

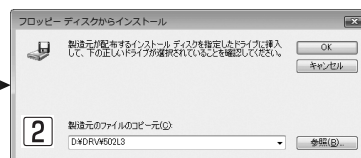
- ソフトウェアCD-ROMのインストーラーを使う
- Windowsのプラグ・アンド・プレイ機能を使う

■□ 【ディスク使用】 画面で選択するファイルについて □■

プリンタードライバーのインストールの際に“プリンタの製造元とモデル”を選択するダイアログボックスが表示されます。ここでは添付のソフトウェアCD-ROMをセットしたCD-ROMドライブの次の場所を入力（または指定）してインストールを進めてください。詳しい手順はソフトウェアマニュアルで説明しています。



- 1 【ディスク使用】をクリック。
- 2 【製造元のファイルのコピー元】に、「(ソフトウェアCD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて“DRV¥503L3”と入力し、[OK] をクリック。



添付のソフトウェアCD-ROMには、プリンタードライバーの他にWindowsの画面上からプリンターの各種設定や調整を行える「リモートパネル」が収録されています。

インストール方法や使用方法などそれぞれの詳しい説明については、ソフトウェアマニュアルを参照してください。

ネットワークの設定をする

プリントサーバーを装着して使用する場合は、IPアドレスなどお使いのネットワーク環境に合った設定をします。

ネットワークの設定はプリントサーバーオンラインマニュアルを参照してください。IPアドレスの設定は添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」からWindowsの画面上で行うこともできます（ただし、プリンタードライバーとリモートパネルがインストールされている必要があります）。リモートパネルについてはソフトウェアマニュアルの2章「リモートパネル」を参照してください。

メモ

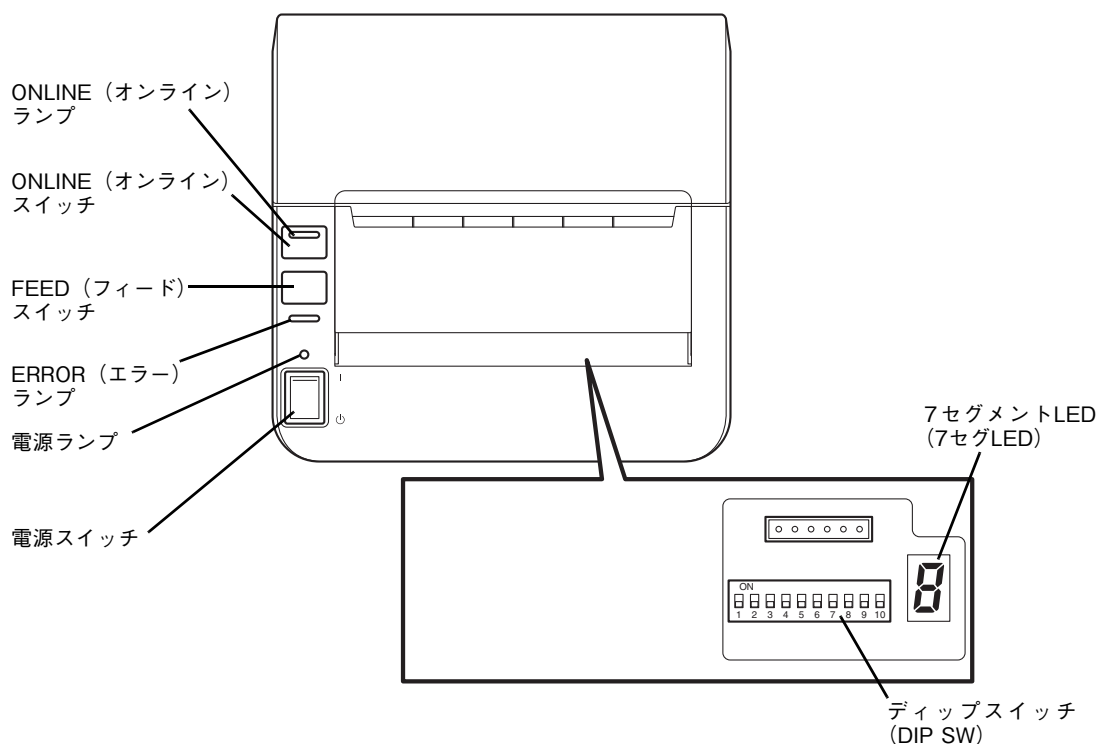
2章

操作部とプリンターの設定

この章では、操作部を使ってプリンターの操作と7セグメントLED、および操作部ボリュームの設定について説明しています。

操作部には、3つのスイッチ、3つのランプ、10個のディップスイッチ（DIP SW）、および1個の7セグメントLEDがあります。プリンターのさまざまな設定をしたり、変更したりします。7セグメントLEDとランプはプリンターの状態やエラーを知らせます。

操作部の外観と各部の名称は次のとおりです。



スイッチ

操作部には3個のスイッチがあります。各スイッチの機能は下表のとおりです。

名 称	機 能
電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 : ON ⏻ : OFF
ONLINEスイッチ	- スイッチは押してから放したときに有効になります。 - 押すごとにデータを印刷できる状態（オンライン状態）とできない状態（オフライン状態）を交互に切り替えます。 - 印刷中に押すと、ページ間で一時停止を行います。再度押すと、印刷を再開します。 - テスト印刷の機能を持っています。 〈テスト印刷をするには〉 プリンターの電源がOFFの状態、ONLINEスイッチを押しながら、電源スイッチをONにします（1章の「テスト印刷をする」（38ページ）参照）。
FEEDスイッチ	- スイッチは押してから放したときに有効になります。 - モード1：オフライン状態、またはオンライン状態で印刷動作をしていない時に有効です。 - モード2・3：用紙頭出しセンサーが有効かつ、オフライン状態でのみ有効です。 - 自動カット位置送り機能が有効な場合： 現在の用紙先頭位置から次の先頭位置まで用紙を送った後、自動カット位置送りを実行して停止します。 - 自動カット位置送り機能が無効な場合： 現在の用紙先頭位置から次の先頭位置まで用紙を送って停止します（用紙を1枚分紙送りします）。 ■□ 用紙頭出しセンサー □■ 用紙の先頭位置を検知するセンサーはDIP SW8が“OFF”の場合、プリンタードライバーの設定に従います。DIP SW8が“ON”の場合は、DIP SW6とSW7による組み合わせで選択されます。センサー無視が設定されている場合はプリンタードライバーの用紙サイズ設定値に従って用紙を送ります。ただし、モード2、3のときは用紙を送りません。 - リモートパネルでモード1専用の機能 OFF（再印刷しない）：オンライン状態でFEEDスイッチを押した場合、フィード動作をします。 - ON（再印刷する）：オンライン状態でFEEDスイッチを押した場合、再印刷をします。 - センサーしきい値調整の機能を持っています。 〈センサーしきい値調整をするには〉 プリンターの電源がONおよびオフライン（ONLINEランプ消灯）の状態、ONLINEスイッチを押しながら、FEEDスイッチを2回続けて押します（1章の「センサーしきい値を調整する」（40ページ）参照）。

■□ 自動カット位置送り機能 □■

自動カット位置送り機能の設定や説明についてはソフトウェアマニュアルの「リモートパネル」の章を参照してください。

ランプ

操作部には3個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンターの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
ONLINEランプ	緑	点灯	オンラインで印刷可能な状態です。
		点滅	印刷中の一時停止状態およびデータがあるときの復旧可能状態です。
		消灯	オフライン状態です。
ERRORランプ	赤	点灯	復旧不可能なエラーが発生している状態です。
		点滅	復旧可能なエラーが発生している状態です。
		消灯	エラーが発生していない状態です。
電源ランプ	緑	点灯	電源がONの状態です。
		消灯	電源がOFFの状態です。

7セグメントLED

操作部にある7セグメントLEDは、1文字の英数字（コード）を表示します。プリンターが通常の状態（オンライン状態またはオフライン状態）の間はなにも表示せず、特殊な場合にコードを表示してその状態を知らせます。

コード	表示の意味	コード	表示の意味
 (消灯)	- プリンターの電源がOFFの状態です。 - プリンターの電源がONで、オンライン状態、オフライン状態、または印刷を一時停止中の状態です。		点灯：テスト印刷中です。 点滅：テスト印刷の準備を完了しました（ONLINEスイッチを1回押すと開始します）。
	プリンターの初期化中です。		
	センサーのしきい値調整が失敗しました。		
その他	プリンターにエラーが発生しています。 6章の「エラー表示が出ているときは」(88ページ) を参照して問題を解決してください。		

ディップスイッチ (DIP SW)

「ディップスイッチ (DIP SW)」は10個の機械的なスイッチから構成されています。スイッチには本プリンターの機能が割り当てられていて、1つのスイッチで切り替えをするものと複数のスイッチによるON/OFFの組み合わせで設定されるものがあります。本プリンターのDIP SWによって7つの機能を設定することができます。

重要

DIP SWを変更する場合はプリンターの電源をOFFにしてください。

チェック

変更したDIP SWの設定はプリンターの電源をONにした後、有効となります。

スイッチ番号	機 能	工場設定															
1	動作モード切り替え	OFF															
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DIP SW1</th><th>DIP SW2</th><th>モード</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td><td>OFF</td><td>モード1 (NLPL) *1</td></tr> <tr> <td>OFF</td><td>ON</td><td>モード2 (305dpi) *1</td></tr> <tr> <td>ON</td><td>OFF</td><td>未使用</td></tr> <tr> <td>ON</td><td>ON</td><td>モード3 (203dpiエミュレーション) *1</td></tr> </tbody> </table>	DIP SW1	DIP SW2	モード	OFF	OFF	モード1 (NLPL) *1	OFF	ON	モード2 (305dpi) *1	ON	OFF	未使用	ON	ON	モード3 (203dpiエミュレーション) *1	OFF
DIP SW1	DIP SW2	モード															
OFF	OFF	モード1 (NLPL) *1															
OFF	ON	モード2 (305dpi) *1															
ON	OFF	未使用															
ON	ON	モード3 (203dpiエミュレーション) *1															
3*2	印刷モード切り替え	OFF															
4*2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DIP SW3</th><th>DIP SW4</th><th>モード</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td><td>OFF</td><td>連続印刷</td></tr> <tr> <td>OFF</td><td>ON</td><td>連続印刷</td></tr> <tr> <td>ON</td><td>OFF</td><td>連続印刷</td></tr> <tr> <td>ON</td><td>ON</td><td>カット印刷</td></tr> </tbody> </table>	DIP SW3	DIP SW4	モード	OFF	OFF	連続印刷	OFF	ON	連続印刷	ON	OFF	連続印刷	ON	ON	カット印刷	OFF
DIP SW3	DIP SW4	モード															
OFF	OFF	連続印刷															
OFF	ON	連続印刷															
ON	OFF	連続印刷															
ON	ON	カット印刷															
5*2	印刷方式 OFF： 感熱式とします。 ON： 熱転写式とします。	OFF															
6*2	用紙頭出しセンサーの選択	OFF															
7*2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DIP SW6</th><th>DIP SW7</th><th>モード</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td><td>OFF</td><td>センサー無視</td></tr> <tr> <td>ON</td><td>OFF</td><td>反射センサー</td></tr> <tr> <td>OFF</td><td>ON</td><td>透過センサー</td></tr> <tr> <td>ON</td><td>ON</td><td>センサー無視</td></tr> </tbody> </table>	DIP SW6	DIP SW7	モード	OFF	OFF	センサー無視	ON	OFF	反射センサー	OFF	ON	透過センサー	ON	ON	センサー無視	OFF
DIP SW6	DIP SW7	モード															
OFF	OFF	センサー無視															
ON	OFF	反射センサー															
OFF	ON	透過センサー															
ON	ON	センサー無視															

* 1 モード1はプリンタードライバーを使った印刷、NLPLを使った印刷（例：SVF for JavaPrint（SVF for NEC MultiCoder）、Report Director Enterprise（RDE NEC MultiCoder Option））で使用するモードです。
 モード2はSVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの305dpiで使用するモードです。
 モード3はSVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの203dpiで使用するモードです。

* 2 DIP SW8が“ON”の場合に機能します。DIP SW8はDIP SW3～7に割り当てられた3つの機能の有効／無効を切り替えるスイッチです。これら3つの機能はプリンタードライバーからも設定できるため、DIP SW8でどちらの設定を有効にするか指定します。

スイッチ番号	機 能	工場設定
8	プリンタードライバー設定の有効／無効 OFF： 設定を有効とします。 ON： 設定を無効とします。	OFF
9	反射センサによる黒マーク検出方法の切り替え OFF： 通常制御で動作します。 ON： 従来制御で動作します。	OFF
10	インターフェースボード装着時のインターフェースの切り替え OFF： インターフェースボードを有効とします（USBは無効とします）。 ON： プリンター本体のUSBを有効とします（インターフェースボードは無効とします）。	OFF

DIP SW1・SW2 動作モード切り替え

アプリケーションや自作のプログラムから送信される命令に対する動作を切り替えます。

出荷時の設定は「モード1」です。

- ・ モード1：プリンタードライバーを使った印刷、NLPL（NEC Label Printer Language：NECラベルプリンタ言語に準拠したコマンド）で使用するモードに対応
（例：SVF for JavaPrint（SVF for NEC MultiCoder）、Report Director Enterprise（RDE NEC MultiCoder Option））
- ・ モード2：SVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの305dpiで使用するモードに対応
- ・ モード3：SVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの203dpiで使用するモードに対応

DIP SW3・SW4 印刷モード切り替え

印刷モードを切り替えます。

出荷時の設定は「連続印刷」*1です。

連続印刷は印刷を途中で止めることなく連続して印刷します。

カット印刷はカットしながら用紙を送ります。

DIP SW5 印刷方式

印刷方式を切り替えます。

出荷時の設定は「感熱方式」*1です。

感熱方式はリボンを使用しません。リボンを装着していないことを確認してください。

熱転写方式はリボンを使用します。リボンを装着していることを確認してください。装着していない場合はエラーとなります。



MultiCoder 503L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

*1 DIP SW8の工場設定が“OFF（プリンタードライバーの設定が有効）”のため、DIP SW8の設定を“ON”にしない限り、プリンタードライバーの設定に従います。

DIP SW6・SW7 用紙頭出しセンサーの選択

用紙頭出しに使用するセンサーのタイプを選択します。

出荷時の設定は「センサー無視（プリンタードライバーの設定値に従う）」です。

センサー無視はどのセンサーも見ずにプリンタードライバーで設定した用紙長で用紙をフィードします。

反射センサーは用紙裏側に印刷されている黒マークを検出し、黒マークの位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。

透過センサーはラベルギャップ（ラベルとラベルの間の台紙）を判断し、次のラベル位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。

DIP SW8 プリンタードライバー設定の有効／無効

プリンタードライバーの設定を有効にするか無効にするかを切り替えます。

出荷時の設定は「有効」です。

「無効」の場合、印刷モード、印刷方式、用紙頭出しセンサーの選択はDIP SWの設定に従います。

DIP SW9 反射センサによる黒マーク検出方法の切り替え

反射センサによる黒マーク検出の方法を通常制御で動作するか、従来制御で動作するかを切り替えます。

出荷時の設定は「通常制御」です。

「通常制御」の場合は、2段階のしきい値で黒マークを判断します。「従来制御」の場合は、1段階のしきい値で黒マークを判断します。

DIP SW10 インターフェースボード装着時のインターフェースの切り替え

プリントサーバーを装着時、プリンター本体側のUSBを有効にするか、プリントサーバーを有効にするかを切り替えます。プリントサーバーを装着しているが、USB接続で使いたい場合に切り替えます。

出荷時の設定は「インターフェースボードが有効」です。

プリントサーバーが装着されていない場合は、本設定を無視してUSBインターフェースを使用して動作します。

リモートパネル

ソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」ユーティリティは次の5つのプロパティシートでプリンター本体のスイッチでは設定できない機能に対する変更を行います。詳しくは、ソフトウェアマニュアルの「リモートパネル」の章を参照してください。下表にリモートパネルで設定できる項目を一覧で示します。



項目名	説 明	既定値
[パラメータ設定1]		
電源ON時の断線エラー表示	電源ON時に自動で断線チェックをするかどうかを設定します。	あり
電源ON・カバー閉用紙確認	電源ON時、またはカバークローズ動作時に用紙の有無を確認するかどうかを切り替えます。	あり
エラー発生時ブザー音	エラーが発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。	ON（鳴らす）
カバークローズ後位置制御	用紙の停止位置を制御する方法を切り替えます。	保持
カッターオプション制御方法	カッター制御方法を切り替えます。	フルカット
自動用紙先端位置合わせ	自動用紙位置合わせをするかどうかを切り替えます。	有効
薄紙印刷モード	カット位置からの戻し動作を行うかどうかを切り替えます。	無効
印刷方向	印刷の向きを切り替えます。	コマンド優先
ミラー印刷	ミラー印刷をするかどうかを切り替えます。	コマンド優先
バックフィード速度	用紙をプリンター内へ戻す（後ろに送る）バックフィードの速度（ips：インチ/秒）を切り替えます。	4ips
[パラメータ設定2]		
黒マーク検出時の頭出し制御	黒マークを検出する制御を切り替えます。	黒マーク上端
ゼロスラッシュ	半角の“0（ゼロ）”（JISコード0x30）に対して、スラッシュを付けて印刷するかどうかを切り替えます。	なし
プリンタ起動時の状態	電源投入時、本プリンターをオンライン状態で起動させるかオフライン状態で起動させるかを切り替えます。	オンライン
[FEED] スイッチによる印刷	オンライン状態で、[FEED] スイッチを押したときにフィード動作のみを行うか、再印刷を行うかを切り替えます。	（再印刷）を行わない
自動カット位置送り機能	自動カット位置送り機能の有効／無効を切り替えます。	有効*1
自動カット位置戻し時間	自動カット位置から元の位置に戻す時間の長さを切り替えます。	無制限
ステータス自動送信	ステータスの自動送信を行うかどうかを切り替えます。	無効*2

項目名	説 明	既定値
【微調整設定】		
印刷濃度微調整（感熱）	感熱印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	0
印刷濃度微調整（熱転写）	リボンを使った熱転写印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	0
フィード量微調整値	プリンターのスイッチまたはソフトウェアのコマンドによってラベル1枚分を送った（フィード）後の印刷開始位置を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
カット（ハクリ）位置微調整値 *3	カット位置を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
自動カット位置送り微調整値	手動でカットをする場合に印刷済みの用紙を排出する位置を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
戻し位置微調整値	カット、自動カット位置送り、または自動正転待機動作後、印刷開始位置（ホームポジション）まで用紙を戻す位置を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
自動正転待機位置微調整値	自動正転待機の際の停止位置の微調整をします。	方向：後方 微調整値：0.0
X位置微調整値	横方向位置の微調整をします。	方向：右側 微調整値：0.0
【IPアドレス設定】		
DHCP/BOOTP機能設定	DHCP/BOOTP機能の無効／有効を設定します。	DHCP/BOOTP機能 無効
RARP機能設定	RARP機能の無効／有効を設定します。	RARP機能無効
IPアドレス	プリンターのIPアドレスを設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	プリンターのサブネットマスクを設定します。	0.0.0.0
ゲートウェイ	プリンターのゲートウェイアドレスを設定します。	0.0.0.0
ソケット通信ポート設定	使用する通信ポート番号を設定します。	12000
【DIPSW状態表示】		
プリンター本体のスイッチ（DIP SW）の設定状態を表示します*4。設定の変更はできません。変更したい場合は、プリンター本体のスイッチを操作してください。		

* 1 「連続印刷」を指定しているときのみ機能します。

* 2 LAN インターフェース接続時に有効な機能です。

* 3 ハクリ機能はありません。カット位置のみ有効です。

* 4 双方向通信ができない接続状態の場合は、プリンターの現在の設定状態を表示できません。

3章

オプション

本プリンター用として提供される別売品（オプション）により、本プリンターの機能を拡張させることができます。

オプションを装着できる装置と標準でオプションが装着済みの装置があります。各モデルについては[4ページ](#)を参照してください。

また、オプション一覧は[13ページ](#)を参照してください。

オプションの取り付け、取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までご連絡ください。有償で対応します。



プリントサーバーの取り付け/取り外しはソフトウェアCD-ROMに収められているプリントサーバーオンラインマニュアルの1章「取り付けと接続」を参照してください。

糊カッターモジュール

(型番 PR-T503L-11)

カッターの切れ具合が悪くなった場合は糊カッターモジュールが寿命に達した事を示します(糊カッターモジュールは有償交換部品です)。

リストバンドは糊カッターモジュールでカットできません。カッター対応モデルやオプションの糊カッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部に入り込んだり、糊カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。



警告

電源コードを抜くときはぬれた手で電源プラグを持たないでください。感電のおそれがあります。



注意

- ・ 取り付け前にプリンターの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ プリンターの動作中に子供が近づかないよう注意してください。誤って手を入れるおそれがあります。
- ・ 糊カッターモジュールには鋭い刃が組み込まれています。取り付けの際、カッターに直接触れないでください。手を切るなどのけがのおそれがあります。
- ・ カバーで指や手を挟まないよう注意して作業してください。
- ・ 印刷直後はサーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷をするおそれがあります。
- ・ トップカバーは静かに開いてください。勢いをつけて開くと、プリンターが転倒してけがや周囲のものを破損するおそれがあります。
- ・ 長時間印刷した後は、カッターユニットが高温になっています。カッターユニットなどプリンター内部には手を触れないでください。

付属品

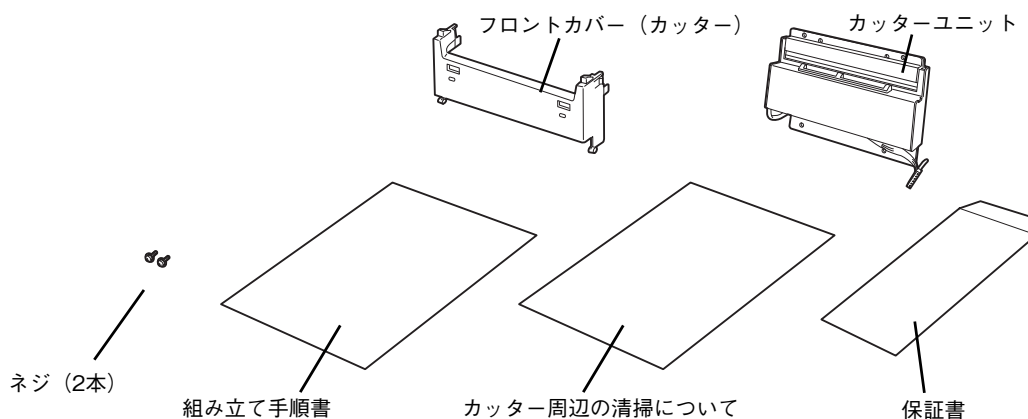
糊カッターモジュールの梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までご連絡ください。

ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。フルカット方式を採用しているこのカッターモジュールを取り付けることで、プリンターは連続用紙から印刷済みのラベルを自動的にカットします。また、カットせずに連続印刷としてもご利用いただけます。パーシャルカットはできません。

<仕様>

切断方式： スライド式／フルカット
切断用紙幅： 28～110mm
用紙厚： 0.08～0.20mm

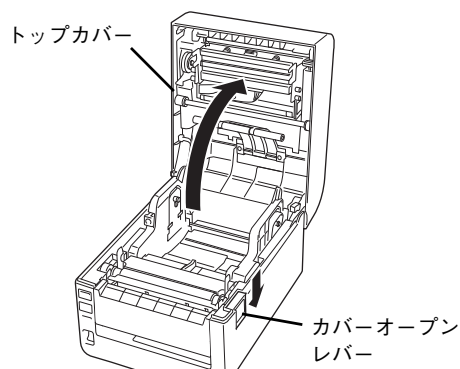
用紙種類： ラベル白紙
寿命： 約13万カット（使用環境や使用状況により、多少異なる場合があります。）



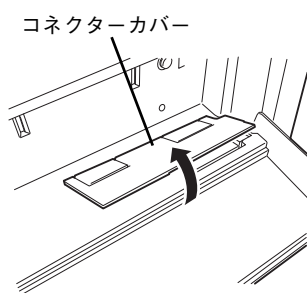
取り付け／取り外し手順

取り付け／取り外しの手順は次のとおりです。

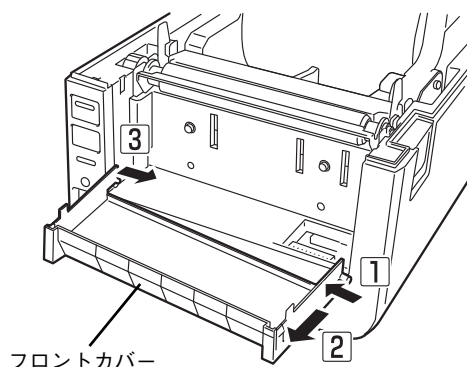
- 1 プラスドライバーを用意します。
- 2 プリンターの電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



- 4 本体前面のフロントカバーを開きます。
- 5 コネクターカバーを取り外します。



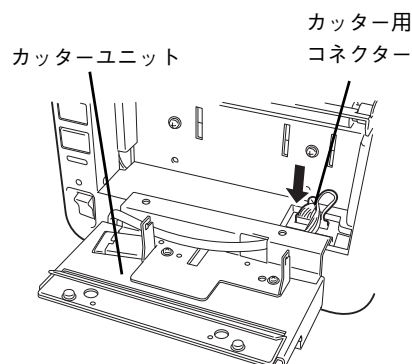
- 6 右側のフロントカバーの根元を内側に押して手前に引き出し、左側の突起部を右にずらして取り外します。



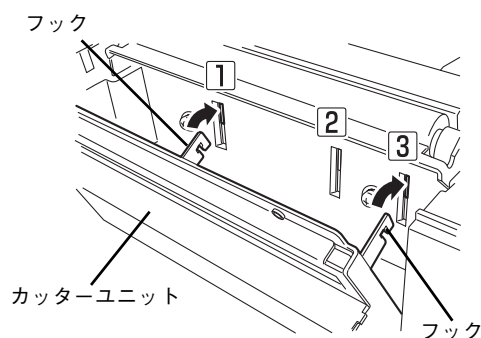
- 7 カッターユニットのケーブルをプリンターのカッター用コネクターに接続します。



コネクターを逆向きに差さないでください。

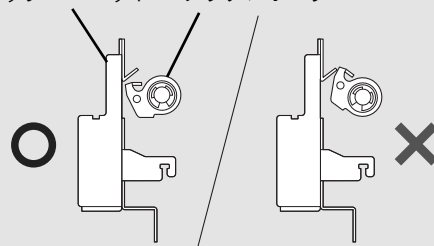


- 8 フックをプリンターの①・③のフック穴に差し込みます。

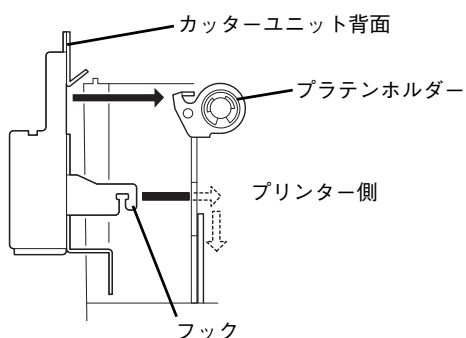


カッターユニットを取り付ける際は、プラテンホルダーが下がっていることを確認してください。プラテンホルダーが上がったままカッターユニットを取り付けると、トップカバーを正常に閉じることができません。

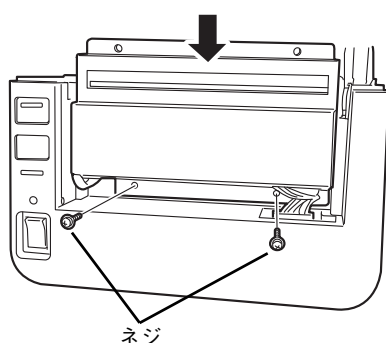
カッターユニット プラテンホルダー



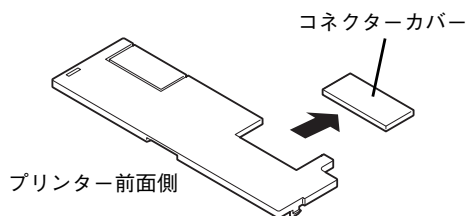
- 9** カッターユニット背面がブラテンホルダーに突き当たるまでフックを水平に差してから垂直に下げて取り付けます。



- 10** カッターユニットを上から押さえ、ネジ 2 本をカッターユニット両端の穴に取り付けてカッターユニットを固定します。



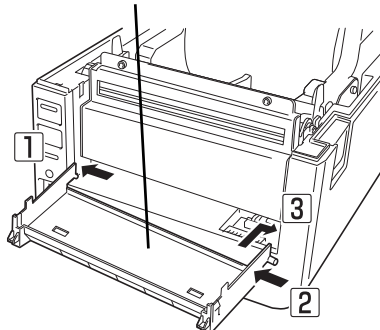
- 11** コネクターカバーのカッターユニット用の溝を手ではぎ取り、ケーブル用穴を作ります。



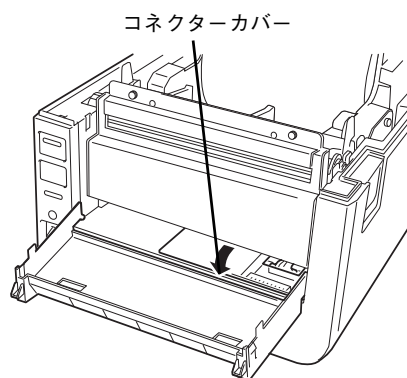
- 12** フロントカバー（カッター）を取り付けます。

左側突起部をプリンターの穴に差し、右側の根元を内側に押しながら右側の突起部を差し込みます。

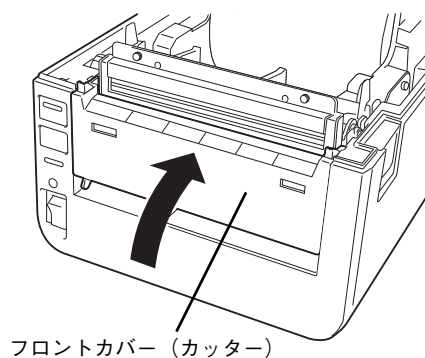
フロントカバー（カッター）



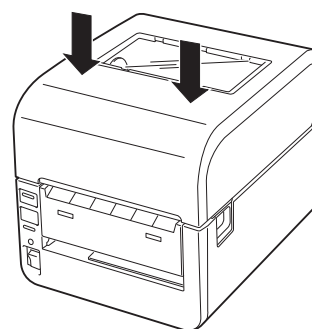
- 13** コネクターカバーを取り付けます。



- 14** フロントカバー（カッター）を閉じます。



- 15** トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で取り付けは完了です。

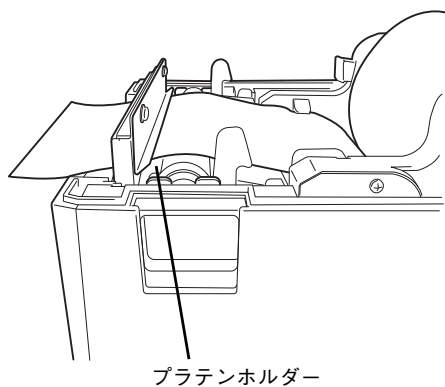
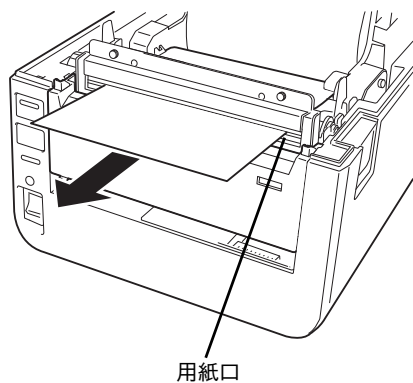
取り外しは逆の手順で外してください。

用紙のセット

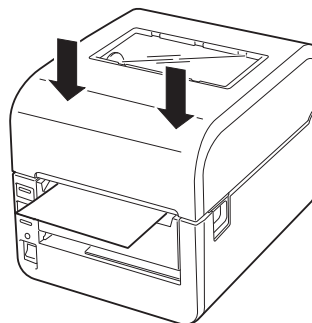
用紙をカッターモジュールに通します。
オプションのスタッカーを装着している場合は、取り外してからセットしてください。

コンピューターからカット印刷を実行する場合の手順については、ソフトウェアマニュアル 1 章の「印刷の指示」の「カット印刷」を参照してください。

- 1 プリンターの電源スイッチを押して電源を ON にします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。
- 3 用紙をプラテンホルダーとカッターユニットの用紙口の間に通し、引き出します。



- 4 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



ペーパーテーブル (L)

(型番 PR-T500L-04)

ペーパーテーブル (L) はファンフォールド紙（折りたたまれた状態の用紙）をスムーズに送るための専用オプションです。各種ケーブルが紙送りのじゃまになる場合にもご利用ください。
ロール紙を使用する場合も取り付けて利用することができます。



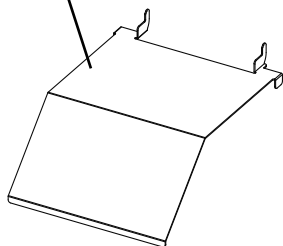
注意

ペーパーテーブル (L) で手を切らないよう取り扱いには十分に注意してください。

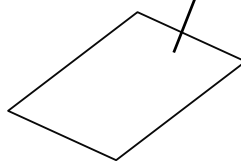
付属品

ペーパーテーブル (L) の梱包箱の中には次の部品が入っています。すべてがそろっていること、また破損などがないことを確認してください。万一、不足している場合や破損がある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までご連絡ください。

ペーパーテーブル (L)

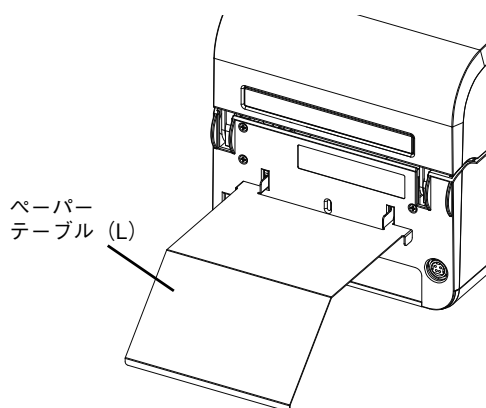


組み立て手順書

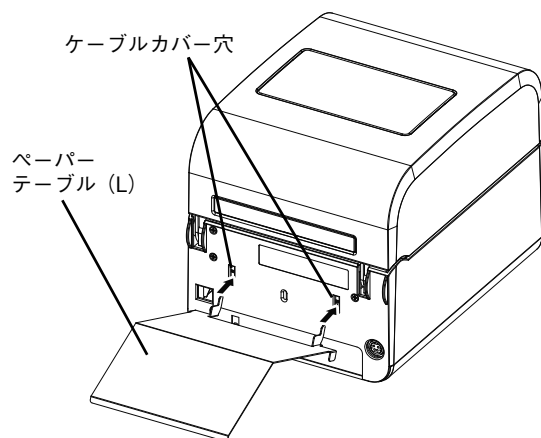


取り付け／取り外し手順

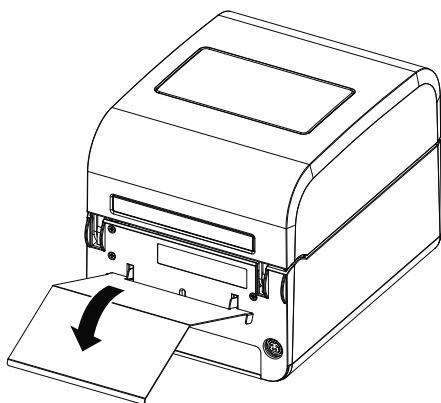
ペーパーテーブル (L) はプリンターの背面に差し込んで使用します。詳細な手順は次ページのとおりです。



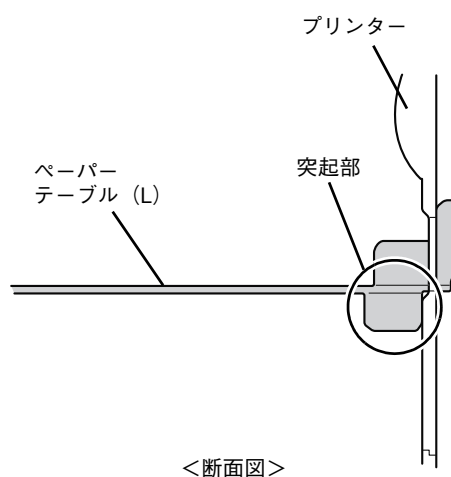
- 1 電源コードやインターフェースケーブルの接続が完了していることを確認します。
- 2 プリンター背面のケーブルカバー穴（2か所）にペーパーテーブル（L）の突起部を斜めから差し込みます。



- 3 下側へ回転させるように向きを変えます。



- 4 ペーパーテーブル（L）の突起部（左右各1か所）がプリンターに突き当たるようにして安定させます。



以上で組み立ては完了です。取り外しは取り付けの逆の手順を行ってください。

スタッカー（可変長）

（型番 PR-T503L-05）

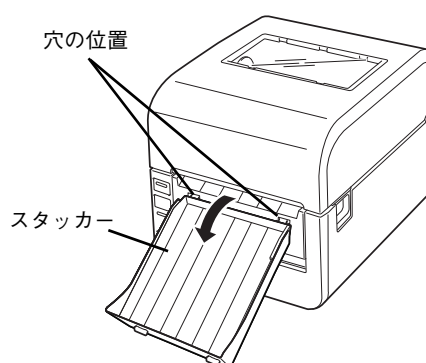
スタッカー（可変長）はカッターモジュールにてカットした用紙をスタックする（積み重ねる）ためのオプションです。連続して用紙をカットする際にご利用ください。

付属品

スタッカー（可変長）の梱包箱には本体のみ入っています。破損などがないことを確認してください。

取り付け／取り外し手順

フロントカバー（カッター用）の穴にスタッカーを突き当て、手前に回転させて取り付けます。取り外す場合は逆の手順にて取り外します。



4章

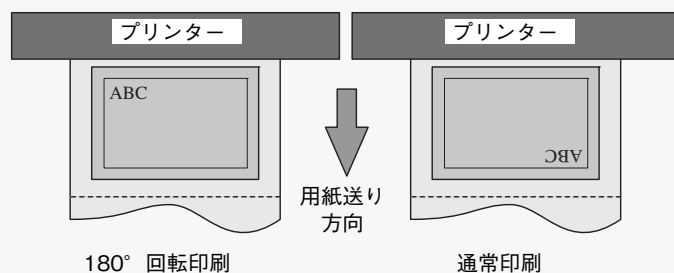
用紙規格と印刷範囲

この章では、本プリンターが使用できる用紙と印刷方式別に本プリンターが保証する印刷範囲、用紙長の微調整の方法などについて説明します。用紙規格と印刷範囲に対する印刷品質の保証範囲を72ページに記載しています。
リストバンドについては、リストバンドのマニュアルを参照してください。

また、プリンタードライバーの用紙サイズについてはソフトウェアマニュアル 1章の「ユーザー定義用紙サイズの登録」を参照してください。

用紙の排出方向と印刷イメージ（向き）

66ページ以降の図中の「原点」は、印刷方向によって異なります。また、用紙の種類に関わらず、すべてのラベルとタグに適用されます。



180° 回転印刷：プリンター前面から見て正しく読める向きでの印刷。
通常印刷：印刷データの先頭から印刷し、プリンター前面から見て印刷結果がさかさまになる印刷。

自動用紙先頭位置合わせ機能

トップカバーを開けて用紙交換後、コンピューターから印刷すると、設定したセンサー〔透過センサーまたは反射センサー〕を使用してプリンターは自動で用紙先頭位置を合わせてから印刷を行います。用紙交換後、FEEDスイッチを押して用紙先頭位置を合わせる必要がありません。用紙先頭位置が合っているかどうかを意識せずに印刷を行うことができます。

✓チェック

- ・ プリンターの電源をOFFにしてから、トップカバーを開けて用紙交換をしたときは、FEEDスイッチで用紙を送って先頭位置を合わせてください。
- ・ 「リモートパネル」で機能の有効／無効を切り替えることができます。
- ・ プリンタードライバーやDIP SWで用紙頭出しセンサーを「センサー無視」に設定しているときは、本機能は無効になります。

使用できる用紙

本プリンターで使用できる用紙は下表に示すラベル紙とタグ紙の2種類です。各種材質、サイズ、加工仕様、印刷仕様に対応しています。詳細はMultiCoderのホームページ（<http://ipn.nec.com/printer/label>）を参照するか、お買い上げの販売店にご相談ください。

印刷方式	品 名	説 明
感熱	一般感熱紙	安価な感熱紙で、ラベルとタグを用意しています。
	耐保存感熱紙	保存性に優れたラベルです。
	合成紙	合成樹脂を主原料としたパルプを使用しないラベルです。
熱転写	コート紙	安価な熱転写用のラベルです。
	タグ紙	安価な熱転写用のタグです。
	合成紙	合成樹脂を主原料としたパルプを使用しないラベルです。
	白PET	PETフィルムのラベルです。
	銀PET	

🔑重要

- ・ 本プリンターはNECが指定する用紙を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の用紙を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙はNEC指定品のご使用をお勧めします。
- ・ 黒ベタおよび黒の面積が大きいパターンの連続印刷を行うと、スループットが遅くなったり、印刷品位が損なわれたり、リボンが切れたりする場合がありますので行わないでください。
- ・ サーマルヘッドの高温エラー「H」が起きた後、サーマルヘッドの温度が印刷できる温度まで下がると、印刷は自動的に再開されますが、印刷を再開した印字位置から約20mmの部分の印刷品位が損なわれることがあります。

リボン一覧

お客様の仕様に合わせた対応もできます。お買い上げの販売店にご相談ください。

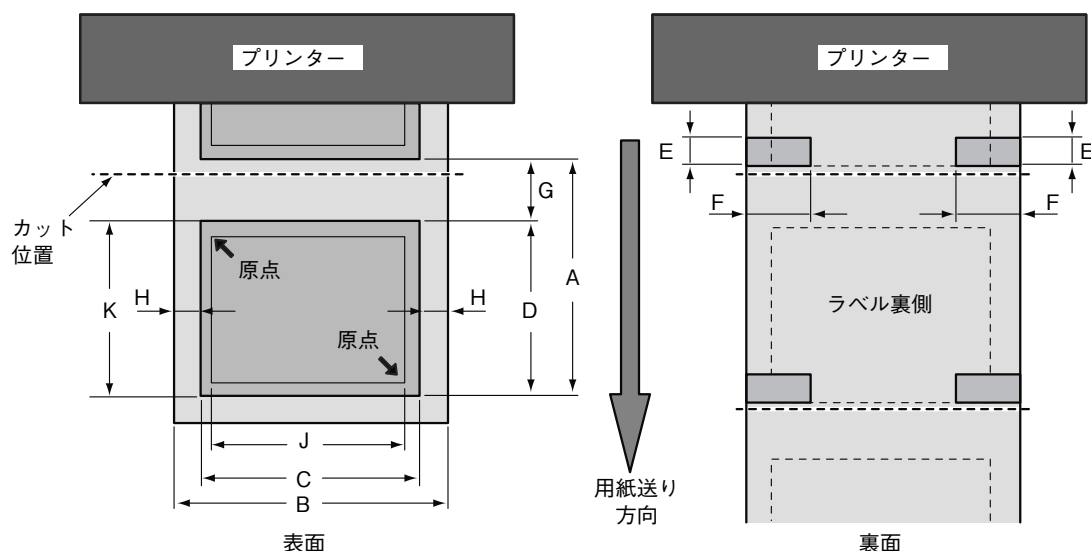
品 名	型 番	仕 様	説 明
ワックスリボン40	PR-T500L-111S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性は低いが、高感度でコストが安いリボン。
ワックスリボン60	PR-T500L-112S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスリボン90	PR-T500L-113S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスリボン112	PR-T500L-114S	幅：112mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン40	PR-T500L-411S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 ワックスより耐性が高く、印刷品位の高いリボン。
ワックスレジンリボン60	PR-T500L-412S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン90	PR-T500L-413S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン112	PR-T500L-414S	幅：112mm×長さ：100m	
レジンリボン40	PR-T500L-711S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性、印刷品位に優れたリボン。
レジンリボン60	PR-T500L-712S	幅：60mm×長さ：100m	
レジンリボン90	PR-T500L-713S	幅：90mm×長さ：100m	
レジンリボン112	PR-T500L-714S	幅：112mm×長さ：100m	

リボン幅と用紙幅の適合表

リボン幅と用紙幅の差が大きい場合、リボンじわが発生するおそれがあります。
次の表を参考に用紙幅に合ったリボンを使用してください。

リボン幅	対応可能な用紙幅 (台紙含む)
40mm	25～35mm
60mm	35～55mm
90mm	55～85mm
112mm	85～118mm

連続印刷（自動カット位置送り対応）ラベル紙



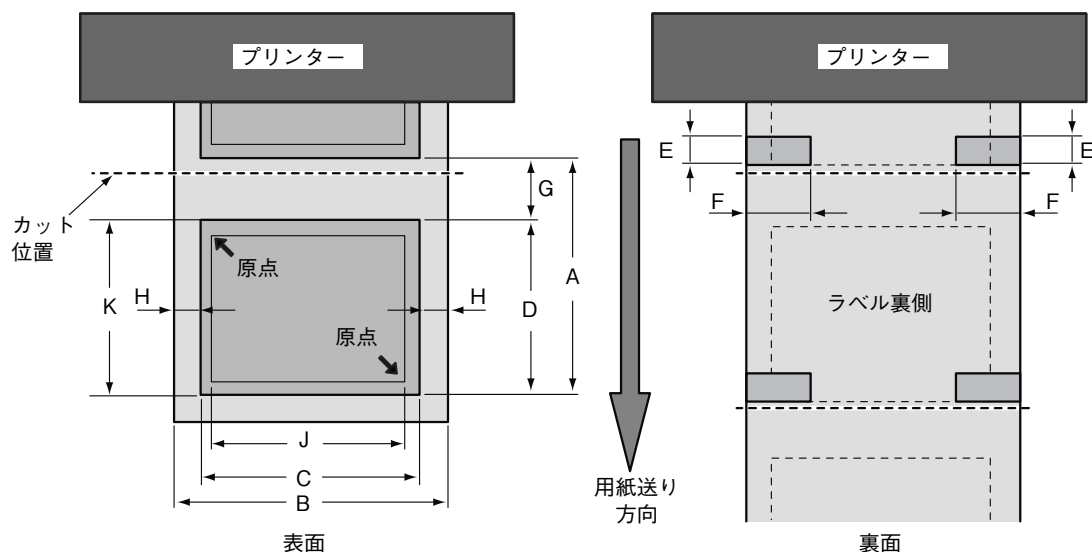
符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	30～457mm
B* ¹	ラベル台紙幅	28～118mm
C* ¹	ラベル上紙幅	25～115mm
D	ラベル長	27～454mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	3～10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm* ²
J* ¹	最大印刷幅	105.7mm
—	用紙厚さ	80* ³ ～200 μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

*¹ 横方向は用紙の中央を基準とします。

*² 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。また角に丸み（R：アール）が付いている場合は、透過センサーでは正しく検出されない場合があります。

*³ 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

連続印刷（自動カット位置送り非対応）ラベル紙



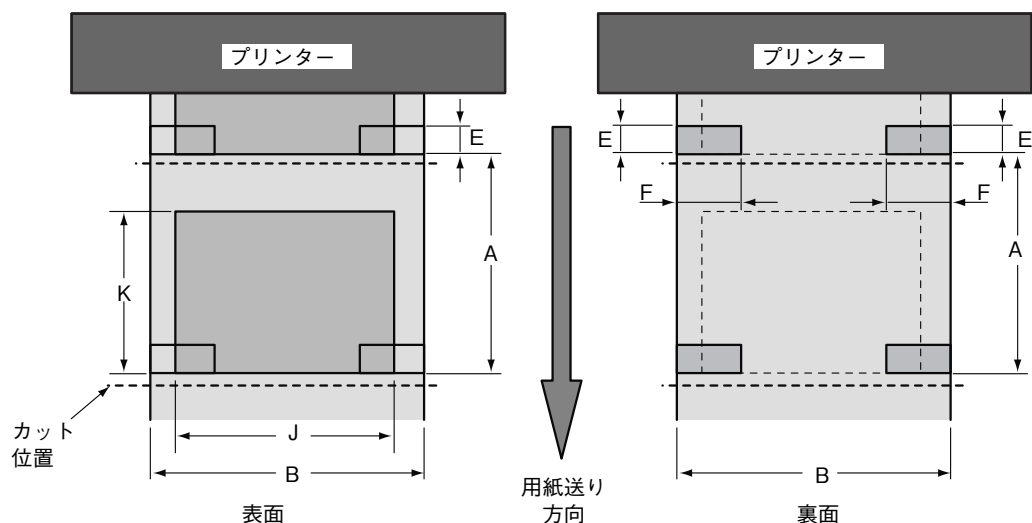
符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	5～457mm
B* ¹	ラベル台紙幅	28～118mm
C* ¹	ラベル上紙幅	25～115mm
D	ラベル長	3～455mm
E	黒マーク長	2～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	2～10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm* ²
J* ¹	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	3～455mm
—	用紙厚さ	80* ³ ～200μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

*¹ 横方向は用紙の中央を基準とします。

*² 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。また角に丸み（R：アール）が付いている場合は、透過センサーでは正しく検出されない場合があります。

*³ 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

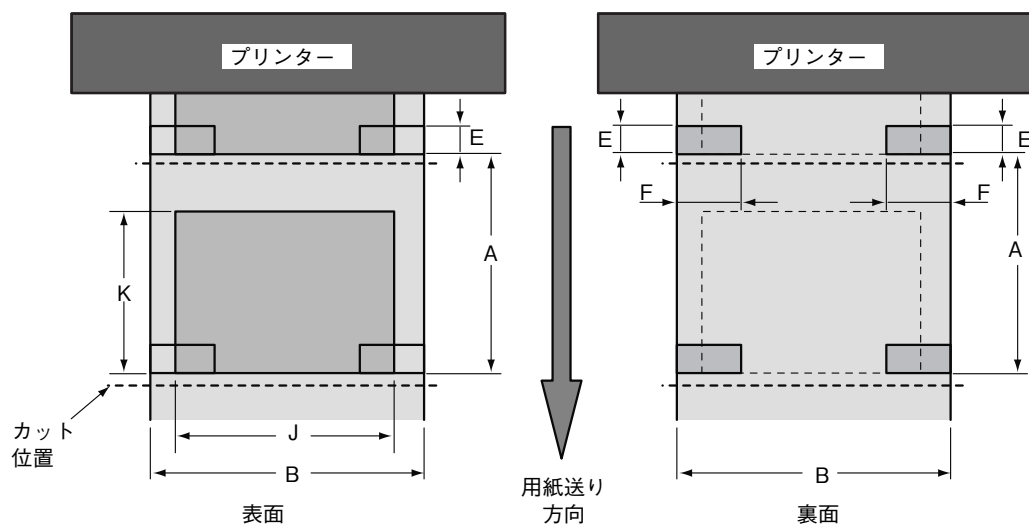
連続印刷（自動カット位置送り対応） タグ紙



符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	30～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	27～454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ～200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

*1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。また、印刷方式は「自動カット送り非対応」を推奨します。

連続印刷（自動カット位置送り非対応）タグ紙



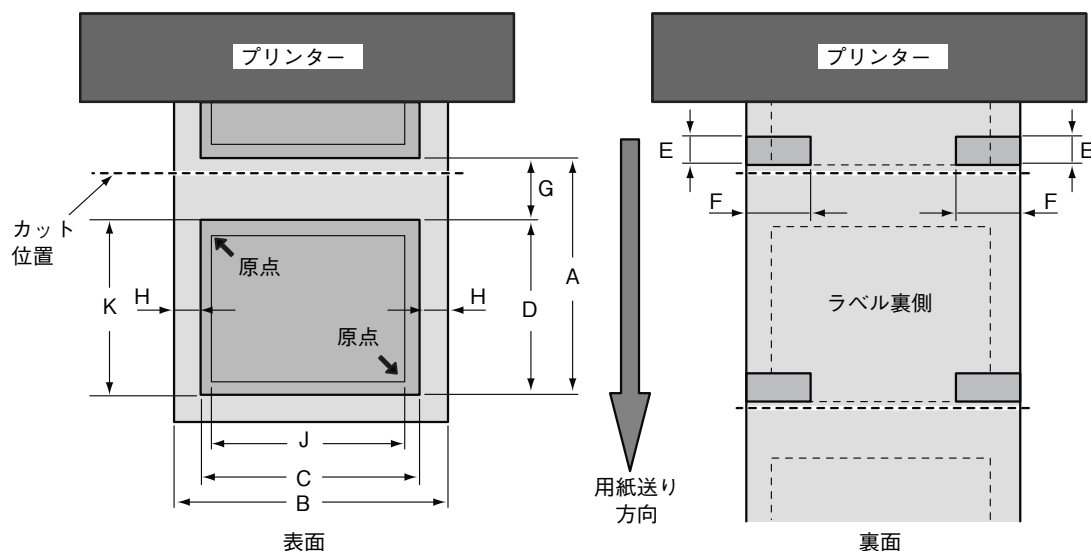
符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	5~457mm
B	タグ幅	25~118mm
E	黒マーク長	3~10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	3~455mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ~200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

*1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット）ラベル紙



「フルカット」についての詳しい説明はソフトウェアマニュアル 1 章の「印刷の指示」の「カット印刷」をご覧ください。



符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	23～457mm
B* ¹	ラベル台紙幅	28～110mm
C* ¹	ラベル上紙幅	25～107mm
D	ラベル長	20～454mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
G	ギャップ長	3～10mm
H	ラベル端ギャップ	1.5mm* ²
J* ¹	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20～454mm
—	用紙厚さ	80* ³ ～200 μm
—	最大ロール径	φ110mm
—	ラベル巻	外巻き
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径φ40±0.3mm

*¹ 横方向は用紙の中央を基準とします。

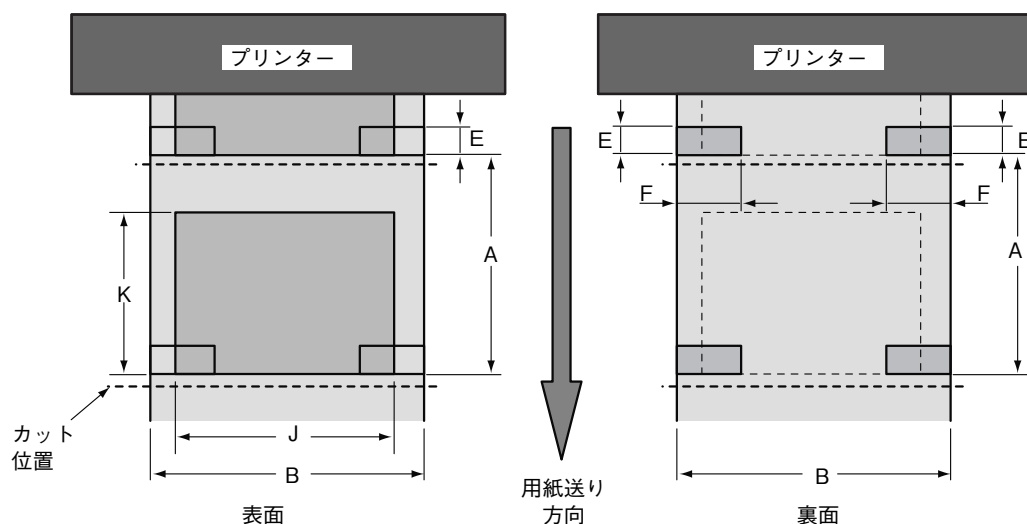
*² 用紙検出にて透過センサーを使用する場合です。また角に丸み（R：アール）が付いている場合は、透過センサーでは正しく検出されない場合があります。

*³ 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

カット印刷（フルカット） タグ紙



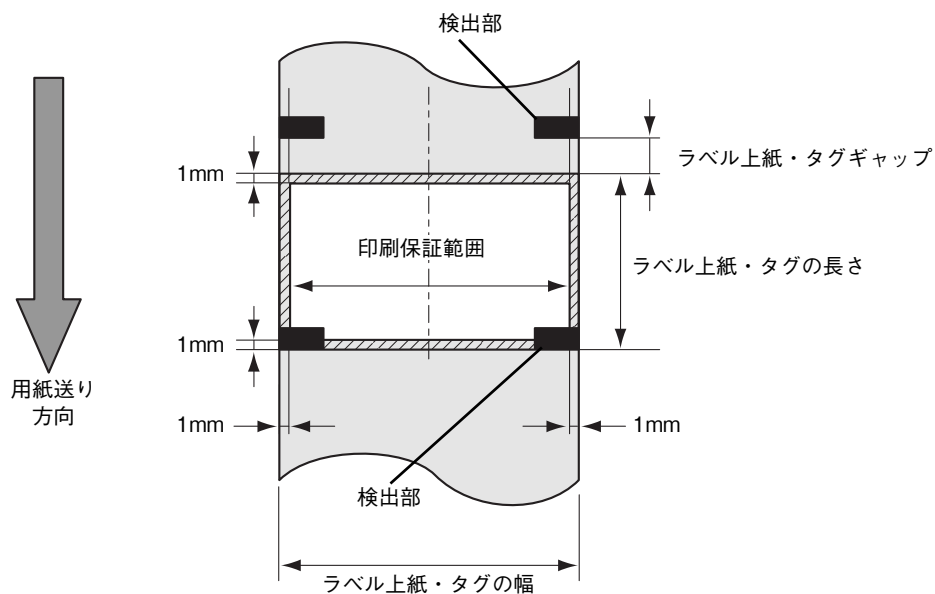
「フルカット」についての詳しい説明はソフトウェアマニュアル 1 章の「印刷の指示」の「カット印刷」をご覧ください。



符 号	項 目	仕 様
A	用紙ピッチ	23～457mm
B	タグ幅	25～118mm
E	黒マーク長	3～10mm
F	黒マーク幅	15mm以上
J	最大印刷幅	105.7mm
K	有効印刷長	20～454mm
—	用紙厚さ	80 ^{*1} ～200 μ m
—	最大ロール径	ϕ 110mm
—	ラベル巻	外巻き
—	ファンフォールド紙対応最大折りたたみ高さ	100mm
—	芯管	内径 ϕ 40 $\pm$ 0.3mm

*1 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。

タグ・ラベルの印刷保証範囲



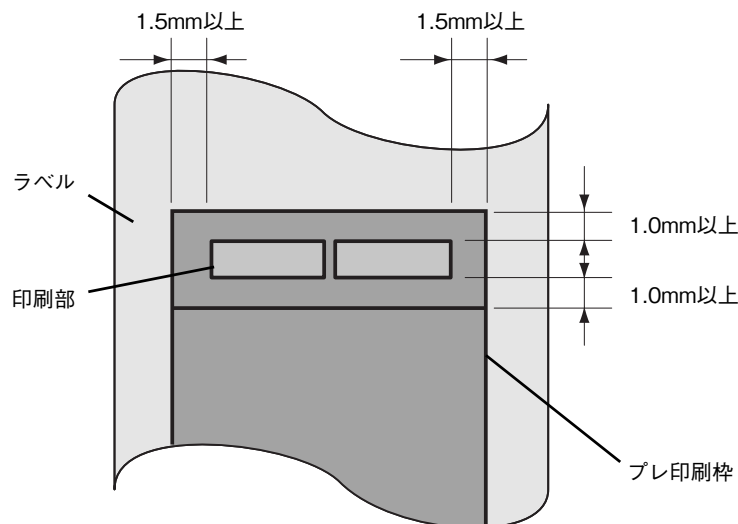
上図において、斜線部での印刷品質は保証できません。

この部分に印刷をすると、リボンじわが起これ印刷保証領域での印刷品質も損なわれるおそれがあります。

プレ印刷用紙に関する注意

プレ印刷用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- プレ印刷に使用するインクには炭酸カルシウムやカオリンなどの硬度の高い原料が含まれていないインクを使用してください。ヘッド寿命を縮めるおそれがあります。
- プレ印刷は印刷位置のばらつきを考慮して印刷を行う部分より1.5mm以上離れた部分に行ってください。
- なおラベル紙のラベル長が3mm未満の場合やタグ紙の有効印刷長が5mm未満の場合は印刷できない場合があります。



- プレ印刷の種類によってはラベル位置が正しく補正されず、紙送りが正しく行われなかったことがあります。このような場合は1章の「センサーしきい値を調整する」(40ページ)を参照してしきい値の設定を行ってください。
- プレ印刷の内容は、しきい値が設定できるようにラベルのギャップ（透過センサーの場合）または黒マーク（反射センサーの場合）がはっきりと認識できるように薄い色にすることをお勧めします。
- プレ印刷を行ってインクが塗布されたエリアではプリンターによる印刷が正しく行われず、印刷品質が損なわれることがあります。

印刷濃度推奨設定

印刷濃度はプリンタードライバー（ソフトウェアマニュアルの「プリンタードライバー」を参照）で設定することができます。また、プリンター本体の基本設定をリモートパネル（ソフトウェアマニュアルの「リモートパネル」）によって変更することができます。

印刷が薄い場合は、印刷濃度のトーンを上げるか、または印刷速度を遅くしてご使用ください。

ここでは印刷方式と印刷する際に使用する用紙類やリボンの組み合わせから適正となるプリンターの設定値を参考に記載します。

<感熱印刷>

用紙	推奨設定値
一般感熱紙（タグ）	0
一般感熱紙（ラベル）	4
耐保存感熱紙	4
合成紙	4

<熱転写印刷>

用紙類 リボン	コート紙	タグ紙	合成紙	白PET	銀PET	リストバンド
ワックスリボン	0	2	—	—	—	—
ワックスレジンリボン	3	5	—1	0	0	—
レジンリボン	—	—	4	5	5	—
リストバンドリボン	—	—	—	—	—	7

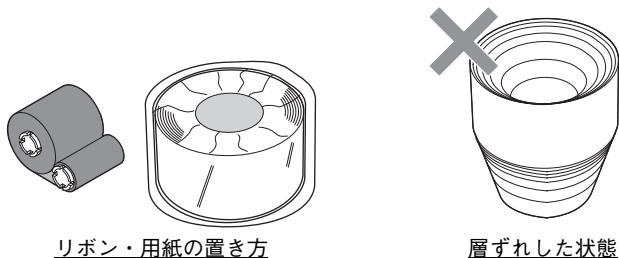
- ・ 上記推奨設定は目安であり、用紙の表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- ・ 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合には-方向に微調整を行ってください。
- ・ 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。

✓ チェック

- ・ 印刷濃度の工場出荷設定は「0」になっています。印刷確認の際は上記推奨値への変更をお試しください（工場出荷設定のままでは、印刷品位を満足しない可能性があります）。
- ・ リボンから用紙に転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあるため、ご注意ください。

用紙・リボンの保管上の注意

- ・ 印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「使用できる用紙」（64 ページ）または67ページ以降で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。
- ・ 用紙を持つときは層ずれを起こさないよう注意してください。
- ・ 残った用紙は包装袋に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように平らな場所に置いてください。
- ・ 使用したリボンをプリンターから取り外して保管する場合は袋や箱に入れ固定し、巻きが乱れないようにしてください。
- ・ 用紙やリボンは高温、多湿を嫌います。涼しい場所に保管してください。また直射日光が当たるような場所は避けて保管してください。
- ・ 用紙やリボンにほこりや紙粉が付着しないように気を付けてください。
- ・ 用紙やリボンは下図の向きにして置いてください。正しい向きにして置いていないと、巻きが乱れて用紙やリボンがずれる場合があります。



リボン・用紙の置き方

層ずれした状態

- ・ 用紙やリボンには使用期限が設定されたものがあります。使用期限内に使い終わるようにお願いいたします。

メ モ

5章

日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品と消耗部品の交換、およびプリンターの清掃について説明します。清掃はプリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

清掃

いつもきれいな印刷が得られるように、定期的（用紙またはリボン交換ごと）に本プリンターの清掃を行ってください。

特にサーマルヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。サーマルヘッドの清掃が不十分な場合にはサーマルヘッドの寿命が短くなるおそれがあります。



警告

水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないでください。内部に水が入ると、火災・感電のおそれがあります。

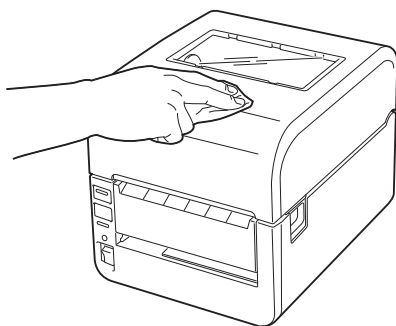


注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類で拭かないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

カバーを清掃する

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。
特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



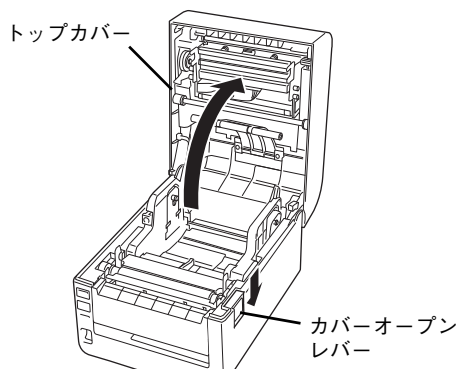
重要

シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。また、プラスチック部品の破損の原因となります。

サーマルヘッド／リボンローラー／プラテンを清掃する

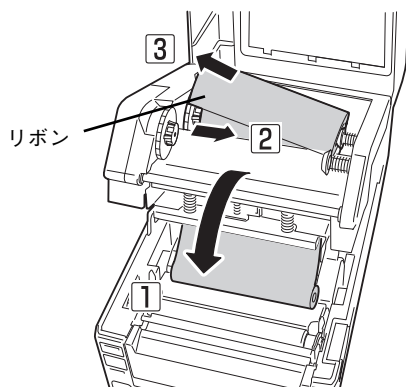
1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

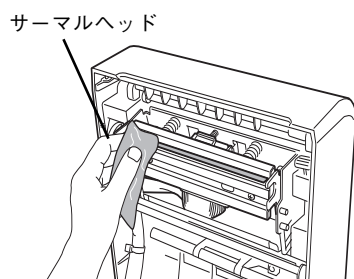


3 用紙がセットされているときは用紙を取り除きます。

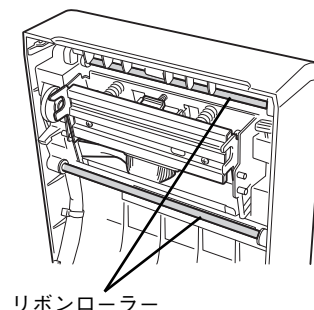
4 <MultiCoder 503L3Tタイプのみ>
リボンがセットされているときは、リボンを取り外します。



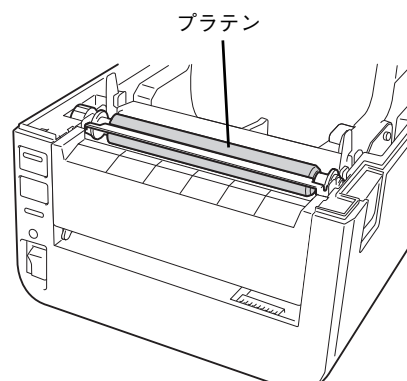
5 サーマルヘッドの発熱部（網掛け部分）の汚れは、アルコール系溶剤を使用して拭き取ります。その後、静電気の起きない乾いた布などで乾拭きをしてください。



6 <MultiCoder 503L3Tタイプのみ>
リボンローラーに付着しているリボンの汚れを柔らかい布で拭き取ります。



7 プラテンの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。



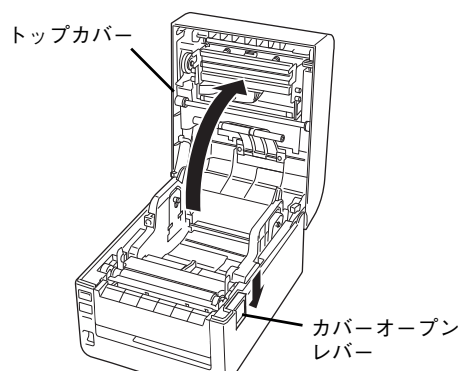
重要

- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損することがあります。

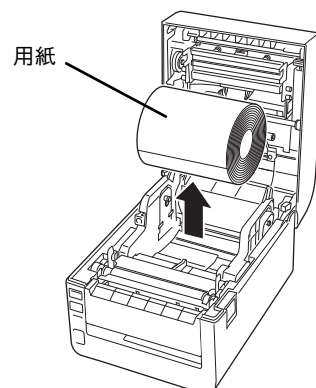
用紙収納部を清掃する

1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

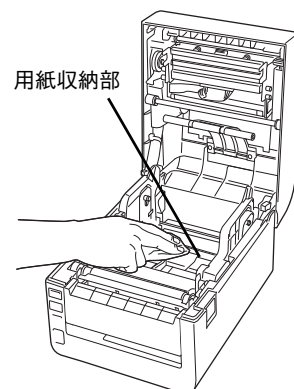
2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



3 用紙を取り出します。



4 用紙収納部の紙粉やホコリは、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



消耗品の交換

リボンや用紙など使用する回数が多い用品の交換手順についての説明は1章の「リボンを取り付ける」(27ページ)や1章の「用紙をセットする」(30ページ)を参照してください。

消耗部品の交換

消耗部品の交換手順について説明します。

サーマルヘッドブロックを交換する

品名	型番
サーマルヘッドブロック	PR-T500L3-TH01

プリンター操作部の7セグLED “■” が表示された場合は、プリンターのサーマルヘッドに異常が起きたか、寿命になったことを示します（サーマルヘッドは消耗部品です）。

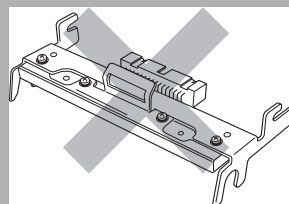
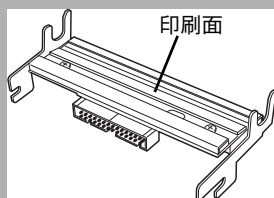
お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口で連絡して新しいサーマルヘッドブロックを購入してください。

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

🔑 重要

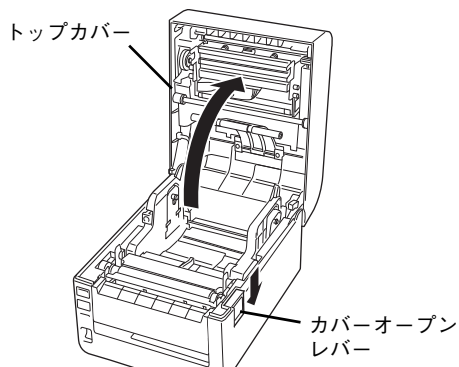
- サーマルヘッドは静電気によって故障するおそれがあります。故障を未然に防止するため、サーマルヘッドに触れる前に身近な金属（アルミサッシやドアのノブなど）に手を触れて静電気を取り除いてから扱ってください。
- サーマルヘッドの印刷面に硬いものを当てないでください。傷ついて印刷ができなくなったり破損したりします。
- 新旧のサーマルヘッドを机の上などに置くときは、印刷面を上に向けて置いてください。印刷面を下に向けておくと、印刷品質の低下の原因となったり、印刷ができなくなったりすることがあります。



次の手順で交換します。

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

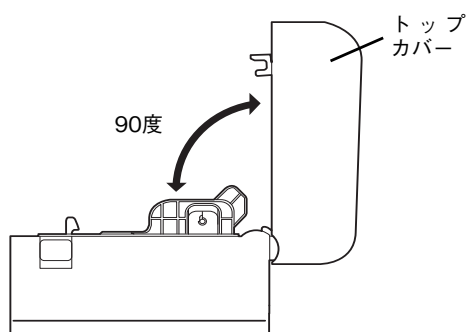


重要

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- 3 リボンがセットされている場合は、いったん取り外します。

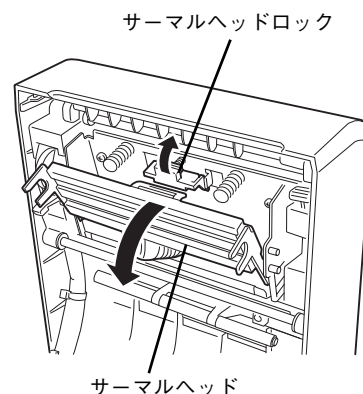
- 4 トップカバーとリボンフレームユニットの角度が 90 度になっている状態で取り外します。



重要

手前に傾けた場合、サーマルヘッドが自然に落下しますのでご注意ください。

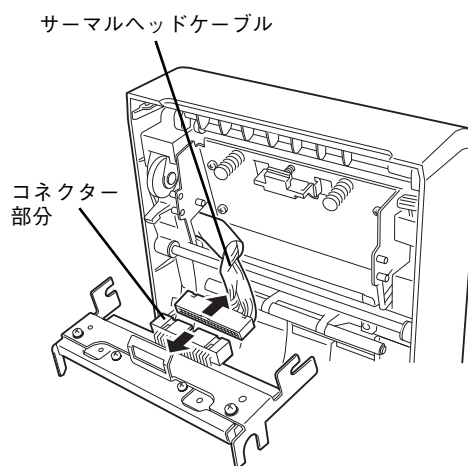
- 5 サーマルヘッドロックを奥側に押してサーマルヘッドを外します。



- 6 サーマルヘッドを持ちながらサーマルヘッドケーブルを抜きます。

重要

- サーマルヘッドを持つときは、凹凸の部分があるため、注意しながら取り扱ってください。
- ケーブルを持たずにサーマルヘッドを引っ張りながら外そうとすると、ケーブルが断線してしまいます。コネクター部分を持ってケーブルを外してください。



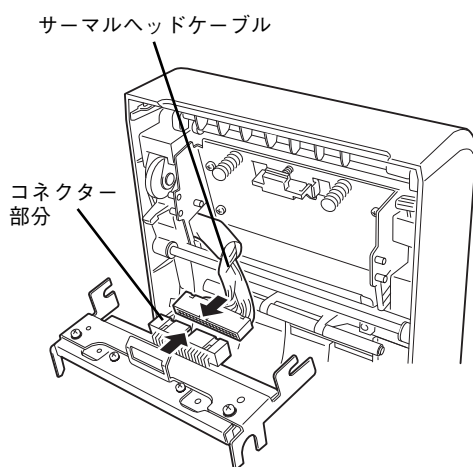
- 7 新しいサーマルヘッドを持ち、サーマルヘッドケーブルを根元まで確実に差し込みます。

⚠ 注意

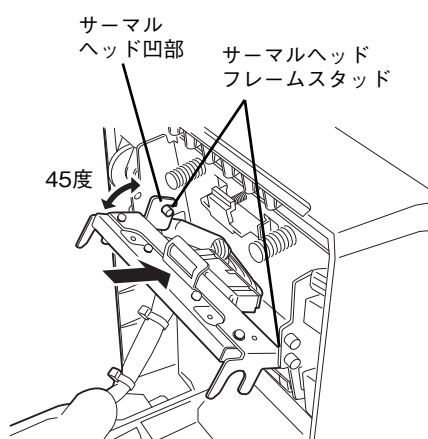
サーマルヘッドにケーブルを確実に差し込んでください。ケーブルを逆向きに差したり、中途半端に接続したままプリンターの電源をONにすると、サーマルヘッドの破損の原因となったり、印刷が正しくできなくなったりするおそれがあります。

🔑 重要

サーマルヘッドの印刷面には触らないように注意してください。印刷不良の原因となります。

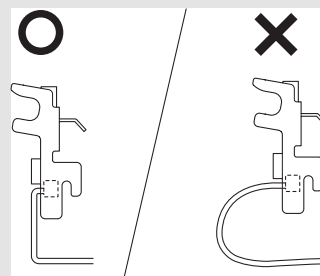


- 8 サーマルヘッドを 45 度にして持ちながら凹部をサーマルヘッドフレームスタッドに差しします。

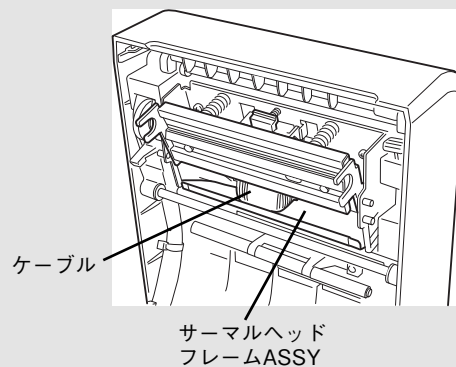


✓ チェック

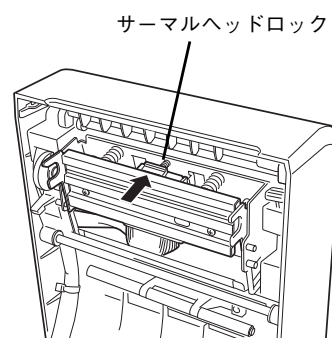
ケーブルがサーマルヘッドフレームASSYの中に収まっていることを確認してください。もし、収まっていない場合やふくらんでいる場合は、手で押して平らになるように形作ります。ふくらんでいる場合は、リボンに接触し、印刷に支障をきたすおそれがあります。



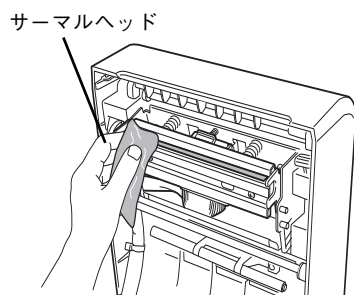
横から見たサーマルヘッドケーブル図



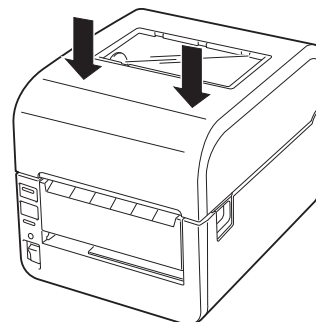
- 9 サーマルヘッドを向こう側に押して取り付けます。サーマルヘッドロックが「パチン」と音がするまで押します。



- 10** サーマルヘッドの発熱部（網かけ部）の汚れをアルコール溶剤を使用してふき取ります。その後、静電気の起きない乾いた布などで乾拭きをしてください。



- 11** トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押し、確実に閉じます。



以上で交換は完了です。

プラテンブロックを交換する

品名	型番
プラテンブロック	PR-T500L-PB01

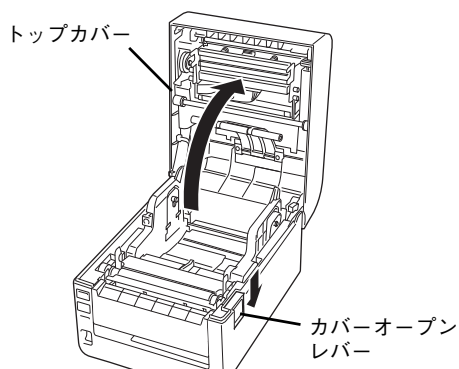
ひんぱんに用紙づまりが起きたり、印刷位置を微調整したにもかかわらずに印刷するたびに印刷位置がずれたりする場合は、プラテンブロックが寿命になったことを示します（プラテンブロックは消耗部品です）。

お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡して新しいプラテンブロックを購入してください。

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

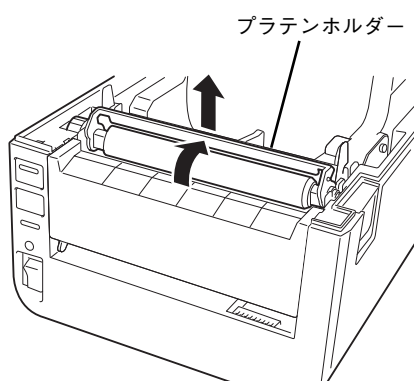
- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



⚠ 注意

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- 3 用紙を取り除きます。
- 4 カッターユニットを装着している場合は取り外します。
- 5 プラテンホルダーを垂直に立ててプラテンを上を持ち上げます。

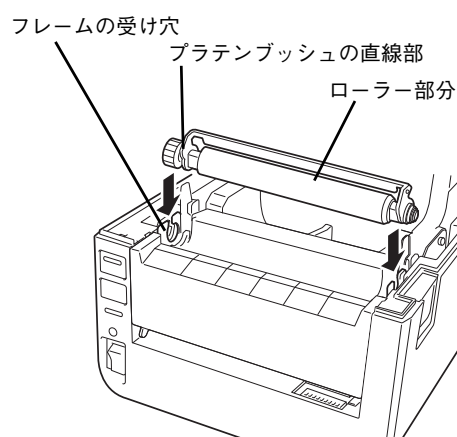


- 6 新しいプラテンに交換します。

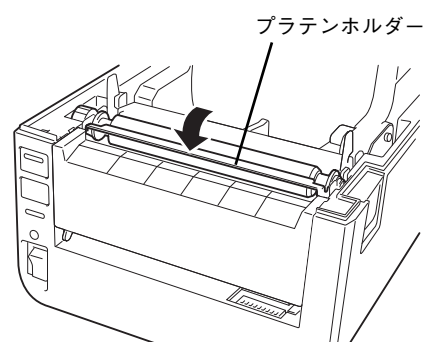
プラテンブッシュの直線部が手前を向くようにプラテンを持ち、プラテンホルダーを立てたままプラテンをフレームの受け穴に垂直に差し込みます。

🔑 重要

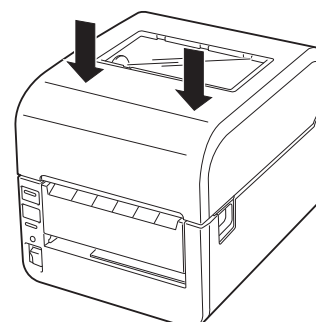
プラテンブロックのローラー部分には触れないように注意してください。印刷不良の原因となります。



- 7 プラテンホルダーを「パチン」と音がするまで手前に水平に倒します。



- 8 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で交換は完了です。

メ モ

6章

故障かな？と思ったときは

ここでは、プリンターにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

操作部のアラームランプが点灯しているときは、この後の「エラー表示が出ているときは」(88ページ)の表をご覧になりながら、処置してください。エラー表示が出ていないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(90ページ)の表をご覧になりながら処置してください。

処置が終了したら、必要に応じ、1章の「テスト印刷をする」(38ページ)に従ってプリンターが正しく動作することを確認してください。表に示された処置を行ってもプリンターが回復しない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

エラー表示が出ているときは

プリンターに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、主なエラーであれば7セグLEDの表示からその原因を知ることができます。

本プリンターのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンターの故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

なお、リモートパネルでブザー設定を有効にしている場合はブザーが3回だけ鳴るエラーと電源をOFFにするまでブザーが鳴り続けるエラーがあります。ブザーを鳴らせないように設定したい場合は、装置に添付のCD-ROMに収録されているソフトウェアマニュアルを参照してください。

エラー表示一覧（1 / 2）

7セグ表示	ブザー	原因	処置
	3回鳴る	カバーが開いています。	カバーを確実に閉じてください。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	3回鳴る	紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈透過センサー選択時〉 ラベルのギャップが検出でませんでした。	ラベルギャップのある用紙をセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈反射センサー選択時〉 黒マークが検出でませんでした。	用紙の右側の裏側に黒マークのある用紙をセットします。
		透過センサーまたは反射センサーのしきい値の設定が用紙に合いません。	センサーのしきい値を正しく設定してください。（→40ページ参照）
	3回鳴る	用紙がありません。	新しい用紙をセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	3回鳴る	〈印刷方式が熱転写方式のとき〉 リボンを使い切っています。 リボンが途中で切れています。	リボンを交換します。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈印刷方式が熱転写方式のとき〉 リボンにたるみがあります。	リボンを張った状態にします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		リボンモーター用のセンサーが故障しています。	お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。
	3回鳴る	サーマルヘッドの発熱体の一部が断線しています。	ONLINEスイッチを押すと、そのまま印刷を続けることができますが、正しく印刷されないおそれがあります。早急にサーマルヘッドを交換することをお勧めします（5章の「サーマルヘッドブロックを交換する」（81ページ）参照）。
	3回鳴る	モード1で正しくない印刷コマンドを受信しました。	コンピューターで印刷をキャンセルしてください。 ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	鳴り続け	電源ONの状態でユニットの接続ケーブルを抜き差ししました。	プリンターの電源をOFFにしてからユニットの接続ケーブルを接続してください。
	3回鳴る	サーマルヘッドの温度が使用範囲の上限に達しました。	しばらくお待ちください。温度が使用範囲内まで下がると自動的に印刷を再開します。 温度が下がった後、再開した印字位置から約20mmの部分の印刷品位が損なわれることがあります。
	3回鳴る	センサーのしきい値調整中にエラーが発生しました。	用紙を正しくセットし直して調整し直します。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	鳴り続け	プリンターにエラーが発生しました。	プリンターの電源をOFFにして、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。

エラー表示一覧（2 / 2）

7セグ表示	ブザー	原 因	処 置
	鳴り続け	プリンターにエラーが発生しました。	プリンターの電源をOFFにして、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡してください。

* 1 「センサー無視」(50 ページ) に設定している場合は、エラーを検出しません。

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示が出ていないのに、プリンターが思うように動作しなかったり印刷の状態が良くなかったりしたときは、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

プリンターの症状一覧

現 象	原 因	処 置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	停電がコンセントまで電気がきていない。	他の電気器具で電気がきているか確認してください。電気がきていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。電源スイッチをOFFにした後は、約5秒ほど待ってからONにしてください。
用紙が正しく送られない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。
用紙に印刷されない。	感熱印刷方式を選択しているのに、感熱用紙がセットされていない。	感熱用紙をセットしてください。
	熱転写印刷方式を選択しているのに、リボンがセットされていない。	リボンをセットしてください。
	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。
	リボンが正しくセットされていない。	リボンを正しくセットしてください。
	コンピュータから印刷データが送られていない。	印刷データを送信してください。
印刷がかすれる。	NEC指定の用紙を使用していない。	NEC指定の用紙に交換してください。
	NEC指定のリボンを使用していない。	NEC指定のリボンに交換してください。
	印刷濃度が薄い設定になっている。	ソフトウェアマニュアルの「リモートパネル」の章を参照して、印刷濃度を調整してください。
	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください（→4章の「印刷濃度推奨設定」(74ページ)を参照）。
印刷結果がつぶれている。	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください（→4章の「印刷濃度推奨設定」(74ページ)を参照）。
印刷が汚れる。	感熱用紙を熱転写方法の指定で使用している。	使用したい印刷方式に従ってリボンと用紙をセットしてください。（→27ページ、30ページ参照）
ドット抜けする。	サーマルヘッドが汚れている。	サーマルヘッドを清掃してください。（→79ページ参照）
きれいにカットされない。 (カッターモジュール装着時)	カッターの刃が汚れている。	お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。
DIP SWの設定どおりに動作しない。	プリンタードライバーの設定を有効にしている。	DIP SW8でプリンタードライバーとDIP SWの設定のどちらを有効にするかを設定することができます（OFFでプリンタードライバー設定が有効）。
印刷データを受信しない。	DIP SWの設定で有効にしているインターフェースと異なるインターフェースで通信しようとしている。	DIP SW10で本体のUSBインターフェースとインターフェースボードのどちらのインターフェースを有効にするかを設定することができます（OFFでインターフェースボードが有効）。
プラグ・アンド・プレイでプリンターが認識されない。		
センサーしきい値調整機能が働かない。	DIP SWの設定で用紙頭出しセンサーの選択を「センサー無視」にしている。	DIP SW8を“ON”にして、DIP SW6とSW7でセンサーを選択してください（→50ページ参照）。

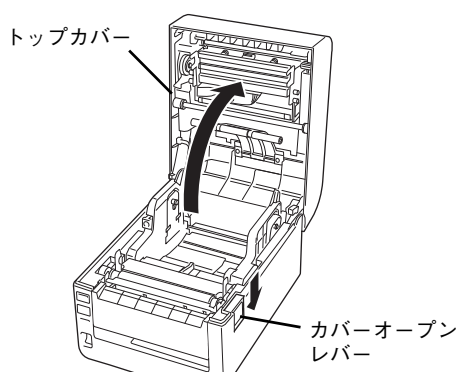
用紙がつまったとき

本プリンターの内部で用紙がつまったときは、次の手順に従って取り除いてください。

⚠ 注意

- トップカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- カッターモジュールにはカッター（刃）が組み込まれています。たいへん危険ですので、用紙がつまったときには電源をOFFにしてお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までご連絡ください。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- 1** カバーオープンレバーを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にします。



- 2** つまっている用紙を取り除きます。

カッター対応モデルまたは糊カッターモジュールを装着している場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡してください（お客様ご自身で取り除かないでください）。

- 3** 用紙をセットし直します。

1章の「用紙をセットする」(30ページ)を参照してください。

🔑 重要

- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因になります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損するおそれがあります。

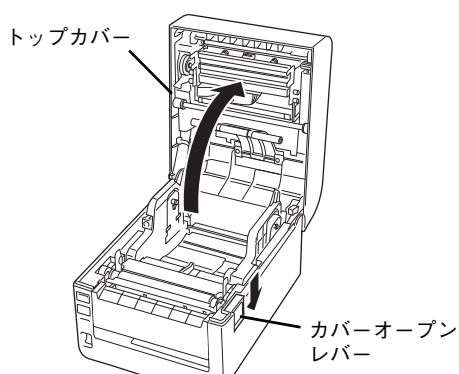
リボンが途中で切れたとき

リボンが途中で切れたときは、次の手順で貼り合わせてください（これは応急処置の場合です）。
新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（1章の「リボンを取り付ける」（27ページ）を参照）。

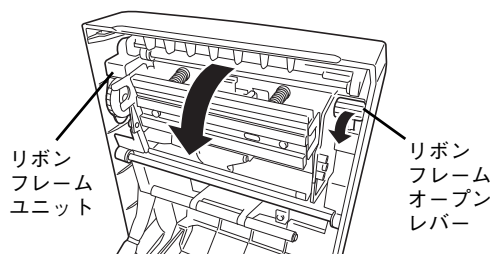
⚠ 注意

- ・ トップカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- ・ 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- ・ 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

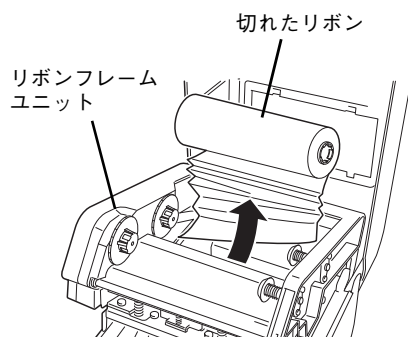
- 1 カバーオープンレバーを押し、トップカバーを開きます。



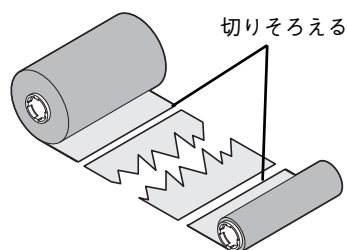
- 2 リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



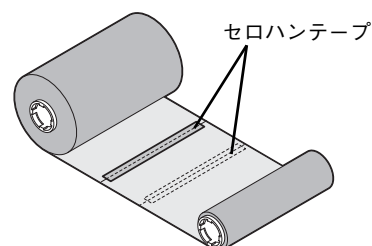
- 3 切れたリボンを取り外します。



- 4 切れた部分をきれいに切りそろえます。



- 5 左右がズレないようにリボンを重ね合わせ、合わせ目をセロハンテープでしっかり止めます。



- 6 使用済み側の方にリボンを2～3周ほど巻き取り、ガイドホイールとドライブホイールの間にセットし直します。

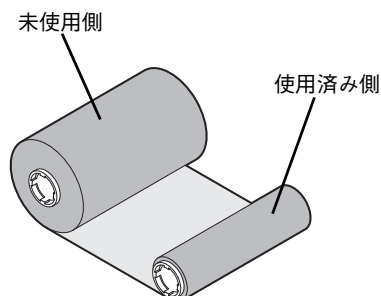
1章の「リボンを取り付ける」（27ページ）を参照してください。

リボンの巻きが乱れたとき

リボンの保管が悪かったり、リボンの取り付け時にリボンを落として巻きが乱れたときは、次の手順で巻き戻してください（これは応急処置の場合です）。

新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（1章の「リボンを取り付ける」（27ページ）を参照）。

- 1** 二人でリボンの両側を持ち、リボンを張った状態で左右がズレないように巻き戻します。

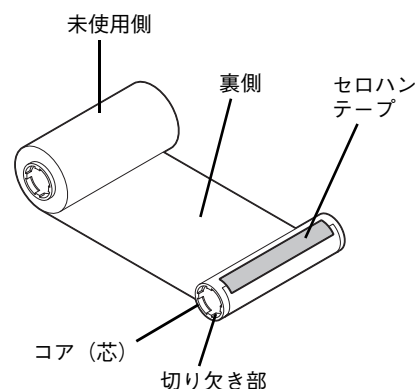


重要

リボンを強く引っ張らないでください。
必要以上に強く引っ張ると、リボンが切れます。

- 2** どうしても上手に巻き戻せないときは、使用済み側のリボンを切断します。

- 3** 使用済み側のコア（芯）に未使用側のリボンをセロハンテープでしっかり貼り付け、2～3周ほど巻き取りま



重要

リボンはコア（芯）と水平になるよう貼り付けてください。斜めに貼り付けると、リボンにシワが発生する原因となります。

- 4** リボンをセットし直します。

1章の「リボンを取り付ける」（27ページ）を参照してください。

保証および修理の依頼について

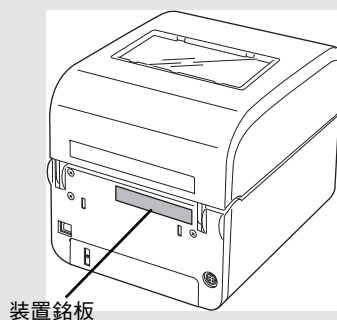
保証について

本製品には『保証書』が付いています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、プリンターをお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

✓ チェック

本体の背面に、製品の型番、SERIAL No. (製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘版の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一、プリンターが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。



修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

- ① 電源プラグ、電源コードおよびインターフェースケーブルなどが正しく接続されていることを確認します。
- ② リボンや用紙の取り付けが確実に行われていることを確認します。
- ③ 「エラー表示が出ているときは」(88ページ)、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(90ページ)を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行います。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。なお、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し出ください。

重要

リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。必ずプリンターからリボンを取り外して修理に出してください。

チェック

- 問い合わせをする際、7セグLEDの表示内容やランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。故障時の7セグLEDの表示、ランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンターをお持ち込みいただくときは「プリンターを運搬するときは」(96ページ)の手順に従ってプリンターを梱包してください。

プリンターの寿命について

本プリンターの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ずお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください(損耗状態によっては継続して使用できない場合があります)。なおサーマルヘッドとプラテンブロックは消耗部品（有償）です。

補修用部品について

本プリンターの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットの Web ページ	NEC コーポレートサイト (http://jpn.nec.com/)
------------------	---

プリンターを運搬するときは

本プリンターを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、梱包してください。

- 1 プリンターの電源スイッチをOFFにします。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 プリンターにインターフェースケーブルを接続している場合は、ケーブルを取り外します。
- 4 用紙を取り出します。
- 5 リボンを取り外します。

1章の「リボンを取り付ける」(27ページ)を参照してください。

- 6 オプションを外します。

オプションを取り付けている場合、取り外してください。取り外し方は3章を参照してください。

- 7 梱包します。

「保護用部品を取り除く」(23ページ)を参照して印刷機構部分を柔らかい用紙などで保護してから梱包材を取り付けてプリンターおよび付属品を箱に入れます。

これでプリンターを運搬する準備ができました。

プリンターの廃棄とリボンの処理について

プリンターの廃棄について

プリンターおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

また、NECでも法人のお客様に販売したプリンターを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンターを有償でお客様から回収して再資源化拠点で処理しております。

詳しくは、<http://ipn.nec.com/eco/ja/>をご覧ください。

✓ チェック

プリンターの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンターに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。

規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因となることがあります。

リボンの廃棄について

使用済みのリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。

🔑 重要

リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

付録 技術情報

ここでは、本プリンターの仕様、初期状態、その他の技術情報について説明します。

仕 様

本プリンターの仕様です。

- ・ 感熱タイプ - 1/2 ～標準モデル～ 98ページ
- ・ 感熱タイプ - 2/2 ～糊カッター対応モデル～ 100ページ
- ・ 熱転写タイプ - 1/2 ～標準モデル～ 102ページ
- ・ 熱転写タイプ - 2/2 ～糊カッター対応モデル～ 104ページ

感熱タイプ - 1/2 ～標準モデル～

項 目		MultiCoder	
		503L3D	503L3DL
印刷方式		感熱方式（直接発色）	
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）	
	発熱体ピッチ	0.0834mm	
	ドット総数	1296ドット	
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒	
フィード方向		順方向または逆方向	
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒	
印刷方法	連続印刷	可能	
	カット印刷	○	
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き	
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）	
排紙方式		装置前面排紙のみ	
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）	
ブザー		あり（設定により消音可能）	
有効印刷幅		最大105.7mm	
用紙種類*1	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙	
	タグ	一般感熱紙*2	
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）	
	LAN*3	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース （10Base-T/100Base-TX）
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語	
内蔵フォント*4	1バイト（半角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）	
	2バイト（全角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。	
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF（Interleaved 2 of 5）、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7）、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード	
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode、GS1 Composite	
制御フォント		NECプリンタ制御フォント	
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm	
質量*5		約2.4kg	約2.6kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）	
	待機時	13W（0.3A）	
	省電力モード*7	8W（0.2A）	
製品寿命		5年	
湿度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：－25～60℃	
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）	
有償交換部品（消耗部品）*8		サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

項 目	MultiCoder	
	503L3D	503L3DL
プリンタードライバー	Microsoft Windows 10 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 8.1 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 8 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 7 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Vista 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2012 R2 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2012 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2008 日本語版 ^{*9}	
ユーティリティ	リモートパネル プリンタドライバ一括設定ツール	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

- *1 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。
- *2 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- *3 LAN インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *4 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。
- *5 本体のみの質量です（用紙、AC アダプターを除く）。
- *6 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。
- *7 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。
- *8 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。
- *9 32/64 ビットバージョンに対応しています。

感熱タイプ - 2/2 ～糊カッター対応モデル～

項 目		MultiCoder	
		503L3DX	503L3DXL
印刷方式		感熱方式（直接発色）	
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）	
	発熱体ピッチ	0.0834mm	
	ドット総数	1296ドット	
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒	
フィード方向		順方向または逆方向	
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒	
印刷方法	連続印刷	可能	
	カット印刷	可能	
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き	
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）	
排紙方式		装置前面排紙のみ	
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）	
ブザー		あり（設定により消音可能）	
有効印刷幅		最大105.7mm	
用紙種類*1	ラベル	一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙	
	タグ	一般感熱紙*2	
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）	
	LAN*3	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース （10Base-T/100Base-TX）
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語	
内蔵フォント*4	1バイト（半角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）	
	2バイト（全角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。	
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF（Interleaved 2 of 5）、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7）、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード	
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode、GS1 Composite	
制御フォント		NECプリンタ制御フォント	
外形寸法		188(W)×245(D)×170(H)mm	
質量*5		約2.7kg	約2.9kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）	
	待機時	13W（0.3A）	
	省電力モード*7	8W（0.2A）	
製品寿命		5年	
湿度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：－25～60℃	
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）	
有償交換部品（消耗部品）*8		サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km 糊カッターモジュール寿命（目安）：ラベル糊（のり）部13万カット	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

項 目	MultiCoder	
	503L3DX	503L3DXL
プリンタードライバー	Microsoft Windows 10 日本語版* ⁹ Microsoft Windows 8.1 日本語版* ⁹ Microsoft Windows 8 日本語版* ⁹ Microsoft Windows 7 日本語版* ⁹ Microsoft Windows Vista 日本語版* ⁹ Microsoft Windows Server 2012 R2 日本語版* ⁹ Microsoft Windows Server 2012 日本語版* ⁹ Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版* ⁹ Microsoft Windows Server 2008 日本語版* ⁹	
ユーティリティ	リモートパネル プリンタドライバ一括設定ツール	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

- *1 用紙の保管は装置の使用環境温湿度内です。
- *2 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- *3 LAN インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *4 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。
- *5 本体のみの質量です（用紙、AC アダプターを除く）。
- *6 Duty33%、印刷濃度推奨設定最大時。
- *7 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。
- *8 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。
- *9 32/64 ビットバージョンに対応しています。

熱転写タイプ - 1/2 ～標準モデル～

項 目		MultiCoder	
		503L3T	503L3TL
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）	
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）	
	発熱体ピッチ	0.0834mm	
	ドット総数	1296ドット	
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒	
フィード方向		順方向または逆方向	
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒	
印刷方法	連続印刷	可能	
	カット印刷	○	
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き	
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）	
排紙方式		装置前面排紙のみ	
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）	
ブザー		あり（設定により消音可能）	
有効印刷幅		最大105.7mm	
用紙種類*1	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET	
	タグ	感熱：一般感熱紙*2 熱転写：タグ紙	
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ	
リボン種類*1		ワックスリボン、ワックスレジンリボン、レジンリボン	
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）	
	LAN*3	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース （10Base-T/100Base-TX）
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語	
内蔵フォント*4	1バイト（半角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）	
	2バイト（全角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。	
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF（Interleaved 2 of 5）、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7）、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード	
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode、GS1 Composite	
制御フォント		NECプリンタ制御フォント	
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm	
質量*5		約2.9kg	約3.0kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）	
	待機時	13W（0.3A）	
	省電力モード*7	8W（0.2A）	
製品寿命		5年	
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：－25～60℃	
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）	
有償交換部品（消耗部品）*8		サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

項 目	MultiCoder	
	503L3T	503L3TL
プリンタードライバー	Microsoft Windows 10 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 8.1 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 8 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 7 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Vista 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2012 R2 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2012 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2008 日本語版 ^{*9}	
ユーティリティ	リモートパネル プリンタドライバ一括設定ツール	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

- *1 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。
- *2 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- *3 LAN インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *4 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。
- *5 本体のみの質量です（用紙、リボン、AC アダプターを除く）。
- *6 Duty33%、印刷濃度推奨設定時（瞬間ピークを除く）。
- *7 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。
- *8 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。
- *9 32/64 ビットバージョンに対応しています。

熱転写タイプ - 2/2 ～糊カッター対応モデル～

項 目		MultiCoder	
		503L3TX	503L3TXL
印刷方式		感熱方式（直接発色）、熱転写方式（リボン転写）	
印刷ヘッド	ドット密度	12ドット/mm（≒305dpi）	
	発熱体ピッチ	0.0834mm	
	ドット総数	1296ドット	
印刷速度		50.8mm（2インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒、152.4mm（6インチ）/秒	
フィード方向		順方向または逆方向	
バックフィード速度（速度の切り替え可能）		50.8mm（2インチ）/秒、76.2mm（3インチ）/秒、101.6mm（4インチ）/秒	
印刷方法	連続印刷	可能	
	カット印刷	可能	
給紙方式	装置内セット	ロール紙外巻き	
	装置外セット	ファンフォールド紙（最大折りたたみ高さ：100mm）	
排紙方式		装置前面排紙のみ	
表示方式		7セグメントLED・ランプ（3個）	
ブザー		あり（設定により消音可能）	
有効印刷幅		最大105.7mm	
用紙種類*1	ラベル	感熱：一般感熱紙、耐保存感熱紙、合成紙 熱転写：コート紙、合成紙、白PET、銀PET	
	タグ	感熱：一般感熱紙*2 熱転写：タグ紙	
リストバンド		リストバンドリボン／リストバンドBタイプ・Nタイプ	
リボン種類*1		ワックスリボン、ワックスレジリボン、レジリボン	
インターフェース	USB	USB1.1/2.0 Full Speed準拠USBインターフェース （通信速度：12Mbps、コネクタ：USB Bタイプ）	
	LAN*3	○	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース （10Base-T/100Base-TX）
コマンドインターフェース		NLPL（NEC Label Printer Language）NECラベルプリンタ言語	
内蔵フォント*4	1バイト（半角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント）、OCR-A（ビットマップフォント）、OCR-B（ビットマップフォント）	
	2バイト（全角）フォント	ゴシック体（アウトラインフォント）、明朝体（アウトラインフォント） ※漢字コードはJIS1990年度版に準拠。	
	バーコード	JAN/EAN 8/13、UPC-A/E、JAN/EAN/UPC Add On、ITF（Interleaved 2 of 5）、Code 2 of 5（Industrial 2 of 5）、NEC 2 of 5（COOP 2 of 5）、Code39、Code39 full ASCII、Codabar（NW-7）、Code93、Code128、GS1-128（UCC/EAN-128）、GS1 Databar（RSS）、MSI/Plessey、カスタマーバーコード	
	2次元コード	PDF417、Micro PDF417、QR Code（モデル1&2）、DataMatrix、MaxiCode、GS1 Composite	
制御フォント		NECプリンタ制御フォント	
外形寸法		188(W)×245(D)×190(H)mm	
質量*5		約3.2kg	約3.3kg
消費電力	動作時最大*6	137W（2.4A）	
	待機時	13W（0.3A）	
	省電力モード*7	8W（0.2A）	
製品寿命		5年	
温度範囲		使用時：5～38℃ 保管時：－25～60℃	
湿度範囲		使用時：25～85%RH（ただし、結露しないこと） 保管時：0～90%RH（ただし、結露しないこと）	
有償交換部品（消耗部品）*8		サーマルヘッドブロック 寿命（目安）：25km プラテンブロック 寿命（目安）：25km 糊カッターモジュール寿命（目安）：ラベル糊（のり）部13万カット	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

項 目	MultiCoder	
	503L3TX	503L3TXL
プリンタードライバー	Microsoft Windows 10 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 8.1 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 8 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 7 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Vista 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows 2012 R2 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2012 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版 ^{*9} Microsoft Windows Server 2008 日本語版 ^{*9}	
ユーティリティ	リモートパネル プリンタドライバ一括設定ツール	

可能：標準装備にて使用可能 ○：オプションにてサポート ー：未サポート

- *1 用紙、リボンの保管は装置の使用環境温湿度内です。
- *2 用紙厚の薄い用紙をご使用になる際は、事前に評価して確認を行った上でご使用ください。
- *3 LAN インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSL モデムや CATV など）へ直接接続することは許可されていません。
- *4 内蔵フォントとして Dynafont を使用しています。バーコード／2 次元コードの生成には BarStarPro の生成機能を使用しています。
- *5 本体のみの質量です（用紙、リボン、AC アダプターを除く）。
- *6 Duty33%、印刷濃度推奨設定時（瞬間ピークを除く）。
- *7 プリンターの消費電力を抑えるモードです。一定時間以上、印刷動作やスイッチ操作が行われなかった場合、自動的に省電力モードに入ります。
- *8 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル／タグ／リストバンドの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。
- *9 32/64 ビットバージョンに対応しています。

DIP SW設定早見表

プリンター本体にあるスイッチ（DIP SW）が持つ機能について下表に示します。なお、設定状態はリモートパネルからも確認することができます（ソフトウェアマニュアルを参照）。

ON（プリンター側）

OFF（手前側）



DIP SW	機 能	設定【出荷時設定】			備 考
1	動作モード切り替え*1	SW1	SW2	設 定	—
2		【OFF】	【OFF】	モード1（NLPL）	
		OFF	ON	モード2（305dpi）	
		ON	OFF	未使用	
		ON	ON	モード3（203dpiエミュレーション）	
3	印刷モード切り替え*2	SW3	SW4	設 定	—
4		【OFF】	【OFF】	連続印刷	
		OFF	ON	連続印刷	
		ON	OFF	連続印刷	
		ON	ON	カット印刷	
5	印刷方式	ON：熱転写方式 【OFF】：感熱方式			感熱タイプのプリンターでは [ON] に設定しても熱転写方式の機能は有効になりません。
6	用紙頭出しセンサーの選択	SW6	SW7	設 定	—
7		【OFF】	【OFF】	センサー無視	
		ON	OFF	反射センサー	
		OFF	ON	透過センサー	
		ON	ON	センサー無視	
8	プリンタードライバー設定の有効／無効	ON：プリンタードライバー設定を無効とする 【OFF】：プリンタードライバー設定を有効とする			[ON] にすると、DIP SW3～7の設定が有効になります。
9	黒マーク検出制御	ON：従来制御 【OFF】：通常制御			—
10	インターフェースボード装着時のインターフェースの切り替え	ON：本体USBが有効 【OFF】：インターフェースボードが有効			インターフェースボードが搭載されていない場合は、[OFF] でもUSBが有効です。

*¹ モード1：プリンタドライバを使った印刷、NLPL コマンドを使った印刷の場合に使用します。

モード2：SVF for JavaPrint、RDE(305dpi) で印刷する場合に使用します。

モード3：SVF for JavaPrint、RDE (203dpi) で印刷する場合に使用します。

*² モード2、3の場合、DIP SW8に関わらず、電源 ON 時の初期値として使用します。

初期状態

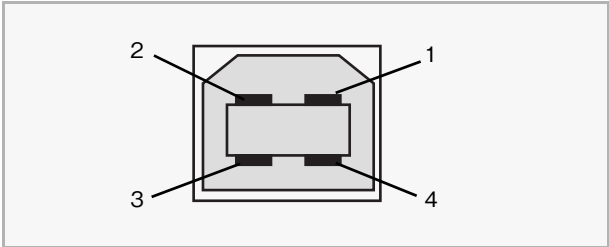
本プリンターの購入時の初期状態について示します。

項 目	初期値
電源ON時の断線エラー表示	あり
電源ON・カバー閉用紙確認	あり
エラー発生時ブザー音	鳴らす
カバークローズ後位置制御	保持
カッターオプション制御方法	フルカット
自動用紙先頭位置合わせ	有効
薄紙印刷モード	無効
印刷方向	プリンタードライバーの設定に従う
ミラー印刷	プリンタードライバーの設定に従う
バックフィード速度	4ips
黒マーク検出時の頭出し制御	黒マーク上端
ゼロスラッシュ	なし
プリンタ起動時の状態	オンライン
[FEED] スイッチによる印刷	行わない
自動カット位置送り機能	有効
自動カット位置戻し時間	無制限
ステータス自動送信	無効
印刷濃度微調整（感熱）	0
印刷濃度微調整（熱転写）	0
フィード量微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm
カット（ハクリ）位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm
自動カット位置送り微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm
戻し位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm
自動正転待機位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm
X位置微調整値	方向：後方 微調整値：0.0mm
DHCP/BOOTP機能設定	無効
RARP機能設定	無効
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
ソケット通信ポート設定	12000
USBシリアルNo.	送信しない

インターフェース（コネクタピン配置）

USBインターフェース

本プリンターのUSBインターフェースはUSB1.1およびUSB 2.0（フルスピード（12Mbps））に対応しています。



ピン番号	信号名	機 能
1	VCC	
2	-DATA	
3	+DATA	
4	GND	グラウンド

LANインターフェース

プリントサーバー（PR-NP-18）のインターフェースの仕様についてはプリントサーバーのマニュアルを参照してください。

索引

数字

7 セグメント LED 49

A

AC アダプター 12

D

DIP SW 37, 50

L

LAN インターフェース 108

LAN ケーブル 44

N

NLPL コマンドマニュアル viii

U

USB インターフェース 108

USB ケーブル 12, 43

ア

安全上のご注意 2

安全にお使いいただくために 1

安全にかかわる表示 ii

イ

一般感熱紙 16, 64

印刷機構部 19

印刷速度 98, 100, 102, 104

印刷濃度 74

印刷範囲 63

印刷ヘッド 98, 100, 102, 104

印刷方式 51, 98, 100, 102, 104

印刷方法 98, 100, 102, 104

印刷モード切り替え 51

インターフェース 98, 100, 102, 104, 108

インターフェースボード装着時のインターフェースの
切り替え 52

ウ

内巻き 15

運搬 96

エ

エラー表示 88

オ

オプション 13

温度 98, 100, 102, 104

カ

外観 17

外形寸法 98, 100, 102, 104

各部の名前 17

カッターユニット 56

感熱タイプ v

関連文書 viii

キ

技術情報 97

給紙方式 98, 100, 102, 104

銀 PET 16, 64

ケ

ケーブルロック 12

警告ラベル 1

コ

コート紙 16, 64

交換

サーマルヘッド 81

プラテンブロック 84

故障かな？と思ったときは 87

コネクターピン配置 108

コマンドインターフェース 98, 100, 102, 104

サ

サーマルヘッドブロック	14
交換	81

シ

湿度	98, 100, 102, 104
質量	98, 100, 102, 104
自動用紙先頭位置合わせ機能	64
寿命	95, 98, 100, 102, 104
使用できる用紙	64
消費電力	98, 100, 102, 104
情報サービス	95
消耗品	15
～の交換	81
消耗部品	14
初期状態	107
白 PET	16, 64

ス

推奨設定	74
スイッチ	48
電源	26
スタッカー（可変長） 取り付け／取り外し	62
寸法	98, 100, 102, 104

セ

清掃	
カバー	78
サーマルヘッド	79
プラテン	79
用紙収納部	80
リボンローラー	79
接続	
AC アダプター	24
LAN ケーブル	44
USB ケーブル	43
電源コード	24
設置場所	10
センサーしきい値	40

ソ

操作部	47
装置銘板	94
外巻き	15
ソフトウェア CD-ROM	12
ソフトウェアのご使用条件	12

タ

耐保存感熱紙	16, 64
タグ紙	16, 64
タグ・ラベルの印刷保証範囲	72
正しく使用するために	11

テ

ディップスイッチ	37, 50
適合表	16
テスト印刷	38
電源コード	12
～を接続する	24
電源スイッチ	26
電源の ON/OFF	26

ト

動作モード切り替え	51
特長	ix
取り付け	
スタッカー（可変長）	62
糊カッターモジュール	57
ペーパーテーブル（L）	60
用紙	30
リボン	27

ナ

内蔵フォント	98, 100, 102, 104
--------------	-------------------

ニ

日常の保守	77
-------------	----

ネ

熱転写＋感熱タイプ	vi
-----------------	----

ノ

糊カッターモジュール 取り付け／取り外し	57
-------------------------------	----

ハ

バーコード	98, 100, 102, 104
廃棄	96
排紙方式	98, 100, 102, 104
箱の中身	12

初めてお使いになるとき	9
バックフィード速度	98, 100, 102, 104
反射センサによる黒マーク検出方法の切り替え	52

ヒ

表示方式	98, 100, 102, 104
------------	-------------------

フ

ファンフォールド紙	15, 33
フィード方向	98, 100, 102, 104
フザー	98, 100, 102, 104
付属品	
スタッカー（可変長）	62
糊カッターモジュール	56
ペーパーテーブル（L）	60
プラテンブロック	14
交換	84
プリンタードライバー	99, 101, 103, 105
プリンタードライバー設定の有効／無効	52
プリンターの症状一覧	90
プレ印刷	41
プレ印刷用紙	73

ヘ

ペーパーテーブル（L）	
取り付け／取り外し	60
別売品	13

ホ

保護用部品	23
補修用部品	95
保証	94
保証書	12

マ

マニュアルの構成	vii
----------------	-----

モ

モデル	v, vi
-----------	-------

ユ

有効印刷幅	98, 100, 102, 104
有償交換部品	98, 100, 102, 104

ヨ

用紙	15
～が詰まったとき	91
～のセット（カッターモジュール）	59
保管上の注意	75
～をセットする	30
用紙頭出しセンサーの選択	51
用紙一覧	16
用紙規格	63
用紙種類	98, 100, 102, 104
用紙とリボンの適合表	16

ラ

ランプ	49
-----------	----

リ

リストバンド	15
リボン	15
～が途中で切れたとき	92
～の廃棄	96
～の巻きが乱れたとき	93
幅	65
保管上の注意	75
～を取り付ける	27
リボン一覧	65
リボン種類マーキング色一覧	16
リボン幅	27
リボン／用紙 取り付け・取り外しマニュアル	viii, 12
リモートパネル	
DHCP/BOOTP 機能設定	54
[FEED] スイッチによる印刷	53
IP アドレス	54
RARP 機能設定	54
X 位置微調整値	54
印刷濃度微調整（感熱）	54
印刷濃度微調整（熱転写）	54
印刷方向	53
薄紙印刷モード	53
エラー発生時フザー音	53
カッターオプション制御方法	53
カット（ハクリ）位置微調整値	54
カバークローズ後停止位置	53
黒マーク検出時の頭出し制御	53
ゲートウェイ	54
サブネットマスク	54
自動カット位置送り機能	53
自動カット位置送り微調整値	54
自動カット位置戻し時間	53
自動正転待機位置微調整値	54
自動用紙先頭位置合わせ	53
ステータス自動送信	53
ゼロスラッシュ	53
ソケット通信ポート設定	54
電源 ON・カバー閉用紙確認	53

電源 ON 時の断線エラー表示	53
バックフィード速度	53
フィード量微調整値	54
プリンタ起動時の状態	53
ミラー印刷	53
戻し位置微調整値	54

レ

レジンリボン	65
--------------	----

ワ

ワックスリボン	65
ワックスレジンリボン	65

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でのご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

